

FLEX ①

ENGLISH COMMUNICATION

THE FLEXIBLE LANGUAGE-LEARNING EXPERIENCE

Discover the many enjoyable ways of using it in your classes to raise all of your skills in English.

代表著者 上智大学教授 池田真

監修 明治大学名誉教授 マーク・ピーターセン

450 ページ分の
文法解説書全データを
指導書付属 ROM や
ワークブック QR 等に
収録! [p.73](#) →

大好評



AI による精密な発音診断で
豊かな発話力を育てる

festa!

p. 82



アプリで発音指導と学習の管理をお手軽に!
ご希望に応じてオリジナル教材の作成も

RepeaTalk

p. 87



指導者用デジタル教科書 p. 88





FLEX I II

ENGLISH COMMUNICATION

● 関連教材ラインナップ.....	1
● 特長.....	2
● 内容紹介.....	4
● 授業展開例.....	8
● FLEX ENGLISH COMMUNICATION I 教材担当表.....	10
● FLEX ENGLISH COMMUNICATION I 教科書ダイジェスト版.....	12
● FLEX ENGLISH COMMUNICATION II 教材担当表.....	34
● FLEX ENGLISH COMMUNICATION II 教科書ダイジェスト版.....	36
● CLIL について.....	38
● 関連教材内容紹介.....	40
● データ ROM 紹介.....	50
● festa!.....	82
● RepeaTalk.....	87
● 指導者用デジタル教科書.....	88
● 生徒用デジタル教科書.....	96

FLEX 刊行に寄せて

FLEX は、大学受験はもちろん、その先の人生において本当の意味で使える英語を身に付けてほしいとの思いからスタートしました。先生方の多様な授業スタイルにも対応しながらその思いを実現するためには、多くのハードルがありました。著者をはじめ多くの関係者の方のお力添えで刊行することができました。特に今回の新指導要領版においては、上智大学の池田真先生にご協力頂いたことで CLIL の要素が加わり、英語力はもちろん、思考力も高めることができる一冊となりました。この教科書がより良い英語授業を実現し、生徒の未来を切り拓く一助となれば幸いです。

増進堂 編集部



C I 720

B5判
192頁
新出語数：456語
総語数：5,461語
総語数 (+OP 含む)：6,500語

p.8 →



C II 719

B5判
200頁
新出語数：709語
総語数：6,619語
総語数 (+OP 含む)：8,808語

p.32 →

FLEX ENGLISH COMMUNICATION I

FLEX ENGLISH COMMUNICATION II

教授用資料

Teacher's Manual

- 教師用指導書 p.40 →

I vol.1：288頁, vol.2：264頁
II vol.1：264頁, vol.2：304頁

教科書の解説や訳例, 補充問題, 評価規準など。

- Teacher's Book (分売あり) p.43 →

I 192頁, II 200頁

- 指導書付属 ROM

Teacher's Manual PDF ダウンロード版

※ PDF ダウンロード版には Teacher's Book と指導書付属 ROM は含まれておりません。

指導用音声

教科書内QRコードコンテンツ p.49 →

教科書内にある QR コードから本文の Words, 本文 (普通/フレーズ読み), SOUND TIPS の音声が聞けます。

学校用音声 CD p.49 →

I：7枚組
II：7枚組
教科書本文や設問などの音声を収録。
※ QR コードは (株) デンソーウェーブの登録商標です。

指導用ソフト

指導者用デジタル教科書 (インストール版/ Web 版) p.88 →

パソコンや iPad 等を用いて, 教科書画面を表示したり, 音声を流したりすることにより授業をサポートする指導用ソフト。

※インストール版 (フリーライセンス) 対応 OS: Windows10, 11

Web 版推奨ブラウザ: Google Chrome, Safari

生徒用補助教材

- Workbook Standard I: 72頁, II: 72頁 教科書の復習用ノート。 p.44 →
Advanced I: 96頁, II: 104頁 2種類のレベル別。

- 予習 & 授業ノート I: 120頁 書き込み式のノート。 p.48 →
II: 160頁 予習や授業で活用可能。

- 生徒用音声 CD I: 3枚組 教科書の Words, 本文 (普通/フレーズ読み), p.49 →
II: 3枚組 SOUND TIPS などを収録。

- festa! AIを使った音声認識ウェブアプリ。 p.82 →
読んだ音声を AI が評価。

- RepeaTalk リピート読みやシャドーイングなどの音読 p.87 →
タスクや AI による評価ができるアプリ。

- 生徒用デジタル教科書 Web 版 パソコンやタブレットで教科書の設問を p.96 →
解いたり, 直感的に学べるソフト。

特長

内容紹介

授業展開例

紙面紹介

関連教材

指導用 Data

Digital



精読中心でも活動中心でも
深い思考力を育てる

FLEX ENGLISH COMMUNICATION I・II

C I 720 判型：B5判
頁数：192頁
語数：新出語数：456語
総語数：5,461語
総語数（+OP含む）：6,500語

C II 719 判型：B5判
頁数：200頁
語数：新出語数：709語
総語数：6,619語
総語数（+OP含む）：8,808語

教科書の特長

マーク・ピーターセン先生校閲による質の高い英文

マーク・ピーターセン先生監修の英文で、音読する際のリズムが最適な英文に仕上げられています。

QRコードから音声聞ける

教科書記載のQRコードを読み込めば、Words、本文普通読み、本文フレーズ読み、SOUND TIPS、Rapid Readingの音声を聞くことが可能です。※インターネットの環境が必要です。

豊富な写真・図版を掲載

オーラルイントロダクションやリテリング活動などに活用できる教科書本文の内容に沿った写真や図版を各パートに掲載しました。写真には番号や下にキーワードを掲載したことにより、活動しやすくなりました。

深い思考が期待できる活動

教科書各レッスンには、CLILの授業で使う深い思考力を導くような手順や仕組みを取り入れて、活動に結びつけました。生徒一人ひとりが深く考え、グループで活動したり、発表したり、英文を書いたりすることができます。

生徒の興味を引く旬のトピックを厳選

松岡修造氏の金言を基にコミュニケーションにおいて大切なことを考えたり、『きかんしゃトーマス』からSDGsについて考えたり、生徒にとって知っておきたい、考えておきたいテーマとトピックを通じて学ぶことができます。

1レッスン分の英文を通読可能

各Partに分割した本文だけでなく、1レッスンの英文をまとめて見開きで読めるようにしたことで、速読を始めとする様々な「読み方」に対応することができるようになりました。

充実のSkill

Reading SkillやListening Skillに加えて、Conversation Skillも収録するなど、Skillの解説を非常に充実させています。これを本文の聞き取り、読解やFinal Taskなどで活用することで定着を図ります。

様々な授業スタイルへの対応

オーソドックスな精読の授業はもちろんとして、リテリング活動を重視する授業や深い思考力を伴う授業など様々な授業スタイルに対応できます。

■著者

池田真
上智大学教授

Mark Petersen
明治大学名誉教授

石崎陽一
東京都立武蔵高等学校・附属中学校教諭

Joe Green
大阪星光学院高等学校教諭

十亀有紀
東京都立駒場高等学校教諭

前田浩之
福島県立いわき総合高等学校教諭

平田大悟 ※ EC Iのみ
開成中学校・高等学校教諭

鴫崎孝太郎
渋谷教育学園渋谷中学校・高等学校教諭

山崎勝
埼玉県立和光国際高等学校教諭

橋本雅文
京都教育大学・
京都外国語大学非常勤講師

横田竜麻 ※ EC IIのみ
渋谷教育学園渋谷中学高等学校教諭

降旗康善 ※ EC IIのみ
埼玉県立伊奈学園総合高等学校教諭

■編集協力

有本純
関西国際大学教授

岡本健 ※ EC IIのみ
近畿大学准教授

儀満光治 ※ EC IIのみ
清風中学校・高等学校教諭

FLEX シリーズは、先生方の授業スタイルに応じて、柔軟に対応できる仕組みとなっており、**精読中心**や**活動中心**、それぞれの授業形態において、効果的に活用することができます。

精読中心スタイル

精読中心では、題材や英文の良さ、読解のためのテクニック、設問の質などが重要とされますが、FLEXでは以下の点にこだわり作成していますので、生徒の読む力を着実に向上させることが可能です。

❗ マーク・ピーターセン先生の英文校閲により、音読や読解で読みやすい英文が実現しました。



- ❗ 生徒の知的好奇心を刺激するトピックなので、楽しみながらも考える力を養います。
- ❗ Reading Skillを各レッスン前に適宜配置し、的確な読解スキルの定着を可能にしました。
- ❗ 本文の内容理解問題はテンポよく確認できる難易度設定なので、読解もスムーズに進みます。
- ❗ 全パートを俯瞰的に読解できる、見開きの速読用ページを各レッスンに収録しています。

活動中心スタイル

活動中心では、題材や英文の良さはもちろん、活動のための支援となる画像や、使いやすい構成が必要となります。FLEXでは以下の点においても工夫を施しているため、生徒一人ひとりがアウトプットするのに最適な教科書となっています。

❗ 写真・図版、キーワードを各パートに入れ、よりリテリング活動に取り組みやすい構成にしました。

❗ 本文の横にあるComprehension Questionsの流れとリテリングの流れが同じになるよう意識しています。

❗ WordsとExpressionsが写真の近くにあり、重要な表現などを活動にすぐに取り入れられます。

CLILのアプローチを導入



新学習指導要領で、思考力や主体的に学びに向かう姿勢などを育てることが重要視されている中、FLEXでは上智大学の池田真先生のご協力を得て、CLILのアプローチを取り入れました。各レッスンのFinal Taskのコーナーに、深い思考力を導き出すような手順や仕組みのタスクを設けています。

音声はQRコードから

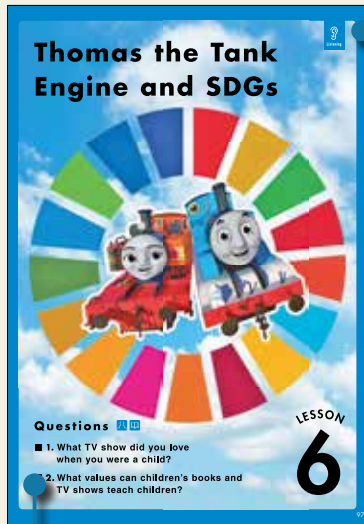
教科書記載のQRコードを読み込めば、Words、本文普通読み、本文フレーズ読み、SOUND TIPSの音声を聞くことが可能です。※インターネット環境が必要です。

内容紹介

※ EC IIも同じ構成です。

導入→本文

導入



Questions

導入時に使える質問です。トピックに沿った問いをペアやグループで話し合います。

POINT 1 Introduction and Retelling

各 Part の内容に沿った写真・図版とキーワードです。導入、リテリングのいずれにも使うことができます。

Expressions

本文で出現する重要な熟語と例文を適宜示しています。

Listening

導入時に使えるリスニングでスキーマを活性化させます。

本文

Reading Point

本文のどこにポイント置いて読み進めればよいか分かる Focus Question です。

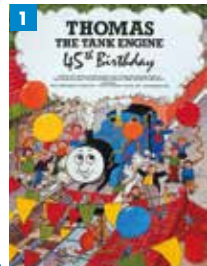
LESSON 6

PART 1

Reading Point

What are Thomas' stories about?

Introduction and Retelling



- ① a blue steam engine
- ② a British children's book series



- ① is still read by children
- ② more than 160 countries



- ① leaves Sodor, travels, meets
- ② to feature more female characters



- ① the United Nations, a US toy maker
- ② 17 Sustainable Development Goals

Words

- engine [ɛndʒɪn]
- steam [sti:m]
- fellow [fɛləʊ]
- locomotive [ləʊkəməʊtɪv]
- animated [ænəmeɪtɪd]
- creator [kri:ɪtə]
- feature [fi:tʃə]
- female [fi:meɪl]
- incorporate [ɪnkɔ:rpəreɪt]
- sustainable [səsteɪnəbəl]
- development [dɪvɛləpmənt]
- storyline [stɔ:ri:lain]
- episode [ɛpəsəʊd]
- 1. Thomas (the Tank Engine) [tɔ:məs ðə tæŋk ɛndʒɪn] トーマス(蒸気機関車と、人々を揺くイギリスの幼児向けの本に登場する青い機関車)
- 4. the Island of Sodor ソドー島(トーマスの住む架空の島)
- 8. Thomas & Friends™ 「きかんしゃトーマス」(鉄道の模型およびアニメーションで制作されるイギリスの幼児向けテレビ番組)

Expressions

1.9 for the first time : Thomas left the Island of Sodor for the first time and visited other countries.

98

ココが新しい!

POINT 1

導入やリテリングで使える写真・図版とキーワードがストーリー順で各 Part に!

POINT 2

リーディングに集中する場合は、教科書を半分にたためば OK!

POINT 3

QR コードから音声がある場ですぐに聞ける! →詳しくは p.49 へ

Words

新出語と注釈です。語彙はリテリングの際のキーワードとしても活用できます。太字は高校生にとって重要な語です。

PART 1 PART 2 PART 3 PART 4



Thomas the Tank Engine is a blue steam engine in a British children's book series. He first appeared in 1946. In the stories, Thomas has many adventures with his fellow locomotives on the Island of Sodor. This series is still read by children in more than 160 countries today.

Thomas also appears in an animated television show called *Thomas & Friends*™. In the show's 22nd series in 2018, Thomas leaves Sodor for the first time. He travels around the world and meets new engine friends in India, China, Australia, and other countries. The show's creators worked to feature more female characters in the show by adding two female engines to the Steam Teams, a group of steam engines including Thomas who are the main characters.

In that year, the United Nations (UN) decided to work with a US toy maker which has Thomas' brand and makes its animation. They incorporate some of its 17 Sustainable Development Goals (SDGs) into the storylines of several episodes from that series.

POINT 2

教科書を半分に折りたためば、英文と Q&A に集中できるので、初見や授業後のリーディングに最適です。

Q1

What is Thomas the Tank Engine?

Q2

How many countries is this series read by children in today?

Q3

In the 2018 season, what does Thomas do for the first time?

Q4

What did the United Nations decide to do?

Comprehension Questions

各 Part で内容理解ができているかを確認する fact-finding の質問です。設問の解答の流れが本文の流れになるように工夫しました。

G11 Grammar Mark

各 Lesson で学習すべき文法項目には、本文中にマークを入れています。

POINT 3

QR コード

QR コードから Words, 本文普通読み, 本文フレーズ読み, SOUND TIPS の音声を聞くことができます。

SOUND TIPS

本文に関する、音声面で大切なポイントをまとめています。リスニング力やスピーキング力の向上に役立ちます。



語末が子音で、次の語頭が母音の場合、2つの語はつなげて発音します。in an animated では、in と an、an と animated の 2カ所です。[ɪnænəmeɪtɪd] と 3語が1つのまとまりとして発音されます。

in an animated, a group of, with a, some of its



99

内容紹介

本文以降～

Comprehension

LESSON 6

Comprehension

1 Choose the appropriate answer. ㊦

- The UN has decided to work with a US toy maker to .
 - incorporate some of the SDGs into storylines in *Thomas & Friends*TM
 - get money from the company
 - sell more toys
- The UN has a hope of meeting the goals .
 - by 2030
 - by 2040
 - by 2050
- Cities need to help people get from their homes to school and work.
 - more private cars
 - good transport networks
 - money and time
- The SDG episodes can help children learn important values .
 - anytime
 - very late in their lives
 - at an early age

2 Fill in the blanks with the appropriate words and phrases to complete the summary. ㊦

Thomas the Tank Engine is a blue steam (1.) in a British children's book series. His stories are about (2.) with his fellow locomotives. The United Nations decided to work with a US (3.) to incorporate some of the SDGs into the *Thomas & Friends*TM series. In the series, Thomas leaves Sodor and meets new engines from all over the world. Also, more (4.) characters were featured by the show's creators.

The UN created the 17 SDGs to achieve a more (5.) future for everyone. It hopes to meet the goals by 2030. The UN and the toy company see great value in the goal. They chose six of the goals that were a natural fit with the stories in *Thomas & Friends*TM. Children form ideas about the world around them very early in their lives. (6.) the SDG episodes give them are easy to understand. They can help children learn important (7.) at an early age.

adventures / female / life lessons / engine
sustainable / toy maker / values

Comprehension 1

全 Part を読んだ後に行う、英文全体の理解度を確認するための設問です。

Comprehension 2

本文全体の要約を穴埋め形式にしています。下の語群から適語を選択して完成させます。

Grammar & Exercises

LESSON 6

Grammar & Exercises

● 強調構文 It is ... that ~

Example G12

It was Italy that she especially wanted to visit. (彼女が特に訪れたかった国はイタリアでした。)

It is Hiroshi that needs help with the math homework. (算数の宿題で助けを必要としているのはヒロシです。)

○ (It is (was) + 強調される語句 + that ~)

● 強調したい語句を It is (was) と that の間において、その意味を強調する。強調されるのは名詞(文の主語・目的語・副詞(節・句)などである。

1 Put the words in brackets into the correct order. ㊦

- 私がこの本を借りたのはトムからでした。
It was (that / borrowed / book / I / from / Tom / this).
It was _____
- 私が学校を休んだのは昨日です。
It was (absent / school / yesterday / from / was / I / that).
It was _____
- 昨日ここに来たのは彼女の妹でした。
It was (came / here / that / yesterday / sister / her).
It was _____

2 The following conversation is about a plan for the weekend. Use the grammar in G12 (It is ... that ~) to make a conversation like the example below. Then, have the conversation with your partner. ㊦

Example

A: It's this Saturday that we're going to go shopping together.
B: No. It's not this Saturday but next Saturday.
A: Oh, I see. I'm looking forward to it.
B: Me, too.

例文

例文にはイラストを付けて、状況が分かりやすいように工夫しました。

解説

文法項目の解説を簡潔に示しています。

Exercises

各文法項目が理解できているかを問う、確認用の練習問題です。また、大問2には各文法項目と言語活動を結びつけた問題を収録しています。

Final Task

Final Task

CLILの授業で使う深い思考力を導くような手順や仕組みを取り入れた活動です。(→ p.38)

Final Task

1 The following photos are Natural or Cultural World Heritage Sites. In your group, talk about whether each place is a Natural or Cultural World Heritage. Then, put each photo number into the boxes below. ㊦

Example Conversation

A: Which of the following photos are Natural World Heritage Sites?
B: No. 3, 4, and 6, I think.
C: I think No. 3 is a Cultural World Heritage. What do you think, A?
A: I agree with C. It's a Cultural World Heritage.

1 2 3
Historic Villages of Shirakawa and Gokayama
Itoshima Shrine
Sacred Sites and Pilgrimage Routes in the Kii Mountain Range

4 5 6
Shiretoko
Matsuyama
Yakushima

7 8
Niimi Gion Silver Shrine and Its Cultural Landscape
Hidden Christian Sites in the Nagasaki Region

Cultural World Heritage Sites Natural World Heritage Sites

2 Choose one of the two types of world heritage sites which is shown in 1. Look into some historical or cultural backgrounds of each heritage and write them down. ㊦

3 What places do you want to put on the World Heritage List? You can draw a picture or put a photo on a sheet to introduce the place. ㊦ ㊦ ㊦

The name of a place you recommend. Which type of World Heritage is it?
Natural / Cultural

Why do you recommend it?

Final Task

1 Which of the following goals are you interested in? Talk about them with your group members and choose one as your group's goal. Put its number into the right box. ㊦

Example Conversation

A: I'm interested in No. 7. I want to know more about solar energy.
B: Sounds interesting. What I'd like to discuss is No. 5.
C: I think we Japanese people should get more interested in "Gender Equality".
A: Then, shall we decide No. 5 as our goal?

Goal: _____

2 Create a story about the goal chosen in 1. Make an anime or original character(s) appear in the story. Talk about the ideas for the story with your group members and write them down in the box below.

3 Talk about the outline of the story with your group members by using the following items.

Who	What
When	Why
Where	How

4 Write a story for a skit of your episode. ㊦

Sample

Shinji: I think a husband should share housework with his wife. I'm good at cooking.
Kansho: That's wonderful. I believe you'll be a nice husband.
Ken: Mr. M, I want to be good at cooking, too, like Shinji. What should I do? Put a spell on me!
Mr. M: I will give you this special apron. The name of the apron is "Cooking". If you wear it you will be able to cook anything very well. You will be a good cook.
Ken: Thank you, Mr. M. I'll wear it and cook better than Shinji! I'll be a great husband!

5 Give each group member a role in the skit, practice it, and perform it. ㊦ ㊦

Rapid Reading

LESSON 6

Rapid Reading

Part 1

Thomas the Tank Engine is a blue steam engine in a British children's book series. He first appeared in 1946. In the stories, Thomas has many adventures with his fellow locomotives on the Island of Sodor. This series is still read by children in more than 160 countries today.

Thomas also appears in an animated television show called *Thomas & Friends*TM. In the show's 23rd series in 2018, Thomas leaves Sodor for the first time. He travels around the world and meets new engine friends in India, China, Australia, and other countries. The show's creators worked to feature more female characters in the show by adding two female engines to the Steam Team, a group of steam engines including Thomas who are the main characters.

In that year, the United Nations (UN) decided to work with a US toy maker which has Thomas' brand and makes its animation. They incorporate some of its 17 Sustainable Development Goals (SDGs) into the storylines of several episodes from that series.

Part 2

The 17 SDGs were adopted by the United Nations General Assembly in 2015. They are what the UN created to help achieve a better and more sustainable future for everyone. The UN has a hope of meeting the goals by 2030. Their global challenges include improving education, achieving gender equality, and fighting climate change. People all over the world are now working to achieve these goals.

The UN and the toy company see great value in the goals. They chose six of the SDGs that were a natural fit with the kind of stories that are often seen in *Thomas & Friends*TM: Quality Education (Goal 4), Gender Equality (Goal 5), Clean Water and Sanitation (Goal 6), Sustainable Cities and Communities (Goal 11), Responsible Consumption and Production (Goal 12), and Life on Land (Goal 15).

Part 3

Here are examples of how three of the goals were brought into the world of Thomas: Goal 11: Thomas talked about living in cities. He said, "Cities need good transport networks to help people get from their homes to school and work." Thomas also said that more people should use public transport, instead of private cars, to help clean the air.

Goal 12: Thomas talked about reusing and recycling. He gave the example of his friend Reg. Reg works at a scrap yard and knows if waste can be reused or recycled. Thomas said, "When something is broken and can't be repaired, Reg recycles it. Once, he even made a Christmas tree from scrap!"

Goal 15: Thomas said that it is especially forests that we should take care of. "Nearly all the insects, plants, and animals on Earth live in forests," he said. "When I

visited China, I traveled through a bamboo forest, and I was really lucky to see a panda in the wild! When I went to India, I saw monkeys in the coconut trees."

Part 4

The world today is quite different from how it was when Thomas the Tank Engine was first created. People's values have greatly changed. There are also new problems that people face today. The SDGs in *Thomas & Friends*TM are an important response to these changes.

It is very early in their lives that children form ideas about the world around them. The messages in the SDG episodes are easy to understand, and they give life lessons. For example, the episodes can help children learn about the importance of diversity. The stories are about engines of both genders who work together. The engines feel a responsibility to take care of the environment and are excited about receiving a good education. They can help children learn important values at an early age.

TRUE OR FALSE ㊦ ㊦

- Thomas leaves Sodor for the first time and travels around the world and meets new friends.
- The United Nations hopes to meet the goals by 2030.
- The life lessons in the SDG episodes are too difficult for children to understand.

Rapid Reading

・1レッスン分を見開きで通読
・音声を使用してリスニングのトレーニング
・TRUE OR FALSE で理解度の確認
・WPM表と連携して速読の練習
様々なアプローチで、大学入試に向けて基礎力を向上させることができます。

WPM表

WPM表

WPM (Words Per Minute) は、1分間に何語句を読めるかを表します。WPMは速読を測るための重要な指標です。

WPM = 総語数 ÷ 時間 (分)

例: 総語数 = 1000語、時間 = 5分 → WPM = 1000 ÷ 5 = 200

日付	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
レベル	397	433	461	488	525	569	620	655	683	
単語数										
時間										
WPM										
スコア										

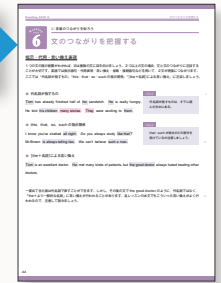
授業展開例

精読中心の授業スタイル

授業の流れ

- 1 Reading Skill で読解のテクニックをインプット
- 2 オーラルイントロダクションを活用して導入
- 3 Skill を活用しながら本文を通読
- 4 Comprehension Questions で内容を確認
- 5 全 Part 終了後に Lesson 末の内容確認問題に取り組む
- 6 Rapid Reading で Lesson 全体を振り返り, TRUE OR FALSE で理解できているかどうかを確認

1 読解やリスニングにも役立つ Skill をインプットする。



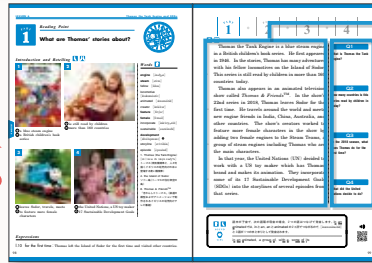
Reading Skill 一覧

- Skill 1 : Punctuation
- Skill 2 : 品詞と文の要素
- Skill 3 : 品詞の感覚と基本の 5 文型
- Skill 4 : 句と節
- Skill 5 : and・but・or が並べるもの
- Skill 6 : 文のつながりを把握する
- Skill 7 : 様々な注意すべき型
- Skill 8 : 物語文の読み方
- Skill 9 : 論説文の読み方

2 オーラルイントロダクションで内容に関するスキーマを活性化させる。

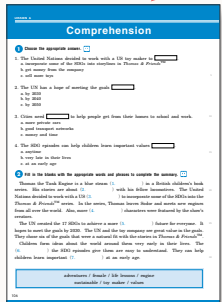


3 マーク・ピーターセン先生校閲の英文なので、上質でスムーズに読み進められます。

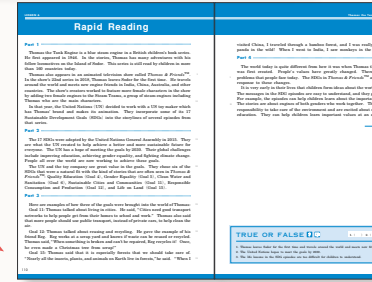


4 Comprehension Questions を解くだけで、本文の概要を把握できているかどうかを確認できるように設問を工夫しています。

5 章末の Comprehension で、さらに本文の内容の詳細を理解させる。



6 Rapid Reading は、速読用のページとして、英文を見開きで読むことができます。ページ下部に TRUE OR FALSE を掲載しているので、内容理解の確認もできます。



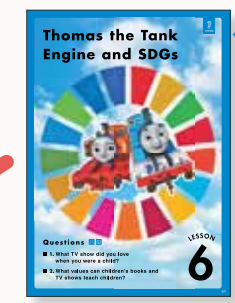
授業展開例

活動中心の授業スタイル

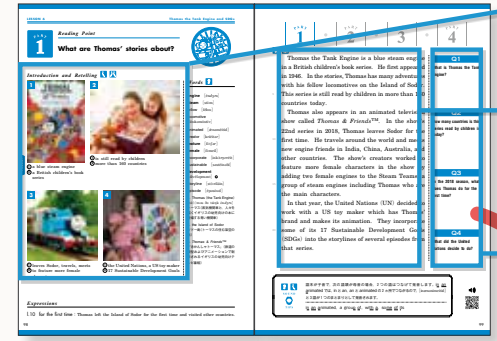
授業の流れ

- 1 オーラルイントロダクションや本文の写真などを活用してスキーマを活性化
- 2 本文を通読
- 3 本文の流れや理解を Comprehension Questions で確認
- 4 写真下のキーワードを見ながら、リテリングの準備
- 5 写真だけを見ながらペアでリテリングを行い、内容をチェック
- 6 リテリングした内容を英文として書き出し、発表する

1 オーラルイントロダクションで内容に関するスキーマを活性化させる。



1 写真を見て、内容を推測させるなどして、スキーマを活性化させる。



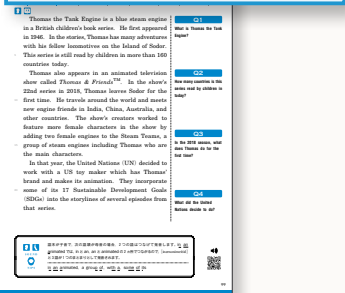
2 マーク・ピーターセン先生校閲の英文なので、上質でスムーズに読み進められます。

3 Comprehension Questions を解くだけで、本文の概要を把握できているかどうかを確認できるように設問を工夫しています。

4 写真や写真の下にあるキーワード、Words を参考に、インプットした英文内容について、どういった流れだったかを思い出しながらリテリングの準備をします。



5 写真だけを見て、ペアでリテリングを行い、お互いに内容を確認し、チェックを行います。



6 最後に、英文に書き起こして、その内容を発表します。

教材配当表



タイトル/概要/分野 (語数)	文法事項	配当時間
Reading Skill 1-3(Punctuation / 品詞と文の要素/品詞の感覚と基本の5文型) Starting Lesson : Mascot Characters for Towns マスコットキャラクターの紹介 Final Task /お気に入りのマスコットキャラクターを選び、紹介し、自分の街のキャラクターを作成する。	中学校の復習	3
Communication Skill (Softener) Lesson 1 : How Can We Become Stronger? 松岡修造が発信する人生を豊かにする言葉 Final Task /いろいろなフレーズの分類から、自分の好きな言葉を選択し、紹介する。	①助動詞 ② to 不定詞	5
Reading Skill 4,5 (句と節 / and・but・or が並べるもの) Lesson 2 : The Jar of Life 人生の中で大切にすることの順番 Final Task /人生における優先順位の重要性を理解し、それを自分自身に置き換えて考えたり、話したりする。	③動名詞 ④間接疑問文	7
Reading Skill 6 (文のつながりを把握する) Lesson 3 : It's Always Sunny in Space! 太陽とエネルギー問題 Final Task /宇宙開発が及ぼす影響について、その長所と短所の両方の側面から考え、意見を共有したり発表する。	⑤後置修飾 ⑥現在完了形	8
Reading Skill 7 (様々な注意すべき型) Lesson 4 : Malala: Fighting for Women's Rights マララと女性権利拡大への行動 Final Task /マララのスピーチを聞き取り、改めて教育について考えたり、理由を書き出したり、発表したりする。	⑦関係代名詞 ⑧過去完了形	8
Reading Skill 8 (物語文の読み方) Optional 1 : A Tale of Terror ある家に泊めてもらった日の衝撃的な出来事 Lesson 5 : Mount Fuji 世界文化遺産リストの富士山 Final Task /世界遺産を自然と文化に分類し、その背景を調べたり、自分が選んだ世界遺産について紹介したりする。		5
Lesson 6 : Thomas the Tank Engine and SDGs きかんしゃトーマスと SDGs Final Task /SDGs の目標から一つ選択し、自分たちの好きなアニメなどのキャラクターと組み合わせたストーリー展開を考え発表したり、スキットを演じたりする。	⑨使役動詞 ⑩節を導く形式主語 it	8
Reading Skill 9 (論説文の読み方) Lesson 7 : Virtual Water 人類の生活と仮想水 Final Task /グループで、水の使用量について意見交換し、自宅の使用量について考えさせ、そこからグループで水の節約法について意見を共有する。	⑪関係代名詞 what ⑫強調構文 It is ... that ~	8
Listening Skill 1 (自然な流れの中で起こる音の変化1) Lesson 8 : Wearable Robots May Change Our Life 山海教授のロボットスーツにける想い Final Task /ロボットを目的別に分類し、いくつかの側面からの長所と短所について書き出し、それらをもとに自分自身でロボットを創造する。	⑬関係代名詞の非制限用法 ⑭関係副詞	9
Optional 2 : Sowing the Seeds of Hope サンゴ礁復活へ奮闘する金城さんの取り組み Listening Skill 2 (自然な流れの中で起こる音の変化2) Lesson 9 : Biomimicry - Inspired by Nature バイオミミクリーの秘密に迫る Final Task /バイオミミクリーの他の例を学び、グループで一つ選択し、特長などについて話し合い、自分たちで考えた新しい製品についてスピーチしたり共有したりする。	⑮仮定法過去 ⑯仮定法過去完了	8
Listening Skill 3 (ストレス・パタン1) Lesson 10 : Donald Keene and His Love of Japan ドナルド・キーンと日本文学 Final Task /ドナルド・キーンの翻訳した書籍のジャンルや時代をまとめ、有名な物語の一節の流れを読み取り、自分自身の好きな物語について書いて共有する。	⑰知覚動詞 ⑱分詞構文	5
Listening Skill 4 (ストレス・パタン2)	⑲前置詞 + 関係代名詞 ⑳完了進行形	8
Listening Skill 4 (ストレス・パタン2)		-

※総授業数は、週3時間、年間30週として計算し、90時間としました。
(Listening Skill 4は弾力的な運用としています。)

注目のレッスン



Lesson 1 : How Can We Become Stronger?

かつて、プロのテニスプレイヤーとして活躍し、今ではスポーツキャスターとして活動している松岡修造氏。メディアでの情熱的でポジティブなイメージとは裏腹に、彼は自分がネガティブな人間だと語っています。そんな彼を励まし、支えてきたものとは何だったのでしょうか。



Lesson 2 : The Jar of Life

1人の大学教授が1つの大きな瓶を持って、学生たちの前にやって来ました。彼はそこに大きな石や小石、砂を入れていきながら学生たちに問いかけます。瓶とそこに入れられた石や砂は何を意味していたのでしょうか。そこには「人生」に関する大切なメッセージが込められていました。



Lesson 4 : Malala : Fighting for Women's Rights

パキスタンやアフガニスタンのある地域では、いまだに紛争や抗争が続いており、それに際して女性の権利の弾圧までもが行われています。教育を受ける権利を制限された少女マララは、女性の教育を受ける権利を取り戻そうと大きな決断を下すのでした。



Lesson 6 : Thomas the Tank Engine and SDGs

2015年9月の国連サミットで採択された持続可能な世界を目指すためのSDGs。そんなSDGsを先駆けて取り入れたのが、世界中で大人気のアニメーション『きかんしゃトーマス』でした。子供向けのアニメーション作品でSDGsを扱うことに一体どんな意義があるのでしょうか。



Lesson 8 : Wearable Robots May Change Our Life

ロボット工学を専門とする筑波大学の山海教授は、「着られるロボット」としてHALという画期的なロボットを開発しました。彼は一体どのようなきっかけがあって、このロボットを開発しようと考えたのでしょうか。その思いに迫ります。



Lesson 9 : Biomimicry - Inspired by Nature

「バイオミミクリー (生物模倣)」とは、さまざまな動植物の生態等をヒントにして、技術開発を進めていくことです。例としては家の壁や車のミラー、注射針など、様々なものが開発されていきます。私たちの身近なものの背後に隠された自然の「工夫」について紐解いていきます。

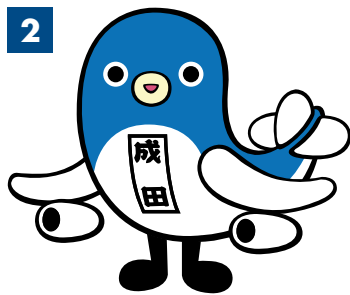
ある街のマスコットキャラクターについて紹介文を読み、自身の街のマスコットキャラクターを作成し、発表します。

Mascot Characters for Towns

Introduction and Retelling



- ① many Japanese towns
- ② mascot characters



- ① Unarikun
- ② eel dishes, airport

Words

mascot [mæskə(:)t]
especially [ɪspɛʃəli]
eel [i:l]
helmet [hɛlmət]



- ① Hikonyan
- ② red helmet, Hikone Castle

彦根市許諾(有償)第 A2210152 号



- ① see a mascot character
- ② become interested in its hometown

Comprehension Questions

Q1 : Where is Unarikun from?

He is from Narita [Airport, City, dishes].

Q2 : What does Hikonyan have on his head?

He has a [bell, castle, helmet] on it.

Q3 : What can people learn about a mascot character?

They can learn a lot about the mascot's [hometown, interests, life].



Many Japanese towns have their own mascot characters. Two of them are here today in our class. They'll talk about their hometowns.

“Hello! I'm Unarikun. I come from Narita City. Narita is especially famous for two things: its eel dishes and its airport. The eel dishes are delicious. From the airport, you can travel to many different countries. I hope many of you will visit Narita.”

“Hi, everyone! I'm Hikonyan. If you like traditional culture and history, you should visit Hikone City. Look at my red helmet. A long time ago, this kind of helmet was worn by samurai. People of Hikone are proud of the helmets. They are proud of Hikone Castle, too. I hope many of you will visit our city.”

When you see a mascot character, you may become interested in its hometown. In fact, you can learn a lot about a town through its mascot character. Does your hometown have a mascot character? What is it like?

Final Task

1 Draw the mascot character of your choice.

2 Describe it in English. (With two sentences or more.)

sample He is from Kumamoto Prefecture. He is a very active boy.
He has big eyes and red cheeks.

例えやガイドに沿って、自ら考えながら活動を行います

3 Choose some good points of your town.

My town has ...

- | | |
|---|---|
| <input type="checkbox"/> delicious local foods. | <input type="checkbox"/> an interesting festival. |
| <input type="checkbox"/> a famous shrine or temple. | <input type="checkbox"/> a beautiful mountain or sea. |
| <input type="checkbox"/> an interesting building. | <input type="checkbox"/> a famous person. |

4 What good points of your town do you want to show people?

5 Draw a new mascot character for your town.



Communication Skill

Softener

Communication Skill

コミュニケーションを行う際の大切な6つの要素について学びます。

コミュニケーションとは、意思や意見、知識や情報などを伝え、やりとりする行為です。私たちは、言葉や文字、身振りなどを使い、さまざまな相手とコミュニケーションをとって生活しています。コミュニケーションを円滑に進める要点は主に6つあるとされ、それぞれの頭文字をとって soften (円滑にする) と呼ばれています。

また、「円滑にする道具」という意味で softener と呼ばれることもあります。この6つの要点を意識することで、対人コミュニケーションはより滑らかになります。それぞれの頭文字で示された要点を見ていきましょう。

s smile (笑顔)

笑みは親愛の情、相手を受け入れる姿勢、相手といっしょにいられて楽しいと感じていることを表します。笑顔は、相手が話しやすい雰囲気を生み出します。

n nod (うなずき)

時折うなずくことで、相手の話に耳を傾けており、その内容を理解し、受け入れていると伝えられます。また、安心感を与えることで、相手は話しやすくなり、コミュニケーションはより円滑なものになります。



e eye contact (アイコンタクト)

相手と目を合わせ、相手の目を見ながら話をしましょう。自分の熱意や自信を示すだけでなく、相手の話に耳を傾けており、もっと知りたいと思っていることを伝えられます。

t tone (語調)

話す内容に適した語調は、相手をその話題に引き込むことにも繋がります。特に相手に自分の思いやメッセージを届けようとする際には、はっきりとそして熱を込めた語調で話しましょう。

o open posture (受け入れる姿勢)

腕や脚を組んだり、拳を握りしめたりした状態は、相手から敵意や反感の表れと見なされるかもしれません。腕や脚を自然に広げ、手のひらを開いた姿勢をとり、相手を受け入れていることを全身で表現しましょう。

f forward lean (前かがみの姿勢)

背もたれに寄りかかるなどせず、前かがみの姿勢をとることは、相手に積極的な関心を持ち、理解しようと努めている意思表示になります。

The Jar of Life



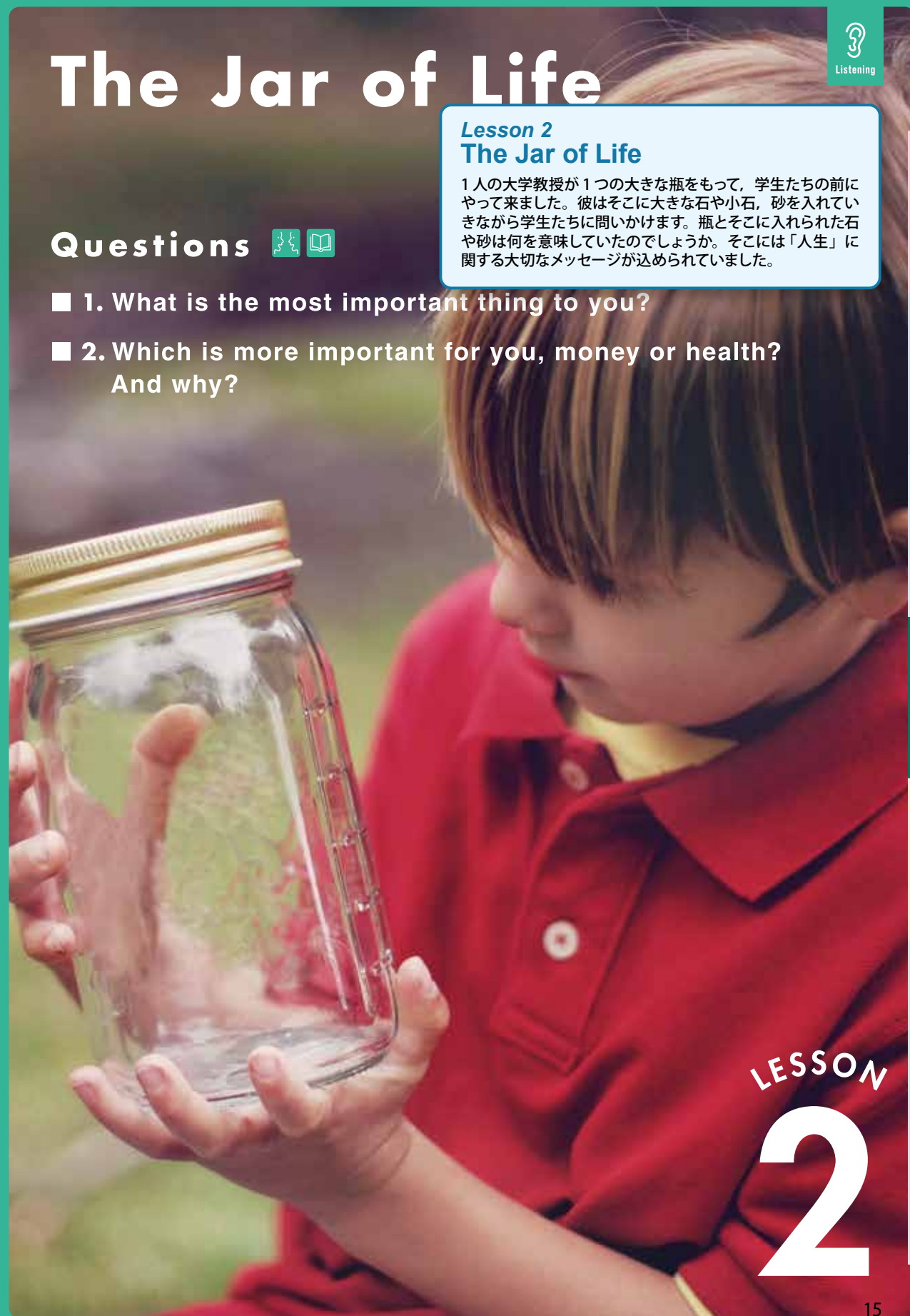
Listening

Lesson 2
The Jar of Life

1人の大学教授が1つの大きな瓶をもって、学生たちの前にやって来ました。彼はそこに大きな石や小石、砂を入れていきながら学生たちに問いかけます。瓶とそこに入れられた石や砂は何を意味していたのでしょうか。そこには「人生」に関する大切なメッセージが込められていました。

Questions

- 1. What is the most important thing to you?
- 2. Which is more important for you, money or health? And why?



LESSON

2

特長
内容紹介
授業展開例
紙面紹介
関連教材
指導用Data
Digital

Part 1

教授が持ってきた瓶に石、小石、砂を入れて学生たちに見せている場面。

The Jar of Life



PART 1

Reading Point

What did the professor have in his hand when he came into the classroom?

Introduction and Retelling



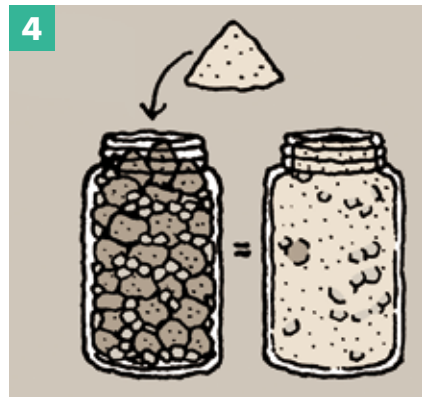
- ① a professor
- ② a large glass jar



- ① filled the jar
- ② some large rocks



- ① small pebbles
- ② went into spaces



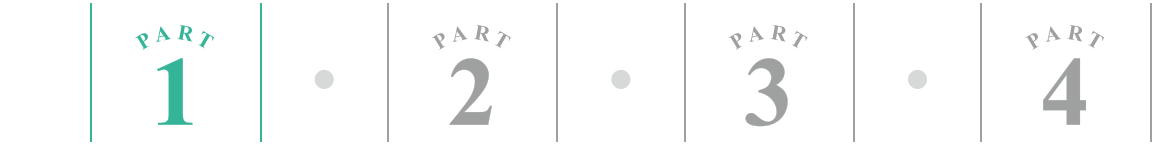
- ① poured sand
- ② completely full

Words

- professor [prə'fɛsə]r
- glass [glɑ:s]
- jar [dʒɑ:r]
- pebble [pɛbl]
- sand [sænd]
- pour [pɔ:r]
- completely [kəm'pli:tli]

Expressions

- l.5 fill ~ with ... : The boy filled the cup with water for the bird.
- l.12 pour ~ into ... : Will you pour some milk into this glass?



Do you want to have a good life? If your answer is "Yes," this story may be helpful.

One day, a professor came into a classroom with a large glass jar. He also brought some rocks, pebbles, and sand. In front of the students, he filled the jar with some large rocks. He then asked, "Is the jar full?" The students said, "Yes."

Next, he put small pebbles into the jar. They went into spaces among the rocks. He asked again, "Is the jar full now?" The students again said, "Yes."

Then the professor poured sand into the jar. All the empty spaces were filled with the sand. He then asked, "Is the jar full now?" The students laughed and agreed that it was completely full.

Q1

Who came into the classroom?

Q2

What did the professor do first?

Q3

What did the professor put into the jar next?

Q4

What did the professor finally pour into the jar?

半分に折りたためば
左ページでリテリングの活動に
右ページで本文と設問に集中

QRコード p.49 →
QRコードを読み取り、Wordsや本文、SOUND TIPSを音声聞きながら復習します。

SOUND TIPS
語末が子音で終わり、次の語が母音で始まる時、2つの語は区切らずに、つなげて発音します。ただし、意味の区切りがあるときは、区切って発音します (put small pebbles / into the jar).
came into, with a, front of, went into, asked again, students again, then asked, laughed and

特長
内容紹介
授業展開例
紙面紹介
関連教材
指導用Data
Digital



PART 2

Part 2

瓶に入れた石, 小石, 砂の意味について。

Reading Point

What did the professor want his students to do?



Introduction and Retelling



- ① wanted them to consider
- ② their priorities in life



- ① the rocks
- ② your family, your health



- ① the pebbles
- ② your job, house, car



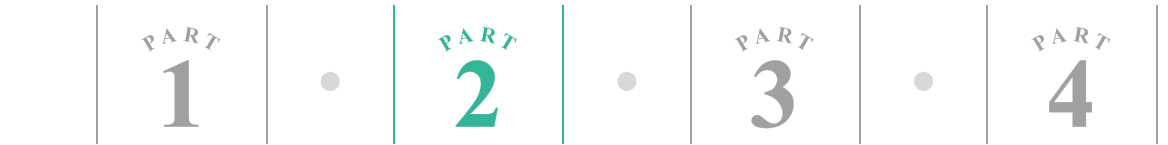
- ① the sand
- ② the smaller things

Words

- consider [kənsɪdər]
- priority [praɪɔːrəti]
- represent [rɛprɪzɛnt]
- tend [tɛnd]

Expressions

- l.9 even if ~ : You have to stay in bed for a few days even if you don't want to.
- l.10 be gone : The pain will soon be gone.
- l.12 tend to do : I like her, but she tends to talk too much.



Why did the professor do this for his students? He wanted them to consider their priorities in life. The jar represents your life. The rocks, pebbles, and sand represent things in your life. The rocks are your family, your health, and other very important things. The pebbles are such things as your job, house, or car. They are important, too, but living a good life is possible without having them. Your "rocks" will support you even if your pebbles are gone. The sand represents the smaller things in your life. They aren't really important, but some people tend to spend too much time on them.

Grammar Mark

各 Lesson で学習すべき文法項目には、本文中にマークを入れています。

Q5

What do the rocks represent?

Q6

What do the pebbles represent?

Q7

What does the sand represent?

Q8

What do some people tend to spend much time on?



A, B, and C のように、3 つ以上の事柄を並べていう場合、イントネーションは A, B と順に上昇させて、最後の C で下降させます。

The rocks, pebbles, and sand
your family, your health, and other very important things



PART 3

Part 3
人生において優先すべきことについて。

Reading Point

What is a really important thing in your life?



Introduction and Retelling



- ① put your sand, first
- ② not be enough room for



- ① true for your life
- ② unimportant things



- ① your "rocks" first
- ② pebbles, next, then sand

Words

- probably [prá(:)bəbli]
- imagine [imáedʒin]
- room [rú:m]
- unimportant [ʌnimpó:rtnt]
- attention [əténʃən]

Expressions

- l.4 room for ~ : There was no room for us in the car.
- l.8 pay attention to ~ : Pay attention to safety when you drive.



You can probably imagine what will happen if you put your sand into the jar first. After that, you will not be able to put all the rocks and pebbles into it. There will not be enough room for them. This is also true for your life. If you do too many unimportant things first, you will not have enough time to do important things. To have a good life, you should pay attention to your "rocks" first. Pebbles come next, and then sand. This order of priorities is really important. It will help you have all the important things in your life.

Comprehension Questions

各 Part で内容理解ができているかを確認する fact-finding の質問です。設問の解答の流れが本文の流れになるように工夫しました。

Q9

What will happen if you put your sand into the jar first?

Q10

What will happen in your life if you do too many unimportant things first?

Q11

What should you do first to have a good life?



前の語が子音で終わり、次の語が[j]で始まる時、2つの語はつなげて発音します。[j]はアルファベットのjとは異なり、日本語のヤ行音に近い発音をします。例えば、If you は [ifju:] のようになります。ただし、put your での [t] + [j] は [tʃ] になります。

help you, in your



特長
内容紹介
授業展開例
紙面紹介
関連教材
指導用 Data
Digital

Part 4

限られた時間を過ごす高校生みなさんに伝えたいこと。

PART 4

Reading Point

What should you remember in order to be able to get everything into your lives?



Introduction and Retelling



- ① study a lot
- ② have club activities



- ① another school, helping their families
- ② can't get enough sleep



- ① time is limited
- ② make choices



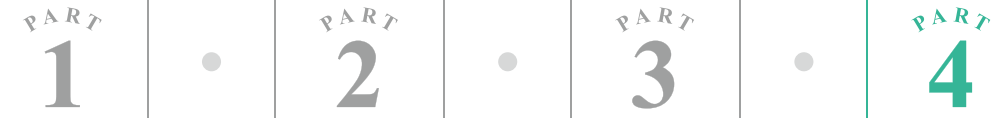
- ① everything into the "jar"
- ② rocks, pebbles, sand

Words

- quite [kwáit]
- limit [límet]
- choice [tʃóis]
- limited [límetid]

Expressions

- l.5 take time : It will take a long time to build the bridge.
- l.7 make a choice : Yesterday, I had to make a very difficult choice.



Most high school students are quite busy every day. They study a lot in class and have club activities after school. Many students even study at another school, such as a *juku*. For some, helping their families at home may take a lot of time. Some students can't get enough sleep. Everyone's time is limited. People always have to make choices about how they should use their limited time. Think about what your "rocks," "pebbles," and "sand" are in your life. When you want to put everything into the "jar," remember this: first rocks, then pebbles, and *then* sand!

SOUND TIPS

本文に関する、音声面で大切なポイントをまとめています。リスニング力やスピーキング力の向上に役立ちます。



語末が [t], [d] などで終わり、次の語も子音で始まる時、前の語の [t], [d] は弱く発音されるか、ほとんど音を飲み込んでしまい、聞こえなくなります。文末に置かれた場合でも、同じようになります。

Most high, and have, at home, can't get, about how, should use, first rocks

Q12

What do most high school students have after school?

Q13

What can't some students do?

Q14

What do people have to do when their time is limited?

Q15

What can you do if you remember the order of priorities?

特長
内容紹介
授業展開例
紙面紹介
関連教材
指導用Data



Comprehension

Lesson 2 Comprehension ①

選択肢式内容理解の問題で各 Part の理解度を確認。

1 Choose the appropriate answer.

- The professor filled the jar with .
 - pebbles, then sand, and then rocks
 - rocks, then pebbles, and then sand
 - pebbles, then rocks, and then sand
- The professor wanted his students to consider .
 - their priorities in life
 - the importance of their families
 - the importance of small things
- Your order of priorities will help you .
 - find unimportant things to do first
 - pay the same attention to important things as you do to unimportant things
 - have all the important things in your life
- You always have to make choices about .
 - what club activities you should choose to do
 - how many hours you should sleep
 - how you should use your limited time

2 Fill in the blanks with the appropriate words to complete the summary.

One day, a professor came into a classroom with a jar. He put some rocks, then pebbles, and then sand into it. Then the jar was completely full. He wanted his students to consider their (1.) in life. The rocks represent things like families or (2.). The pebbles are things like (3.) , houses, or cars. The sand represents (4.) things. If you put your sand into the jar first, there will not be (5.) room for the rocks and pebbles. If you do too many (6.) things first, you will not have (5.) time to do (7.) things. So, you should pay attention to your (8.) of priorities. Everyone's time is (9.). People always have to make (10.) about how they should use their (9.) time.

Lesson 2 Comprehension ②

要約文の空所に当てはまるものを語群から選ぶ問題。

choices / enough / health / jobs / important / limited
order / priorities / smaller / unimportant

Grammar & Exercises

Grammar & Exercises

G3 動名詞
本文中で使用されている重要文法を紹介。

● 動名詞

Examples
G3

- He is good at **playing** the piano.
(彼はピアノをひくのが上手です。)
- Her hobby is **making** clothes.
(彼女の趣味は服を作ることです。)
- Traveling** by train in Tokyo is fast and cheap.
(東京を電車で移動するのは、早くて安い。)




- 動名詞は動詞の原形に ing をつけたもので、「～すること、～であること」という意味があり、主語・目的語・補語・前置詞の目的語としても用いられる。
- 他動詞の後に来る目的語として、動名詞を用いることがある。動名詞を目的語として扱う他動詞は、enjoy, finish, stop, practice などが挙げられる。


1 Choose the appropriate answer.


- I enjoy () books on Sundays.
 - read
 - reading
 - to read
- () tennis is a lot of fun.
 - Plays
 - Playing
 - Play
- I'm glad my father gave up ().
 - smoke
 - smoking
 - to smoke
- I'm sorry for () late.
 - being
 - to be
 - becoming

2 The following example conversation is about your free time. Use the grammar in G3 (doing ~) to make a conversation like the example below. Then, have the conversation with your partner.

ex.  What do you enjoy **doing** in your free time?

 I love **baking** cakes.

 How did you learn it?

 My mother taught me. She is very good at **baking** cakes.

Grammar & Exercises

Lesson 2 Final Task

本文内容に沿って、自身の「石」「小石」「砂」が何か考え、グループで共有し合います。

Final Task

● 間接疑問文

Grammar & Exercises

G4 間接疑問文
ここでは、Part 3で使用される「間接疑問文」を学習するページになります。

Examples
G4

a Do you understand **what** he is saying?
(彼が何を言っているのかわかりますか。)

b Does she know **when** she should arrive?
(いつ到着すべきか、彼女は知っていますか。)

c I wonder **what** happened to her.
(彼女に何が起こったんだろう。)



○普通の疑問文と異なり、〈疑問詞+S+V〉の語順になる。who や what など、疑問詞が主語にあたる場合は、〈疑問詞+V〉の語順になる。

- ・ When does the store open? (疑問文)
→ Do you know **when** the store opens? (間接疑問文)
- ・ Who wrote this book? (疑問文)
→ Does anyone know **who** wrote this book? (間接疑問文)

1 Complete the sentences. ✍️

- この地図で学校がどこにあるか教えてください。
Can you show me () the school is on this map?
- 僕らの計画に関して先生がどう思っているかわかりますか。
Do you know () the teacher thinks about our plan?
- あの家にはだれが住んでいるかわかりますか。
Do you know () lives in that house?

2 The following example conversation is about a meeting. Use the grammar in G4 (what / where / when / who (+ S) + V) to make a conversation like the example below. 🗨️

ex. **A** Do you know **when** we have the next meeting?

B Tomorrow, at 5 o'clock. Can you come?

A Yes, but I didn't know that. I was absent last time.

B Oh, that's right. Do you know **where** we meet?

1 What do the activities ①~⑧ represent in the "Jar of Life"? Are they rocks, pebbles, or sand? Talk about this in pairs and put them in the boxes a to c below. 🗨️

Example Conversation

A: Which of the following activities are your "rocks"?
B: "Studying" and "Reading books" are my "rocks."
A: Why do you think so?
B: Because they can make my life better. How about you?

- Playing video games
- Studying
- Using social media on your smartphone
- Making money
- Reading books
- Eating delicious food
- Doing club activities
- Watching movies

a rocks	b pebbles	c sand
ideas and reasons	ideas and reasons	ideas and reasons

2 What things are rocks, pebbles, and sand for you? Put your own ideas and reasons into the boxes above. ✍️

3 Share your ideas with your group members. 🗨️

My rocks are ... / My pebbles are ... / My sand is ...

4 Make a presentation about your own "Jar of Life." 🗨️

実はまだ入るものがあります。何だと思えますか。またそれは何を表すと思えますか。

特長
内容紹介
授業展開例
紙面紹介
関連教材
指導用Data
Digital

Rapid Reading

Lesson 2 Rapid Reading

各 Part の英文を見開き1ページで見ることができます。
Lesson 全体の英文を使用して、速読の練習をすることができます。

Part 1

Do you want to have a good life? If your answer is “Yes,” this story may be helpful.

One day, a professor came into a classroom with a large glass jar. He also brought some rocks, pebbles, and sand. In front of the students, he filled the jar with some large rocks. He then asked, “Is the jar full?” The students said, “Yes.”

Next, he put small pebbles into the jar. They went into spaces among the rocks. He asked again, “Is the jar full now?” The students again said, “Yes.”

Then the professor poured sand into the jar. All the empty spaces were filled with the sand. He then asked, “Is the jar full now?” The students laughed and agreed that it was completely full.

Part 2

Why did the professor do this for his students? He wanted them to consider their priorities in life. The jar represents your life. The rocks, pebbles, and sand represent things in your life. The rocks are your family, your health, and other very important things. The pebbles are such things as your job, house, or car. They are important, too, but living a good life is possible without having them. Your “rocks” will support you even if your pebbles are gone. The sand represents the smaller things in your life. They aren’t really important, but some people tend to spend too much time on them.

Part 3

You can probably imagine what will happen if you put your sand into the jar first. After that, you will not be able to put all the rocks and pebbles into it. There will not be enough room for them. This is also true for your life. If you do too many unimportant things first, you will not have enough time to do important things. To have a good life, you should pay attention to your “rocks” first. Pebbles come next, and then sand. This order of priorities is really important. It will help you have all the important things in your life.

Part 4

Most high school students are quite busy every day. They study a lot in class and have club activities after school. Many students even study at another school, such as a *juku*. For some, helping their families at home may take a lot of time. Some students can’t get enough sleep. Everyone’s time is limited. People always have to make choices about how they should use their limited time. Think about what your “rocks,” “pebbles,” and “sand” are in your life. When you want to put everything into the “jar,” remember this: first rocks, then pebbles, and *then* sand!

total words 4

_____ min. _____ se

TRUE OR FALSE

本文全体の内容理解を確認します。TRUE OR FALSE の正答数と本文を読むのに
かかった時間をもとに、巻末の WPM 表でスコアを算出することができます。

TRUE OR FALSE

1. () 2. () 3. ()

- The professor brought a large glass jar into the classroom because he wanted his students to understand the importance of their lives.
- If you put things into the jar in the right order, you will have a good life.
- Since high school students are busy doing many things, they have to make choices about what they should do first and what they should do after that.

Reading Skill

読解していく際に必要な Skill を解説します。

Reading Skill

9

① 論説文の構成を知ろう

論説文の読み方

パラグラフとは

あるまとまった英語の文章のことを段落、パラグラフ(paragraph)と呼びます。パラグラフは英語で文章を書くときの単位です。

パラグラフの構成

筆者が自分の意見を主張し、それを読み手に説明している文を論説文と言います。英語の論説文では、パラグラフの構成が強く意識されます。

①Baseball is the national sport of the United States. ②It began in 1839 in a city in New York. ③Since then it has been popular for more than a hundred and eighty years. ④However, few people know that there have been many changes in the rules of baseball since 1839. ⑤In early days, the rules of the game were different from place to place. ⑥But today they are the same everywhere in the United States.

● トピックセンテンス

これから書かれる話題です。ここには、ふつう主題となる文、トピックセンテンスがきます。パラグラフの中で最も重要な文です。

→①の文は「野球はアメリカの国技である」と、話題を述べています。つまり、この文がトピックセンテンスです。

● サポートセンテンス

トピックセンテンスで述べたことについて、読む人を納得させるための具体例などができるだけ詳しく書かれています。→②～⑤の文は「野球の試合がいつ、どこで始まったのか。最初、ルールは全国同じではなかった」などが具体的に書かれています。

● コンクルーディングセンテンス

要点をまとめたり、トピックセンテンスを言いかえたりして、文章を結びます。

→⑥の文は、トピックセンテンス①を受けて「今日アメリカ全土で、ルールは同じである」と述べ、結びの文としています。

Listening Skill

リスニングで注意すべき発音のパターンなどを学習します。

Listening Skill

1

自然な流れの中で起こる音の変化 1

● つながる音

英語では、次にくる語が母音で始まる時、前の語の最後の子音といっしょになって1つの音として発音されます。

an egg in it one of them

up and away in an hour

特に、[r]で終わる語の次に母音で始まる語がきたときは気をつけよう。

there is there are more interesting

far away cheer up

● 聞こえない音

一語の中で、また二語にわたって、同じ音や似た音が続く場合、最初の音が聞こえないことがよくあります。日本語でも「学校」が「がっこう」ではなく「がっこう」と発音されるなど、同様のことが起こります。

hot tea good day take care big guy

want to brush shoes some money with this

Quiz

①音声を聞いて、次の語句や文の<つながる音>に_をつけましょう。

an easy book come in break up

an important story

He had a key to his success.

There are a lot of Japanese restaurants in America.

The power of one person is very small.

②モデルを聞いて、次の語句や文の<聞こえない音>に_をつけましょう。

a hot tea that town deep blue

the same month He looks so cute.

I want to eat an apple.

Culture

分野別 Hot Topics

スキーマをより活性化させるために、入試で頻出の6分野(文化・日常・社会・自然・産業・科学)の背景知識と語彙をまとめました。

今日、世界中で英語話者が増加する一方で、話者が減りつつある言語もある。

「消滅危機言語(endangered language)」と呼ばれるこのような言語は日本にもある。その一つがアイヌ語(Ainu)である。アイヌ語は北海道やロシア領の樺太(サハリン)で生活しているアイヌ民族に用いられた言葉だが、アイヌ民族



の移住を始めとする歴史的な背景(historical background)や、話者が圧倒的に多い日本語・ロシア語の影響を受け、アイヌ語の話者は減少している。2007年に公表された調査結果によると、アイヌ語を母語としている人は10人とされており、現在ではさらに話者数が減少しているのではないかと危惧されている。言語の消滅は文化の消失(deculturation)にもつながるため、言語学者が消滅危機言語の保存を目的とした辞書の作成や音声の収録を行っている。

近年、日本文化は世界中で受け入れられている。富士山が世界文化遺産(World Cultural Heritage Site)に登録されたことで多くの観光客が日本を訪れ、近辺の企業や飲食店に利益(profit)をもたらしている。こうした日本独自の文化を推進(promote)して経済を活性化させる「クールジャパン政策(Cool Japan Initiative)」という取り組みがある。日本のアニメーションも文化のひとつであり、それぞれの国の言葉に翻訳(translation)され、



世界各地で放送されている。日本のアイドルもまた世界に進出してライブを行うなど、あらゆる側面から日本独自の文化が世界に広がっている。日本文化がこうして注目を集める理由の一つに、さまざまな外国の文化を吸収(absorb)して独自の進化を遂げてきたことがあげられるだろう。西欧や欧米文化の影響を受けて、現在の洗練された日本文化が形成されたと考えられる。

WORDS

archaeology [ˌɑːrkiːɑː(ː)lədʒi] 考古学

civilization [sɪvələʒeɪʃən] 文明

colonialism [kələʊniəlɪzəm] 植民地主義

custom [kʌstəm] 習慣, 慣習

ethnic group [éθnik] 民族(集団)

folklore [fóʊklɔːr] 民間伝承, 民俗学

inborn [ɪnbɔːrn] 先天的な, 生まれ持った

nurture [nɜːrtʃər] 養育, 育成

ritual [rɪtʃuəl] 儀式

stereotype [stéəriətáip] 固定観念

tribe [tráib] 部族

WPM表

WPM表

1分間あたりの読解スピードとTRUE OR FALSEの正答率を記録することで、速読力の向上を可視化させることができます。

WPM

WPMとはWords Per Minuteの略で、1分間に何語読めたかを表します。

WPMに正答率をかけてスコアを出します。

・WPMは●で、スコアは○を記録し、グラフにしてみましょう。

$$WPM = \text{本文語数} \times \frac{60}{\text{total time : 秒}}$$

$$\text{スコア} = WPM \times \frac{\text{正答数 : 問}}{\text{問題数 : 3問}}$$

※正答数は各レッスンのRapid ReadingのTrue or Falseのものを使用します。

日付	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/
Lesson	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
語数	397	433	441	468	525	609	620	630	655	683
total time	秒	秒	秒	秒	秒	秒	秒	秒	秒	秒
T or F 正答数	/3	/3	/3	/3	/3	/3	/3	/3	/3	/3
WPM										
スコア										
200										
180										
160										
140										
120										
100										
80										
60										
40										
20										
0										

教材配当表



タイトル/概要/分野(語数)	文法事項	配当時間
Conversation Skill 1,2(ペアワーク, グループ活動の活性化/プレゼンテーションの準備)		2
Lesson 1: Anime Pilgrimages アニメ聖地巡礼と地域に与える影響 Final Task 自分の好きなアニメや映画などの聖地について, 作品と好きな理由を紹介する。	①受け身の不定詞 ②受け身の進行形	7
Reading Skill 1(代名詞・言い換えに注意する)		1
Lesson 2: Iwaya Keisuke and the Pursuit of Dreams 岩谷圭介氏のふうせん宇宙撮影 Final Task 教科書で与えられた発明品についての自分の意見を長所と短所の両方の側面から考え, 意見を共有する。	③助動詞+完了形 ④受け身の完了形	7
Reading Skill 2(パラグラフ構成を意識して読む)		1
Lesson 3: The Surprising History of Salt 塩の歴史的な役割 Final Task 何年も使用されている4つのアイテムの役割についてそれぞれ考え, 意見を共有する。	⑤if節のない仮定法 ⑥動名詞の意味上の主語	7
Reading Skill 3(例示・列挙・新情報の追加)		1
Lesson 4: A Future World, with or without Sea Turtles ウミガメの生態と環境保全のために私たちがすべきこと Final Task 狩りをした動物をどこでどのように使用されているのかを調べ, 考えをまとめたり発表したりする。	⑦as ifを用いた仮定法 ⑧疑問詞+to do	8
Optional 1: Billy's Mission 少年ピリーの森での大切なミッション		4
Vocabulary Building 1		1
Reading Skill 4(報告文を読む)		1
Lesson 5: The Psychology of Waiting in Line 長い列に並んで待つときの人間の心理 Final Task 不満を感じる商業もしくは公共サービスや校則についての意見を共有し, 解決策を考え, 企業や学校へ向けた文章を作成する。	⑨同格を導く接続詞 that ⑩関係副詞の非制限用法	8
Reading Skill 5(原因・理由・結果の表現に注意する)		1
Lesson 6: The Human Library ヒューマンライブラリーのエピソードと共生社会を実現するために私たちがすべきこと Final Task 教科書で与えられた8つの立場のうち, どの立場の人の話を聞いてみたいかを考え, 意見を共有したり, 集めた情報をまとめて説明したりする。	⑪否定の分詞構文 ⑫完了形の不定詞	9
Reading Skill 6(時間・順序を表す言葉に注意する)		1
Lesson 7: More Than Just Shelters 坂茂氏の被災地での慈善活動と若者へのメッセージ Final Task 緊急避難所の生活環境における問題と改善案を考え, グループで話し合ったり発表したりする。	⑬部分否定 ⑭If S' were to V, S would V...	9
Reading Skill 7(新聞記事や広告を読む)		1
Lesson 8: Infectious Diseases and Humans ウイルスの実態と感染症の歴史 Final Task 歴史的な感染症のデータをもとに意見を共有したり, 感染症予防のポスターを作って発表する。	⑮付帯状況の with ⑯受け身の分詞構文	10
Optional 2: Days with Rose 大学の授業で友人となったおばあさんのローズが教えてくれた人生で大切なこと		5
Vocabulary Building 2		1
Reading Skill 8(逆接・対比の表現に注意する)		1
Lesson 9: Fashion for Pride コンゴ共和国の実態とサプールの考え Final Task それぞれファッションの歴史的, 社会的背景や哲学について自分の意見を共有したり, 興味のあるファッションについて調べて発表したりする。	⑰倒置 ⑱完了形の分詞構文	10
Reading Skill 9(推測して読む)		1
Lesson 10: Larry Page and the Dream of Google Google 誕生秘話と夢を叶えるために大切なこと Final Task ラリー・ページの夢を実現するまでの道のりをふまえて, 自分自身の夢を実現するために出来ることや必要なことを考え, 発表する。	⑲複合関係代名詞 ⑳二重否定(肯定の意味を表す)	10
Vocabulary Building 3		1
Optional 3: "The 14th Dalai Lama" ダライ・ラマ 14世の幸せになるための教えと学生たちに伝えたいこと		5

※総授業数は, 週4時間, 年間28週として計算し, 113時間としました。

注目のレッスン



Lesson 1: Anime Pilgrimages

日本の代表的な文化の一つである「アニメ」。その作品の舞台となった場所を訪れる「アニメ聖地巡礼」が経済に大きく貢献しています。アニメ聖地巡礼が作品の舞台となった地域に与える影響と, 今後期待されている効果とはどのようなもののでしょうか?



Lesson 4: A Future World, with or without Sea Turtles

水族館やテレビ番組でおなじみのウミガメ。太平洋を横断するほどの移動をすることや, 産まれた砂浜に戻ってくることなどで知られる神秘的な生き物ですが, 近年では絶滅が心配されるようになりました。私たちがウミガメにできることはあるのでしょうか?



Lesson 5: The Psychology of Waiting in Line

あなたは長い列に並んでいるとき, どのように感じているのでしょうか? 実は日常のさまざまな場所で, 行列の待ち時間の心理的な負担を軽減する様々な工夫がされています。この Lesson を通して, 行列に並ぶ際のストレスを和らげる方法を知ることができるかもしれません。



Lesson 6: The Human Library

デンマーク発祥の「ヒューマンライブラリー」では, 「本」ではなく実際の「人」が物語を語ってくれます。その中には LGBTQ やホームレスなど様々な立場の人々があります。ヒューマンライブラリーの「本」たちが教えてくれる多様性を受け入れるために大切なことは何でしょうか?



Lesson 8: Infectious Diseases and Humans

近年猛威を振っている感染症。しかし, 人類はこれまでも感染症に脅かされてきました。感染症の原因となるウイルスについてあなたはどのくらい理解していますか? この Lesson ではウイルスの実態と感染症の歴史について見ていきます。



Lesson 9: Fashion for Pride

国民の3割が一日に150円程度しか稼げないほど貧しいコンゴ共和国。その給与の何カ月分もするきらびやかなスーツを身にまとう, 「サプール」と呼ばれる男たちが闊歩するようになりました。未舗装の道路が続く国で見つけた, 彼らの「生きる喜び」とは?

内容紹介

FLEX ENGLISH COMMUNICATION II Lesson 1

本文 (Lesson 1 Part 1)

Lesson 1 は「アニメ聖地巡礼」を題材にしており、Part 1 ではその概観について述べた文章になっています。Part 2 では「アニメ聖地巡礼」の経済効果、Part 3 では観光客と地域住民の間で生じた問題について、Part 4 では彼らの相互理解と、海外のアニメファンの誘致について述べています。

1 Reading Point
What are "holy" places for anime fans?

Introduction and Retelling

Words

Expressions

12 be based on ~: The TV drama is based on a true story.

Grammar & Exercises

G2

G1

○不定形で受け身を表すためには (to be + 過去分詞) の形を用いる。「~される」という意味で、不定詞の意味上の主語が、不定詞の動作・行為を受けることを表します。

Comprehension, Grammar & Exercises

Lesson 1 全体の理解度を確保する Comprehension と、Lesson 1 に登場した重要文法事項の「受け身の不定詞」についての解説と設問を記載した Grammar & Exercises。

Comprehension

Grammar & Exercises

受け身の不定詞

G1

G2

Grammar & Exercises, Final Task

Lesson 1 に登場した重要文法事項の「受け身の進行形」についての解説と設問を記載した Grammar & Exercises。Lesson 1 の Final Task では様々な「聖地」について考え、訪れたい「聖地」についてペアで発表し合う活動を行います。

Grammar & Exercises

Final Task

受け身の進行形

1 Complete the sentences.

2 The following example conversation is about whether a room is being used or not. Use the grammar in G2 (be being done) to make a conversation like the example below. Then, have the conversation with your partner.

3 Using the information above, tell your partner about this place and show them the pictures. Then, complete the table below after listening to your partner's presentation.

Rapid Reading

1Lesson 分を通読し、TRUE OR FALSE で理解度を確保できるページです。巻末の WPM 表にも対応しています。

Rapid Reading

Part 1

Part 2

Part 3

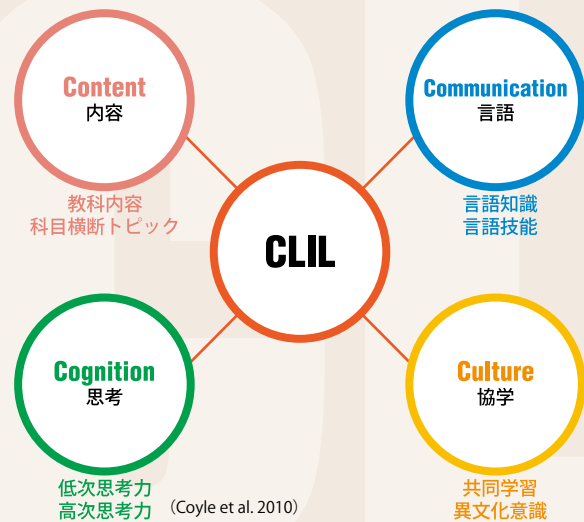
Part 4

TRUE OR FALSE

CLIL 型授業実践で思考力を育てる

CLIL とは？

CLILの「4つのC」



「CLIL」は「Content and Language Integrated Learning」の頭文字をとって作られた言葉で、日本語では「内容言語統合型学習」と呼ばれています。CLILにおいては、「4つのC」を意図的に授業に入れることが重要だと考えられています。

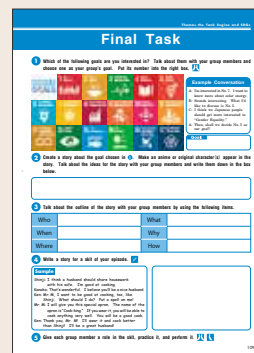
4つのCとは
「Content (内容)」「Communication (言語)」「Cognition (思考)」「Culture (協学)」です。

一般に思考は6つに分類されます。暗記・理解・適用・分析・評価・創造です。CLILではこれらをLOTS（低次思考力）とHOTS（高次思考力）とに区分することで、扱うテーマや授業形態といった教室指導と学習評価において、学習者がどの程度の思考の負荷をかけるかを授業者が意識的に設計できるようになっています。

FLEX では LOTS も HOTS も同時に扱えるような構成・内容となっています。特に各 Lesson 末の Final Task は、「4つのC」をバランスよく配置した指導ができるように設計しました。学習者を自然と深い思考に誘うことで、さまざまな思考力を着実に育成します。

各 Lesson の本文を読みながらインプットした語彙表現や情報を活用して話したり、書いたりしながら活動を進めていきます。

ペアワークやグループワークにも適したタスクを多数ご用意しておりますので、よりアクティブな授業を実現することができます。



授業展開の例

インプットした本文の内容と新出の語彙表現、文法事項を活用しながら、個人、ペア、グループで活動に取り組み、積極的なアウトプットを促します。

1 17のSDGsのゴールの中から興味のあるものを1つ選び、グループで共有します。Example Conversationを活用することで、苦手意識のある生徒も積極的に取り組むことができます。

2 グループで選んだゴールを踏まえて、寸劇（スキット）の内容を考えます。

3 5W1Hの情報を整理しながらスキットの詳細を詰めていきます。知っているアニメや映画、ドラマなどのキャラクターなどを参考にすることもできます。

4 実際にスクリプトを作成していきます。

5 グループで作成したスクリプトをもとに、スキットを演じます。

Final Task

1 Which of the following goals are you interested in? Talk about them with your group members and choose one as your group's goal. Put its number into the right box.

Example Conversation
A: I'm interested in No. 7. I want to know more about solar energy.
B: Sounds interesting. What I'd like to discuss is No. 5.
C: I think we Japanese people should get more interested in "Gender Equality."
A: Then, shall we decide No. 5 as our goal?

Goal:

2 Create a story about the goal chosen in 1. Make an anime or original character(s) appear in the story. Talk about the ideas for the story with your group members and write them down in the box below.

3 Talk about the outline of the story with your group members by using the following items.

Who	What
When	Why
Where	How

4 Write a story for a skit of your episode.

Sample
Shinji: I think a husband should share housework with his wife. I'm good at cooking.
Kanako: That's wonderful. I believe you'll be a nice husband.
Ken: Mr. M, I want to be good at cooking, too, like Shinji. What should I do? Put a spell on me!
Mr. M: I will give you this special apron. The name of the apron is "Cook-king." If you wear it, you will be able to cook anything very well. You will be a good cook.
Ken: Thank you, Mr. M! I'll wear it and cook better than Shinji! I'll be a great husband!

5 Give each group member a role in the skit, practice it, and perform it.

教科書関連教材

教師用指導書 (Teacher's Manual)

I: 本体 30,000 円 (税別), 定価 33,000 円 (税込)
II: 本体 33,000 円 (税別), 定価 36,300 円 (税込)

多様な指導計画に込えられる一冊。

I: B5判 2分冊 vol.1 288頁, vol.2 264頁
II: B5判 2分冊 vol.1 264頁, vol.2 304頁

指導のポイント / 観点別評価規準 (案)

指導のポイント

指導のポイント (以下、指導案含む)

- 「きかんしゃトーマス」とはどのようなアニメ作品なのか、また近年のトーマスの世界観がどのようなものかを読み取らせる。
- SDGsとは何か、トーマスとSDGsのつながりとは何かを読み取らせる。
- SDGsにまつわるトーマスの世界観の具体的な内容を理解させる。
- トーマスの中で描かれているSDGsの内容が子どもたちに与えるものと何かを読み取らせる。
- 関係代名詞 what, 強調構文 It is... that... などの文法・文構造を理解し、それぞれを使ったペア、グループワーク、あるいは発表などを行う。

●指導と評価の計画 (8時間)

時間	ねらい・学習活動・指導上の留意点	単元の評価規準	評価方法
1 40分	Part 1 ~ 4 【お話し】 「きかんしゃトーマス」とはどのようなアニメなのか、国連などのように協力したのかを読み取らせる。 SDGsとは何か、どの目標が「きかんしゃトーマス」に組み込まれているかを理解させる。 SDGsのどの目標をどのようにトーマスの物語に結びつけているかを読み取らせる。 「きかんしゃトーマス」が最初に作られた頃の時代の文化と子どもたちに与えている影響について読み取らせる。 【学習活動】 ・新出語の確認をする。 ・文法事項の確認をする。 (各パートで学習する文法事項) Part 2: 関係代名詞 what Part 3: 強調構文 It is... that... ・本文の内容および背景知識を学習し、音読や内容理解の問題、Retelling等の活動を通して理解を深める。 【指導上の留意点】 ・イラストや写真、音声を効果的に活用する。 ・学習の形態 (個人、ペア、全体) を工夫する。	知識・技能 (L・R) 思考・判断・表現 (L・R) 主体的に学習に取り組む態度 (L・R) (I・P・W)	単語読解小テスト リテリング用ワークシート

各 Lesson の最初に指導する際のポイントや授業計画案のサンプルをまとめています。
各 Part のねらい、指導の流れ、扱う観点の項目や評価していく際に使用できるデータ類を挙げています。

観点別評価規準 (案)

観点	Part Task	評価規準 (L: 聞く / R: 読む / I: 話す (やり取り) / P: 話す (発表) / W: 書く)
知識・技能	Part 1 ~ 4	【知識】 関係代名詞 what・強調構文 It is... that... の用法や決まりに関する事項を理解している。 【技能】 (L) 教科書本文の音声を聞いて、本文中の関係代名詞 what・強調構文 It is... that... が使われた英文の意味を把握する技能を身に付けている。 (R) 教科書本文を読んで、本文中の関係代名詞 what・強調構文 It is... that... が使われた英文の意味を把握する技能を身に付けている。 【表現】 (W・P) 関係代名詞 what を用いて「無人島に持って行くもの」について書き、それを発表する技能を身に付けている。 (I・P) 強調構文 It is... that... を用いて過去の過ごし方についての会話を即興で作り、それをペアで発表する技能を身に付けている。
	全体	(L・R) 「国連の定めたSDGs」「トーマスの物語に人生の教訓を組み込む意義」の内容を理解できる。 (I・P・W) 理解した内容を自分の言葉で表現し、相手に伝えることができる。また、本文から学んだ「国連の定めたSDGs」「児童用の車やテレビ番組の物語に人生の教訓を組み込むこと」について自分なりに意見を持ち、それを表現することができる。
	Part 1	(L・R) トーマスの物語とSDGsが組み込まれた経緯を本文から理解できる。
	Part 2	(L・R) SDGsの内容と意義を本文から理解できる。
思考・判断・表現	Part 3	(L・R) SDGsを組み込んだトーマスのエピソードについて本文から理解できる。
	Part 4	(L・R) 子どもたちのテレビ番組に人生の教訓を盛り込む意義を理解できる。
	G & E	(I・P・W) 関係代名詞 what・It is... that... を使って、指示に沿った適切な英文を書いたり、自分の考えを表現したり、相手に伝えたりすることができる。 (I) 興味のあるSDGsについて自分の意見や考えを、学び得た語彙や表現、情報に基づき表現し、即興で相手に伝えることができる。 (P・W) やり取りの内容を踏まえ、改めて自分の意見を表現したり、書いたりできる。 (L・R) 国連が定めたSDGsの内容や、それを取り入れたトーマスの物語を自ら理解しようとしている。
	全体	(I・P・W) 本文から学んだ自分を取り巻く「社会」や「環境」の問題について自分なりに意見を持ち、積極的に発信しようとしている。
主体的な学習態度	Part 1	(L・R) トーマスの物語とSDGsが組み込まれた経緯を読み取ろうと努めている。 (I・P・W) 本文の内容を自分なりに理解して、リテリングしようとしている。
	Part 2	(L・R) SDGsの内容と意義を理解しようとしている。 (I・P・W) 本文の内容を自分なりに理解して、リテリングしようとしている。
	Part 3	(L・R) SDGsを組み込んだトーマスのエピソードについて理解しようとしている。 (I・P・W) 本文の内容を自分なりに理解して、リテリングしようとしている。
	Part 4	(L・R) トーマスのテレビ番組に人生の教訓を盛り込む意義を理解しようとしている。 (I・P・W) 本文の内容を自分なりに理解して、リテリングしようとしている。
Final Task	(I) 興味のあるSDGsについて自分の意見や考えを、学び得た語彙や表現、情報に基づき表現し、即興で相手に伝える。相手の意見を聞き取りようとしている。 (P・W) 他の生徒の意見も取り入れながら、自分の意見をまとめて、主体的に発信しようとしている。	

指導のポイントでも挙げている観点別評価の内容を一覧でまとめています。
各 Part で評価できる観点項目、あるいは章末の活動で評価できる項目など、学習指導要領に沿った3つの観点の評価に対する内容もまとめています。

新出語・Expressions 解説 / 本文解説 / Grammar 解説

新出語・Expressions 解説

the one in page 97.
T: That's right. The blue locomotive is Thomas. And do you know who the red locomotive is?
S2: No, I don't. But probably it's a female locomotive.
T: That's right. Do you think it's important that the red one is a female locomotive, S3?
S3: I guess so. Probably it has something to do with one of the SDGs.
T: That's right! Now let's read page 99.

Retelling 例

11 Thomas is a blue steam engine in a British children's book series.

単語	品詞	訳	英訳定義	例文
engine ([ɛnʤɪn])	名	(鉄道の) 機関車、エンジン	a vehicle that pulls a train; the part of a vehicle that produces power to make the vehicle move (OALD)	In 1941, the train would have been pulled by a steam engine. (Cobuild)
steam ([sti:m])	名	蒸気、水蒸気、スチーム	the hot gas that water changes into when it boils (OALD)	Steam rose from the boiling kettle. (OALD)
fellow ([feləʊ])	名	仲間、同僚	someone who is travelling or working, studying with you (LJL)	We sometimes appear to care more for animals than for our fellow human beings. (OALD)
locomotive ([ləʊkə'mə:tɪv])	名	機関車	a railway engine that pulls a train (OALD)	Steam locomotives pumped out clouds of white smoke. (Cobuild)
animated ([ænɪ'meɪtɪd])	形	アニメの	produced through the process of animation (MWLDG)	an animated version of a classic fairy tale (ODE)
creator ([kri:etə])	名	創業者 (音楽) 者、創造 (制作) 者、創設者	a person who makes something new (MWLDG)	Walt Disney, the creator of Mickey Mouse (LDOCE)
feature ([fi:tʃə])	動	～を出演させている	to have or include someone or something as an important part (MWLDG)	The exhibition features paintings by Picasso. (LDOCE)
female ([fi:meɪl])	形	女性の	being a woman or a girl (OALD)	Over half of the staff are female. (LDOCE)
incorporate ([ɪn'kɔ:pəreɪt])	動	～を組み入れる	to include something as part of a group, system, plan etc (LDOCE)	We have incorporated all the latest safety features into the design. (OALD)
sustainable ([sə'steɪnəbl])	形	持続可能な	able to last or continue for a long time (MWLDG)	The government should do more to promote sustainable agriculture. (LDOCE)

Lesson 6-11

本文解説

発音されないことに注意。
・locomotive [ləʊkə'mə:tɪv] locomotive 機関車という、steam locomotive で「蒸気機関車」の意味。
・the Island of Sodor [ˈsɒdə] 「ソドール島」 絵本シリーズ「汽車のえほん」およびその映像化作品「きかんしゃトーマス」の舞台である架空の島。アイリッシュ海上のファン島とイギリス本土のアンブリア州のローレイクシャー半島の間に存在する。
56. This series is still read by children in more than 160 countries today. [このシリーズは今日でもなお、160か国以上の子どもたちに読まれています]
・This series is Thomas the Tank Engine 「きかんしゃトーマス」の絵本のシリーズを指す。
・is still read by ~ によって現在形で読まれている。受け身形、series は単数で受けるので is とする。(→ L5 / Part 4 を参照)
・more than ~ 「～以上」「～より多い」の意味を表す。over ~ と同義表現。本表は (～) に現れる数値を超えていることを表すので、本文も厳密には「160か国を超える国々」になる。しかし大まかな数字の意思であれば、日本語の「～以上」を当てはめて構わない。「5人以上」を厳密に表現する場合は five people and [or] more などと表す。反対表現「～以下、～未満」は less than ~。
作品に組み込まれたものになった。
・leave 「～を去る、離れる」
・for the first time 「初めて」 この表現は副詞 first 「初めて」でも表せるが、first は何回か経験したうちの最初の出来事であることを重視する言い方 (ウィズダム)。
Ex. I came to Hokkaido first on honeymoon in 1992, which is now snow for the first time. [私は1992年に新婚旅行で最初に北海道に来たが、そのとき初めて雪を見た。(ウィズダム)]
for the first time in ~ 「(～の期間で初めて) ~ ぶりに」の意味となる。
Ex. At the funeral of our uncle, I saw my brother for the first time in ten years. [おじの葬式のときに、私は10年ぶりでおじに会った。]
10-12. He travels around the world and meets new engine friends in India, China, Australia, and other countries. [彼は世界中を旅して、インド、中国、オーストラリア、そして他の国々で新しい機関車の友達に出会います。]
・India, China, Australia, and other countries は A, B, C, and D 「A, B, C, and D」と列挙する形。
12-16. The show's creators worked to feature more female characters in the show by adding two female engines to the Steam Teams, a group of steam engines including Thomas who are the main characters. [番組のクリエイターたちは、主人公であるトーマスを含む機関車グループ「スチームチーム」に2台の女性機関車を加えることで、番組により多くの女性キャラクターを登場させるようにしました。]
・creator [kri:etə] (音楽) 者、創造 (制作) 者、創設者
動詞 create 「～を制作する」の派生語。or は「～する」を表す接尾辞。名詞 creation 「創造 (物)」、形容詞 creative 「創造的、クリエイティブ」、この context の work は to make efforts to achieve something (OALD) 「努力すること」の意味。
・called ~ 「～と呼ばれている」 過去分詞 (called + 名詞) が an animated television show を修飾している。
・TM の表示は Trade Mark の略で、商標であることを示す登録記号。このようなマークは他にも登録商標 (Registered) を示す記号などがある。
8-10. In the show's 22nd series in 2018, Thomas leaves Sodor for the first time. [2018年の22作目の番組シリーズの中で、トーマスは初めてソドール島を去ります。]
・the show's 22nd series in 2018 「2018年の22作目の番組シリーズ」このシリーズの日本放映は2019年、国連での共同製作が始まり、SDGs を

本文解説 2

7-8. Thomas also appears in an animated television show called Thomas & Friends™. [トーマスは「きかんしゃトーマス」というアニメのテレビ番組にも登場しています。]
・animated 「アニメの」 動詞 animate 「～を動物にする」の分詞形。アクセントは [ænə'meɪtɪd] と第1音節にある。名詞 animation 「アニメーション (制作)」は19音節を参照。anime [əˈnɪmeɪ] は「(日本の) アニメ」のことを表す。
・called ~ 「～と呼ばれている」 過去分詞 (called + 名詞) が an animated television show を修飾している。
・TM の表示は Trade Mark の略で、商標であることを示す登録記号。このようなマークは他にも登録商標 (Registered) を示す記号などがある。
8-10. In the show's 22nd series in 2018, Thomas leaves Sodor for the first time. [2018年の22作目の番組シリーズの中で、トーマスは初めてソドール島を去ります。]
・the show's 22nd series in 2018 「2018年の22作目の番組シリーズ」このシリーズの日本放映は2019年、国連での共同製作が始まり、SDGs を

Lesson 6-15

Grammar 解説

Lesson 6 / Grammar & Exercises (教科書 p.107)

関係代名詞 what の学習は、who, which, that などの関係代名詞が理解できていることを前提としている。この点でつまづいている生徒があれば、G11 を復習するように促す。

Grammar 例文 / 解説 G11 非 CD486
a. what 語が文の主語 (S) である。
What is especially interesting is that painting.
S V C
b. what 語が文の目的語 (O) である。
I bought what she hoped to get as a birthday present.
S V O
c. what 語が文の補語 (C) である。
That is what he asked me to bring.
S V C

Grammar 補充例文 G11
・You are what you eat.
[人の健康は食べ物次第である (人は食べるもので決まる)] (ことわざ)
・I couldn't understand what he was saying.
[彼の言っていたこと (話) が理解できませんでした。]
・What surprised me most was her attitude toward him.
[私を最も驚かせたのは彼女の彼に対する態度だった。]

G11 Exercises 解答
① Show me (what you have in your hand).
② (What I want now is (Now what I want is)) a new smartphone.
③. Please listen to (what I am going to say).
④ (例1) What I want to take to the deserted island is a knife. On the island, knives are needed to cut plants and cook food. I think it's difficult to live on the island without a knife.
(例2) What I want to take to the deserted island is a fish net. On the island, a fish net is necessary to catch fish. Also you can use it to make a hammock. I think it's difficult to live on the island without a fish net.

38-Lesson 6

各 Part で紹介される新出語と Expressions の品詞、訳、英英定義、例文をまとめています。

文中で使われる表現や文法内容、指示語の解明など、一文ごとに分けて、授業準備に使える解説を記しています。

各 Lesson で紹介している新出文法事項の解説です。中学で学習してきた内容に加えて、高校で学習すべき文法内容をまとめています。また、学習すべき各文法の用法解説や例文の解説、文法事項を扱った補充問題など、必要に応じて図式化して示しているものもあります。

Final Task 解説

各 Lesson の終わりにある Final Task の解説部分は、その授業の進め方を4つの「C」やルーブリックを活用しながら詳細に解説しています。

Lesson 6 / Final Task (教科書 p.109)

Final Task 目標
日常生活や周りの環境とSDGsを結び付けて、遠大な目標の達成に向けて、どのようなアクションが必要なのかを考え、グループでアイデアの共有やスキットを通して、話し合いを行うことができます。

Final Task 設計
Lesson 6 の Final Task を進めるにあたり、タスク内容について、ポイントは以下の通り。

Content 教科知識	Communication 言語知識	Cognition 低次思考力	Culture 協同学習
Sustainable Development Goals (SDGs)	SDGs 関連語彙	理解 (L1)	グループ活動 (スキット)
Content 汎用知識	Communication 言語技能	Cognition 高次思考力	Culture 異文化・国際意識
自分の生活の中のSDGsの実践例	聞く・話す・書く	創造 (2、5)	地球規模の問題に対する国際的な取り組み

Content: SDGs について学んだ知識を、実生活で活用する実践例を考える。
Communication: SDGs について学んだ語彙と日常語彙を使って、原稿を書き、スキットを演じて話し、発表を行う。
Cognition: SDGs についての理解をもとに、実践例のスキットを創り出す。
Culture: グループでの協同学習により、地球規模の問題に対する国際的な取り組みについて、自分たちの身の回りの具体例を考える。

授業準備に際して

Lesson 6 の Final Task を指導される前に、Part 1~4 までの内容をおさらいした上で取り組んでいただきたい。各 Part の概要として、
・Part 1: 「きかんしゃトーマス」の概要と世界観について
・Part 2: 17 箇の SDGs の目的について
・Part 3: トーマスの世界で描かれている SDGs について
・Part 4: トーマスの世界を通じて伝えたいこと

Lesson 6 の中で紹介されている SDGs は全 17 箇のうちいくつかであり、すべてを紹介していないことから、教科書 p.96 にまとめている SDGs の説明紹介の内容を参照していただきたい。それぞれの目標の目指す内容はどのようなことか、背景知識としてあらかじめ生徒に調べさせ、理解させておきたい。SDGs の各ゴールは、大問③でも示されているように、後続のタスクでも関わってくる根本となる情報だけに、指導される際の知識として留めていただきたい。

Lesson 6 の本文を通して紹介される目標も、また記載されていない目標も含めて、以下の QR コード先に記載されている Web サイトも授業準備のためにご活用いただきたい。国連のサイトのトーマスの動画もぜひ視聴させておきたい。

「Content (内容)」「Communication (言語)」「Cognition (思考)」「Culture (協学)」の4つの「C」の観点から各タスクのポイントをまとめています。

授業の準備や流れについても詳細に解説しており、指導計画作成の際に参考資料として活用することができます。

評価規準

Final Task の評価方法について、一例として、以下のようなルーブリック式にまとめる。こちらを参考に、適宜学習レベルや学習状況を踏まえて、ルーブリックの内容を調整いただきたい。

・Lesson 6 Final Task ルーブリック (一例)

到達目標	5 優	4	3 可	2	1	評価方法
教科知識	SDGs について豊富な知識を持っている。	SDGs についてある程度の知識を持っている。	SDGs についての知識を少し持っている。	SDGs についての知識がほとんどない。	SDGs について知識がない。	4、5 の内容により評価する。
汎用知識	SDGs を実生活でどのように活用できるかを理解している。	SDGs を実生活でどのように活用できるかを理解している。	SDGs と実生活との関連性を理解している。	SDGs と実生活との関連性について理解が浅い。	SDGs と実生活との関連性について理解がない。	グループのスキット参加により評価する。
言語知識	SDGs 関連の語彙を豊富に習得している。	SDGs 関連の語彙をある程度習得している。	SDGs 関連の語彙を多少習得している。	SDGs 関連の語彙をほとんど習得していない。	SDGs 関連の語彙を全く習得していない。	4 における単語の使用により評価する。
言語技能	SDGs 関連の語彙と日常言語を使って言語活動が十分にできる。	SDGs 関連の語彙をある程度言語活動の中で使用することができる。	SDGs 関連の語彙のいくらかを言語活動の中で使用することができる。	SDGs 関連の語彙をほとんど言語活動の中で使用することができない。	SDGs 関連の語彙を全く言語活動の中で使用することができない。	4、5 の内容により評価する。
低次思考力	1. 理解が十分にできるため、2、3への移行に大きな困難はない。	1. 理解ができていないため、2、3への移行に大きな困難はない。	1. 理解が一定の程度あるため、2、3への移行に大きな困難はない。	1. 理解がほとんどないため、2、3への移行に大きな困難はない。	1. 理解が全くないため、2、3への移行に大きな困難はない。	1、2、3 の理解により評価する。
高次思考力	4. 解について実生活に即した説明のある具体例を示すことができる。	4. 解について実生活に即した説明のある具体例を示すことができる。	4. 解について実生活に即した説明のある具体例を示すことができる。	4. 解のメッセージが不明確で伝わりにくい。	4. 解のメッセージが伝わりにくい。	4、5 の内容で評価する。
協同学習	グループでアイデアを出し合い、分組してスキットを演じることができる。	グループでアイデアを出し合い、分組してスキットを演じることができる。	グループでアイデアを出し合い、分組してスキットを演じることができる。	グループでアイデアを出し合い、分組してスキットを演じることができる。	グループでアイデアを出し合い、分組してスキットを演じることができる。	グループワークの様子を観察し、評価する。
異文化・国際意識	世界の現状に即して地球規模の問題と自分自身との接点を見出すことができる。	世界の現状に即して地球規模の問題と自分自身との接点を見出すことができる。	世界の現状に即して地球規模の問題と自分自身との接点を見出すことができる。	世界の現状に即して地球規模の問題と自分自身との接点を見出すことができる。	世界の現状に即して地球規模の問題と自分自身との接点を見出すことができる。	4、5 の内容で評価する。

48—Lesson 6

ルーブリック形式で生徒の評価方法についてまとめており、それぞれの技能を5つの段階に分けることで、よりの確かな指導をサポートします。

★ご購入に際して★

- Teacher's Manual をご購入されると Teacher's Book (詳細は p.43)、指導書付属 ROM (詳細は p.50) が同封されています。Teacher's Book を追加でご入り用の際は別途ご購入いただくことも可能です。
- Teacher's Manual は PDF ダウンロード版としても販売しております (定価 5,500 円 (税込))。こちらの PDF ダウンロード版には上記の Teacher's Book、指導書付属 ROM は同封していませんので、予め確認をお願いいたします。

Teacher's Book

I : 本体 5,000 円 (税別)、定価 5,500 円 (税込)
II : 本体 5,000 円 (税別)、定価 5,500 円 (税込)

本文の構造や解答が一目で分かる授業必携の 1 冊!

I : B5 判 192 頁
II : B5 判 200 頁

学校用音声 CD のスクリプトや教科書の設問の解答例に留まらず、本文の解析を示したことで、授業でも活用しやすい 1 冊になりました。スラッシュリーディングの際に役立つことはもちろんとして、板書の際にも参考としてご活用いただけます。

LESSON 6 CD-449: Part 1 Oral Introduction Thomas the Tank Engine and SDGs

1 Reading Point CD-450: Reading Point

What are Thomas' stories about?

1 Reading Point 解答例
They are about Thomas' adventures with his fellow locomotives on the Island of Sodor.

Introduction and Retelling

1 **THOMAS** THE TANK ENGINE 55th BIRTHDAY

2 **Words**

engine [endʒɪn]
steam [sti:m]
fellow [feləʊ]
locomotive [ləʊkə'məʊtɪv]
animated [ænim'eɪtɪd]
creator [kri'eɪtə]
feature [fi:tʃə]
female [fi:meɪl]
incorporate [ɪn'kɔ:pə'reɪt]
sustainable [sə'steɪnəbl]
development [dɪ'veləpmənt]
storyline [stɔ:ri:lɪn]
episode [ɪ'pɪsəʊd]

1. Thomas (the Tank Engine) トーマス (蒸気機関車) と、人々を惹くイギリスの地産向けの本に登場する青い機関車。
2. Thomas & Friends™ 「きかんしゃトーマス」(放送の模様およびアニメーションで制作されるイギリスの幼児向けテレビ番組)。

① a blue steam engine
② a British children's book series

① is still read by children
② more than 160 countries

① leaves Sodor, travels, meets
② to feature more female characters

① the United Nations, a US toy maker
② 17 Sustainable Development Goals

Part 1 Oral Introduction
When children watch a TV show, they notice many things. They notice the characters' genders, home countries, and speaking styles. Thomas the Tank Engine now tries to show children many different kinds of characters. It teaches children that equality is very important. Everybody is different, but we should all be treated fairly.

Expressions CD-452: Expressions

1.10 for the first time: Thomas left the Island of Sodor for the first time and visited other countries.

Thomas the Tank Engine is a blue steam engine in a British children's book series. // He first appeared in 1946. // In the stories, Thomas has many adventures with his fellow locomotives on the Island of Sodor. // This series is still read by children in more than 160 countries today.

Q1 What is Thomas the Tank Engine?
Q1: It [is] a blue steam engine in a British children's book series.

Q2 How many countries is this series read by children in today?
Q2: (This series is still) read by children in more than 160 countries.

Q3 In the 2016 season, what does Thomas do for the first time?
Q3: He leaves Sodor.

Q4 What did the United Nations decide to do?
Q4: It decide to work with a US toy maker.

Thomas also appears in an animated television show called Thomas & Friends™. // In the show's 22nd series in 2018, Thomas leaves Sodor for the first time. // He travels around the world and meets new engine friends in India, China, Australia, and other countries. // The show's creators worked to feature more female characters in the show by adding two female engines to the Steam Teams, a group of steam engines including Thomas who are the main characters. // In that year, the United Nations (UN) decided to work with a US toy maker which has Thomas brand and makes its animation. // They incorporate some of its 17 Sustainable Development Goals (SDGs) into the storylines of several episodes from that series.

4 語末が子音で、次の語頭が母音の場合、2つの語はつながって発音します。[ɪn'ænim'eɪtɪd] animated 'is' in 'an' an animated の2分所でつながる。[ɪn'ænim'eɪtɪd] と3箇所1つのまとまりとして発音されます。

5 Thomas also appears in an animated television show called Thomas & Friends™. // In the show's 22nd series in 2018, Thomas leaves Sodor for the first time. // He travels around the world and meets new engine friends in India, China, Australia, and other countries. // The show's creators worked to feature more female characters in the show by adding two female engines to the Steam Teams, a group of steam engines including Thomas who are the main characters. // In that year, the United Nations (UN) decided to work with a US toy maker which has Thomas brand and makes its animation. // They incorporate some of its 17 Sustainable Development Goals (SDGs) into the storylines of several episodes from that series.

- 各設問の解答(例)を収録。
- 音声スクリプトも収録。
- 音声CDの頭出しに必要なトラック番号も掲載。
- Teacher's Book から教科書と同様に QR コード画面へのアクセスも可能。
- 本文中にはスラッシュを入れたり、行間には英文構造を示したり、指示語の内容や重要表現に関する補足説明も入れています。説明すべきポイントがまとまっているため、指導の際に役立つ情報がこの一冊にまとめられています。

Workbook

I: Standard: 本体 650 円(税別) 定価 715 円(税込) Advanced: 本体 750 円(税別) 定価 825 円(税込)
 II: Standard: 本体 680 円(税別) 定価 748 円(税込) Advanced: 本体 780 円(税別) 定価 858 円(税込)

Standard と Advanced のレベル分けで、最適な「学び」を実現!

特色

01

様々な入試に対応する問題形式 × 教科書内容の復習

大学入学共通テストや外部検定試験で出題された問題を分析し、頻出の問題形式と、様々な試験の対策となるような問題形式を取り揃えています。教科書で取り上げている単語や表現、文法、そして内容理解まで、復習も兼ねながら試験に向けた力をつけることができます。

4 Read the following passage and answer the questions below.

Thomas the Tank Engine is a blue steam engine in a children's book series which is still very popular. Thomas also appears in a TV animation. In the series, Thomas travels around the world and meets new engine friends. The show's creators worked to feature more female characters in the show. The United Nations and a toy maker ① incorporated some of 17 Sustainable Development Goals into the storylines of several episodes from that series.


- Q1. Choose the word which is closest in meaning to the word ①. (You may choose more than one option.)
 a. put b. left c. mixed d. studied
- Q2. According to the passage, what did the creators work to do in the show?
 a. To make more friends.
 b. To appear in the animation.
 c. To make Thomas popular.
 d. To feature more female characters.


02


本文と関連するトピックのリスニング問題


大学入学共通テストなどで出題される図や表を使った形式のリスニング問題に、教科書に関連したトピックで取り組むことができます。本文に関連した別の素材に触れさせることで、インプット面にも磨きをかけます。また、リスニング音声は、QRコードを読み取ることで再生できます。

1 Four English sentences [A] - [D] will be read for the following pictures. Choose the most appropriate one to describe the contents of each picture.

(1)  [A] [B] [C] [D]

(2)  [A] [B] [C] [D]

(3)  [A] [B] [C] [D]

(4)  [A] [B] [C] [D]

2 Listen to the dialogues and the questions about them and choose the most appropriate answer.

- (1) [A] Cathy does.
 [B] Justin does.
 [C] Both Cathy and Justin do.

03

QRコードから文法解説ページへ

QRコードを読み取ると、そのLessonで取り上げている文法項目の解説が表示されます。質の高い例文と分かりやすい解説で学習をサポートします。



181. 関係代名詞 what の用法

- 1. What she needs now is your help.
 - 2. Thank you very much. This is what I've always wanted.
 - 3. I still can't believe what happened to him today.
 - 4. I'm very sorry for what I've done.
1. 彼女が今必要としているのは君の助けだよ。
 2. どうもありがとう。これは私が前からほしかったものです。
 3. 今日彼の身に起こったことを、私はまだ信じられません。
 4. 私は自分がしてしまったことをたいへん申し訳なく思っています。

- (1) 関係代名詞 what は先行詞をその中に含んだもので、「先行詞+関係代名詞」で言いかえると the thing(s) that となり、「～すること、～するもの」という意味を表す。
 例文 1. = The thing (that) she needs now is your help.
 例文 2. = This is the thing (that) I've always wanted.
 例文 3. = I still can't believe the thing(s) that happened to him today.
 例文 4. = I'm very sorry for the thing(s) that I've done.
【注意】 the thing(s) that よりも what 1語で表すほうがふつうである。

450 ページ分の
文法解説書全データが
無料で閲覧可能!

Standard

I: B5判 本冊 72 頁, 解答 64 頁
 II: B5判 本冊 72 頁, 解答 52 頁

LESSON 6 Thomas the Tank Engine and SDGs PART 1 教科書 pp. 98-99

1 W 英文に合う最も適切な語を、それぞれ a. ~ d. の中から 1 つ選びなさい。

(1) Thomas the Tank Engine first () in 1946.
 a. appeared b. decided c. called d. made

(2) The show () a popular idol group.
 a. appeared b. featured c. read d. traveled

(3) Susan became the first () student in her school to receive the prize.
 a. children b. cultural c. female d. different

(4) There have been amazing computer () during the last ten years.
 a. adventure b. animations c. value d. developments

2 E 英文に合う最も適切な語を、それぞれ a. ~ d. の中から 1 つ選びなさい。

(1) The character appeared in a British children's book in 1946 () the first time.
 a. as b. at c. for d. in

(2) I added milk () my shopping list.
 a. to b. at c. from d. with

3 E 下線部に注意し、書き出しの日本語に沿って訳しなさい。

(1) The café serves a good lunch including a coffee and a dessert.
 そのカフェは _____。

(2) Before going to bed, I always listen to music sung by my favorite singer.
 寝る前に私はいつも _____。

4 E p. 99 の本文を読み、本文に合っているものは○、合っていないものには×を入れなさい。

(1) The Thomas the Tank Engine series is read by children in about 60 countries. ()
 (2) Thomas appears in an animated television show called *Thomas & Friends*™. ()
 (3) The creators of the Thomas series worked to feature more cute characters. ()
 (4) The UN and a US toy maker incorporate some of the SDGs into the storylines of several episodes from the Thomas series. ()

38 Lesson 6

各 Part では次のような問題を扱っています。基本的には各 Lesson の内容に沿った問題で構成されています。

- Words, Expressions
空所補充問題, 4 択問題, 類義語問題
- Grammar
適語(句) 選択問題, 日本語和訳問題, 並べ替え問題
- Comprehension
True or False 問題, 内容一致問題

- Reading Focus
語彙や表現を問う空所補充, 文法を問う並べ替え, そして内容理解では、段落の主旨の読み取りや要約文の空所補充, 事実・意見を問う問題など、総合的な内容で構成されています。

- Listening Focus
イラストと音声の内容合致, 表・グラフ・地図を扱った問題など、共通テストや外部試験に向けて力をつけていく内容で構成されています。

Reading Focus 20 min

1 次の英文を読んで、後の問いに答えなさい。

The world today is ① (it / different / how / quite / from / was) when Thomas the Tank Engine was first created. People's values have greatly ② (change). There are also new problems that people face today. The SDGs in *Thomas & Friends*™ are an important ③ () to these changes.

④ It is very early in their lives that children form ideas about the world around them. The messages in the SDG episodes are easy ⑤ (understand), and ⑥ they give life lessons. For example, the episodes can help children learn about the importance of ⑦ (). The stories are about engines of both genders who work together. The engines feel a ⑧ () to take care of the environment and are excited about ⑨ (receive) a good education. They can help children learn important values at an early age.

(1) 英文の流れに合うように、①の()内の語を並べかえなさい。
 The world today is _____.

(2) ②, ⑤, ⑥の()内の語を、それぞれ適切な形に直しなさい。
 ②() ⑤() ⑥()

(3) ③, ⑦, ⑧の()に入る語を、以下からそれぞれ書きなさい。
 ③() ⑦() ⑧()
 [diversity / heritage / problem / response / responsibility]

(4) 下線部④を、書き出しの日本語に沿って訳しなさい。
 子どもたちが自分の周りの _____。



(5) 下線部⑥が指すものを、以下の4つの中から1つ選びなさい。 ()
 a. the ideas children form b. the messages in the SDG episodes
 c. people's values d. *Thomas and Friends*™



(6) 上の英文に書かれている「事実」を1つ選びなさい。 ()
 ア 今日の人々の価値観は、機関車トーマスが生まれ出された当初と少しも変わっていない。
 イ 機関車たちも子どもたちも、良い教育を受けることにわくわくしている。
 ウ 子どもはごく幼いころに、身の回りの世界についての考えを形成する。
 エ 機関車トーマスのエピソードは、幼い子どもに大切な価値観を教えるのに役立つ。

42 Lesson 6

Listening Focus

1 次のイラストについて、[A] ~ [C]の3つの英文が読まれます。イラストの内容を表す英文として最も適切なものを選びなさい。英文は1回しか読まれません。

(1)  [A] [B] [C]  [A] [B] [C]

(2)  [A] [B] [C]  [A] [B] [C]

2 対話とその内容に関する質問を聞き、答えとして最も適切なものを選びなさい。対話は2回読まれます。

(1) [A] The episodes are made for adults only.
 [B] Children cannot enjoy the episodes.
 [C] Even a high school student can enjoy the episodes.

(2) [A] Bill did.
 [B] Bill's brother did.
 [C] Bill's father did.

(3) [A] Goal 4.
 [B] Goal 6.
 [C] Goal 15.

3 次に読まれる英文は Lesson 6 Part 3 の要約の一部です。音声聞いて、以下の問いの答えとして最も適切なものを選びなさい。

Q: Which SDG was not brought into these episodes? ()

42 Lesson 6

Virtual Water

- 1 Put the appropriate word below into each blank.
(1) The computer can let you see the works in the art gallery. It's called a () tour of the art gallery.
(2) Salaries of ancient Roman soldiers were paid in salt because it was () for human life.
(3) That kind of light is () without special glasses.
(4) From the airport, the business person went () to his office.
[essential / directly / invisible / virtual]

- 2 Put the appropriate word into each blank.
(1) 彼らは誰が最初に話すかを決める際にコイン投げをする。
They toss a coin () () who will be the first speaker.
(2) 彼女は平均して家で1日2時間勉強する。
She studies for two hours a day at home () () .
(3) その映画を作るのには多額の金を要した。
A large () () () was needed to make that movie.

- 3 Put the words in brackets into the correct order.
(1) 私たちが生きるために飲む1日の水の量を知っていますか。
Do you know (we / stay / a day / to / drink / water / how much) alive?
Do you know _____ alive?
(2) 1900年代初期に見られたそれらの用語は、もはや使われていない。
Those terms (early / no longer / the / 1900s / found / are / in) used.
Those terms _____ used.

4 Read the following passage and answer the questions below.
We cannot live without water. People need to drink 2 or 3 liters of water every day to live. People use water for their daily activities too, such as cooking, bathing, and washing clothes. (㉑), we use water needed in growing crops and raising farm animals. This is called "virtual water" because we cannot see it.

- Q1. Choose the appropriate word(s) for the blank ㉑.
a. If b. Also c. However d. For example
Q2. According to the passage above, why is the water used in producing food called "virtual water"?
a. Because it is like a magic. b. Because it can produce virtual reality.
c. Because it's invisible to us. d. Because it is for our daily activities.

各Partでは次のような問題を扱っています。Standardに比べて、問題の種類なども異なり、難易度も上がっております。

- Words, Expressions
空所補充問題, 英英定義問題, 誤文訂正問題
Grammar
適語(句)選択問題, 並べ替え問題
Comprehension
言い換え問題(句, 単語), 接続詞・副詞選択問題, 要約文の内容一致問題, 適語選択問題

- Reading Focus
本文中で扱われているディスコースマーカーの補充問題や、表現や語法と同義選択問題、並べ替え問題、内容理解では大学入学共通テスト頻出の事実・意見を問う問題など、実践力を高めるための総合問題となっております。

- Listening Focus
イラストと音声の内容合致、表・グラフ・地図を扱った問題など、Standardと同様の問題内容ですが、与えられている選択肢が多く、また音声もStandardよりも長いスクリプトとなっております。

Reading Focus

1 Read the following passage and answer the questions below.
(a) As Map 1 shows, Japan imports a large amount of water from other countries, mainly in food products. Why does Japan receive so much from other countries? It is because there has been a recent decrease (㉑) Japan's food self-sufficiency (see Figure 1). It is now far lower than (㉒) 60 years ago.
Changes in eating habits are partly to blame (㉓) this. Japanese people eat less than half as much rice as they did 60 years ago. Instead, they eat more bread and noodles. They are made (㉔) wheat. And wheat is mostly imported from other countries. Greater consumption of wheat products means a decrease (㉕) food self-sufficiency.
(㉖) addition, Japanese people are consuming more imported meat and dairy products. Much water is needed to produce milk and other dairy products. Even more water is used to produce meat. It (㉗) time and water / to / takes / a lot of / is / livestock / raise, such as cows and pigs. Also, much water is needed to grow their food.

- (1) Put the appropriate words into blanks ㉑~㉗.
㉑ () ㉒ () ㉓ () ㉔ () ㉕ () ㉖ () ㉗ ()
(2) Choose one of the following phrases that has the same meaning as (a).
a. You should do some exercise as your doctor advised.
b. As it gets colder, my knees hurt.
c. As it is Sunday today, I don't have to go to school.
d. As the teacher entered the room, the students all stood up.
(3) What does the word (b) refer to? ()
(4) Put the words in (c) into the correct order. In the words, there is one word that you don't use.
It _____, such as cows and pigs.
(5) How have the eating habits of Japanese people changed over the past 60 years?
a. They drink more water.
b. They eat more bread and noodles than rice.
c. They eat more rice.
(6) According to the passage above, one fact about Japanese food self-sufficiency is that ().
a. changes in eating habits are partly to blame for a recent decrease in food self-sufficiency
b. greater consumption of wheat products means a decrease in food self-sufficiency
c. there has been a recent decrease in Japan's food self-sufficiency
d. a lot of water is needed to increase food self-sufficiency

Listening Focus

1 Listen to the explanation and choose the correct place for Japan.

Table with 3 columns: Country, Water consumption (liters per person / day), Source of Water (Domestic Water, Imported Water). Rows include Japan, Germany, Italy, Canada, and an unlabeled row.

2 Listen to the explanation and choose one that matches the order in the explanation.

Visual aids for listening questions including a person reading, a globe, and a diagram of water flow.

3 Listen to the dialogue and choose the most appropriate response to the last sentence.

- ア Yes, there's plenty of water in this country.
イ Oh, so when we waste food, we are also wasting water.
ウ Right. We should reduce the amount of food we produce.
エ I see. We must stop eating so much food.

関連入試問題

1 次の英文を読んで、問いに答えなさい。(神奈川県)
The German city of Hamburg has announced plans to become car-free within the next two decades. It is an ambitious idea, but city officials obviously feel that using a personal car is not better than walking, biking, or taking public transportation.
The goal of Hamburg's project is to (1) replace roads with a "green network" of connected open areas covering 40 percent of the city. According to the official website, parks, playgrounds, sports fields, gardens, and burial grounds will be connected to form a network, which will allow people to travel through the city without the use of cars.
Lowering the number of cars in urban areas is becoming a common trend in many European cities. London imposes a "congestion" charge* on private vehicles entering the city center during peak hours. Copenhagen* is building bicycle superhighways* (2) spreading out from the city center.
Global vehicle numbers have increased to well over a billion. But according to recent research, the growth burst may have peaked. A researcher in the United States has just published a series of reports looking at car use and its environmental impact. His calculations show that car use in the US might have reached a peak in 2008, and that the figures have been (3) declining since. That is true even when the global economic drop and its negative impact on car sales are taken into account.
He guesses that a number of factors could be contributing to the trend. They include increased telecommuting* and the movement of people back to city centers. In China, large cities are looking at plans to limit the number of new vehicles being registered to (4) restrict growth. It is a movement more cities are looking toward, particularly in the US.
Another way to examine the issue is to look at the number of households without a car. In the US, the percentage of households going without cars is increasing. For example, in Washington, D. C. *, more than 30 percent of households do not have a car. In New York, the figure is 56 percent. Perhaps this number is not so surprising in cities like New York, which have comprehensive public transportation networks, and where the costs of parking can go far beyond the cost of the purchase of a subway ticket. But that is not the (5) full story. In San Jose, for example, the tenth-largest city in the US, only 5.8 percent of households do not have a car.
(注) *congestion 渋滞 *Copenhagen コペンハーゲン (デンマークの首都) *superhighways 高速道路
*telecommuting 在宅勤務 *Washington, D.C. ワシントン (米国の首都)
(Can a city really ban cars from its streets? より)

多くの女性キャラクターを出演させようとした。国連と兵士会社は、17のSDGのうちのいくつかをそのシリーズの物語の筋に組み入れた。
【設問】Q1「次のうち、下線部①のincorporatedにもっとも近い語を並び替えよう」incorporate A into Bは「AをBの中に組みこむ」の意味。put A into Bで「AをBの中に入れる」、mix A into B「AをBに混ぜ込む」の用法がある。
Q2「上の文章によると、番組クリエイターたちは番組の中で何をしようとしたか?」a. 「もっと友達を作ろうとした」b. 「アニメ番組の中に登場しようとした」c. 「トーマスをもっと人気者にしようとした」d. 「もっと多くの女性キャラクターを出演させようとした」上の文章の3~4行目に「The show's creators worked to feature more female characters in the show.」「番組のクリエイターたちは番組にもっと多くの女性キャラクターを出演させようとした」とあり、dと一致する。
【設問】Q1 c Q2 d
【設問】Q2 17のSDGsが、誰にとってもより良く持続可能な未来を実現する助けになるように、国連総会で採択された。その目的には教育、男女平等、気候変動を減らすことが含まれている。国連と兵士会社はSDGsに大きな価値を見出したので、「かかんしトーマス」の物語の筋に込められた17のうちから6つのSDGsを選んだ。6つの目標は教育、ジェンダー、安全な水、清潔なエネルギー、責任ある消費、そして動物保護についてである。
Q1「下線①の語(recycling)に最も関連のあるSDGを選びなさい」a. 「環境変動に具体的な対策を」b. 「物の費かまも守ろう」c. 「多くの責任、使った責任」d. 「廃棄物にrecyclingとは責任をもって作ったものを責任をもって使い切ることに関係するので、cが正解。
Q2「上の文章によると、なぜ国連と兵士会社は17のSDGsを選んだのか?」a. 「国連が17のSDGsを採択したから」b. 「かかんしトーマス」にはすべてのSDGが含まれているから」c. 「話の筋に6つの目標が織り込まれているから」d. 「彼らはそれらの目標に大きな価値を見出したから」上の文章の3~4行目に「The UN and a toy company found great value in the SDGs, so they chose six goals from the 17」

- 問1 本文の内容を考え、下線部①~⑤の意味に最も近いものをa-dから1つずつ選びなさい。
(1) replace
a. move b. decorate c. substitute d. plant
(2) spreading out
a. extending b. rushing c. smoothing d. circling
(3) declining
a. decaying b. decreasing c. delaying d. demanding
(4) restrict
a. attain b. control c. sustain d. force
(5) full
a. crowded b. rich c. available d. whole
問2 本文の内容を考え、次の1~5の正しい答えになるものをa-dから1つずつ選びなさい。
1. Why will "a green network" make Hamburg car-free?
a. People will be able to drive cars more easily.
b. It will help reduce air pollution and improve people's health.
c. People will be able to travel through the city by walking or biking.
d. It will make the city greener and more environmentally friendly.
2. Which city charges drivers to enter at certain times of the day?
a. London b. Hamburg c. Copenhagen d. New York
3. Which of the following is mentioned as contributing to the reduction of car use?
a. The introduction of registration fees for new vehicles.
b. Population growth in city centers.
c. Economic globalization.
d. The invention of faster trains.
4. According to the article, what is one reason fewer people are using cars in New York?
a. The price of cars can be much higher in New York than in other cities.
b. Driving a car can be very dangerous in New York.
c. There are many more parks and sports fields in New York than in other cities.
d. Using public transportation can be much cheaper than parking a car in New York.
5. In which of the following cities is the percentage of households with a car highest?
a. In both New York and San Jose. b. In Washington, D.C.
c. In San Jose. d. In both New York and Washington, D.C.

Advancedでは、各Lessonのトピックに関連した大学入試問題を収録しております。入試を意識した発展的な学習に取り組むことができます。こちらは指導書付属ROMの「ワークブック文字データ」(→p.72)でもテキストデータが収録されております。使用用途に合わせてご活用いただくことが可能です。

別冊の解答編では、各設問の解説を1つずつ入れており、解答を確認していく際、生徒自ら誤りへの気づきを促すための工夫を凝らしています。解説をより多く入れていただきたいというご要望を受け、Standard, Advancedともに充実した別冊解答となっております。

Table with 4 columns: EC1 Standard, EC2 Standard, EC1 Advanced, EC2 Advanced. Rows include: 総ページ数, 難易度, 目標, 指示文, QRコード.

予習 & 授業ノート

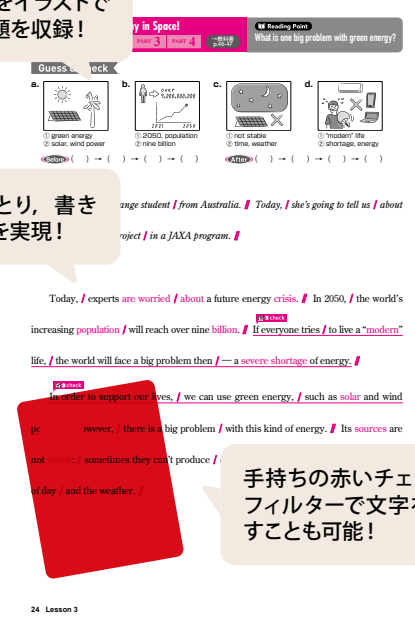
I : 本体 720 円 (税別), 定価 792 円 (税込)
II : 本体 780 円 (税別), 定価 858 円 (税込)

授業の学習効果を高める, 必携のノート!

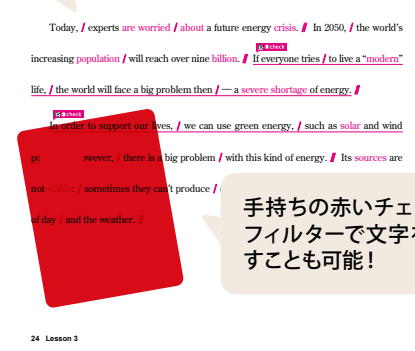
「予習」のためのノートとしてだけでなく, より授業中に使いやすい紙面を実現したことで, 授業内で知り得たことや考えたことを思いっきり書き込むことができるようになりました。

I : B5判 本冊 120 頁, 解答 24 頁
II : B5判 本冊 160 頁, 解答 24 頁

本文の流れをイラストで確認する問題を収録!

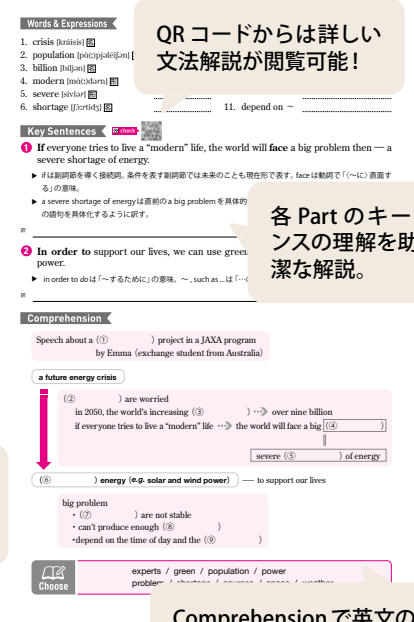


行間を広くとり, 書き込みやすさを実現!



手持ちの赤いチェックフィルターで文字を消すことも可能!

QRコードからは詳しい文法解説が閲覧可能!

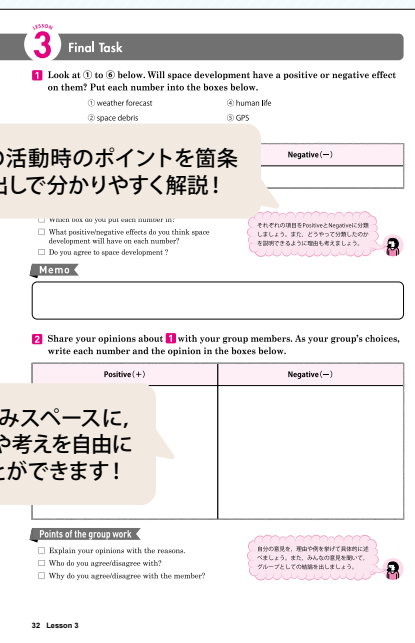


各 Part のキーセンテンスの理解を助ける簡潔な解説。

Comprehension で英文の全体を把握しながら, 英文の流れを理解できるので, 外部試験などの対策にもピッタリです。

Writing もガイド付きで, 手順に沿ってやればできる仕組みなので安心。

Final Task の活動時のポイントを箇条書きや吹き出しで分かりやすく解説!



広い書き込みスペースに, 自分の意見や考えを自由に書き込むことができます!

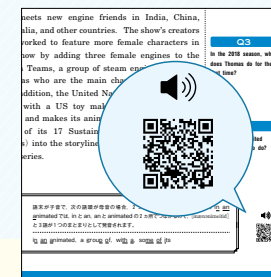
教科書関連音声教材

※金額, 枚数等の詳細は以下参照。

QRコードコンテンツ

いつでもどこでも教科書の音声聞ける!

教科書内の QR コードから音声を聞くことが可能。Words, 本文普通読み, 本文フレーズ読み, SOUND TIPS, Rapid Reading の音声を再生できます。



QRコードコンテンツ活用のポイント

フラッシュカードで語彙力強化

単語はフラッシュカード仕様, 日/英表示の切替なども可能。



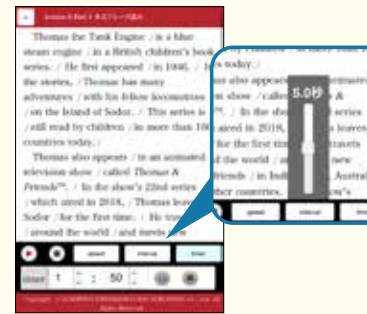
倍速再生でリスニング力強化

普通読みはスピード調整が可能。(0.5 - 1.5 倍)
本文の表示・非表示が切替可能。



シャドーイングでスピーキング練習

フレーズ読みは間隔調整が可能。(0 秒 - 10 秒)



学校用・生徒用音声 CD

リスニング対策に, 豊富な音声を収録!

指導が難しいリスニングも, 学校用音声 CD を活用することによって, 効率よく学習を進めることができます。

	本体 (税別)	本体 (税込)
I : 学校用音声 CD (7 枚組)	20,000 円	22,000 円
生徒用音声 CD (3 枚組)	1,500 円	1,650 円
II : 学校用音声 CD (7 枚組)	22,000 円	24,200 円
生徒用音声 CD (3 枚組)	1,500 円	1,650 円

学校用音声 CD 収録内容

- ① Lesson 導入の Listening
 - ② Lesson 冒頭の Questions
 - ③ Reading Point
 - ④ Words
 - ⑤ Expressions
 - ⑥ 本文 (普通読み)
 - ⑦ 本文 (フレーズ読み)
 - ⑧ 本文 (ハイスピード読み)
 - ⑨ SOUND TIPS
 - ⑩ Comprehension Questions
 - ⑪ Comprehension 2
 - ⑫ Grammar 例文
 - ⑬ Rapid Reading の TRUE OR FALSE
- ※ハイスピード読みは, 普通読みの 1.2 倍の速さになっています。

生徒用音声 CD 収録内容

- ① Words
- ② 本文 (普通読み)
- ③ 本文 (フレーズ読み)
- ④ SOUND TIPS

データ ROM 紹介

指導書付属 ROM



充実したデータが
授業をしっかりサポート。

テスト作成

■ テストクリエイター

教科書の単語・熟語、文法テストを自動で作成して、Word もしくはワードパッドに出力することができます。

テスト

■ 単語・連語小テスト

各レッスンの単語や連語の小テスト。

■ 観点別評価テスト

3つの観点（知識・技能、思考力・判断力・表現力、主体的に学習に取り組む態度）の評価を行うためのテスト。各採点を集計する Excel ファイルも収録。

■ 関連入試問題

本文のテーマに関連した大学入試問題。

シート

■ Concept Mapping

本文内容を図式化し、時系列や関連性等、本文の流れを構造的に理解するためのシート。英語版・日本語版がございます。

■ ディクテーションシート

本文を穴埋め形式にしたディクテーションシート。

■ ワークシート（補充問題集）

教師用指導書に掲載されている、本文に関する補充問題。

■ 確認テスト

標準 (A)・発展 (B) の2種類に分類されたテスト問題。



■ ワークシート（リテリング用）

リテリングの際に、ペアで内容を理解できているかを確認するためのシート。



授業サポート

■ フレーズリーディング用本文・訳例

本文、訳例ともにスラッシュ (/) で区切ったデータ。

■ フレーズリーディング用本文・訳例（縦並び）

フレーズリーディング用本文と訳例を縦に並べたデータ。Excel 版も収録。

■ 題材背景資料集

本文内容に関連した背景知識をまとめた資料データ。



■ パート別 Summary データ

各 Part を要約した文字データと音声データを収録。

■ 教科書リライト英文

教科書本文の内容を少し易しくリライトしたテキストデータ。定期考査や復習プリントの英文素材などにご利用いただけます。

その他サポート

■ 本文・訳例

教科書本文と訳例、設問のテキストデータ。

■ 単語・連語リスト

単語・連語データ（発音記号、訳、英英定義付）。

■ リスニングスクリプト

教科書本文以外で音読されているスクリプト。

■ 本文解析

本文の文構造や、話の展開をわかりやすく示したデータ（pdf データにて収録）。

■ 解答一覧

教科書の設問に対する解答一覧データ。

■ Can-do リスト

英文やその他の素材で「何ができるようになるか」を記したリスト。

■ 教科書原典文字データ

教科書の原典データを Word に収録。

■ 教科書画像データ

教科書内の写真やイラストの画像データ。

■ 教科書関連 URL 資料

教科書に沿った動画での資料を閲覧するためのリンク集。

■ True or False 音声データ

指導書に掲載している True or False の音声データとその文字データを収録。

■ ショートリーディング用データ

多読を目的とした、本文と関連した話題の短い英文。内容理解問題も収録。

■ 指導用 PowerPoint

Final Task / オーラルイントロダクション&リテリング / フラッシュカード / Expressions / 一文 / フレーズ / 全文 / 設問・解答の種類に分けて収録。

■ Google Slides

指導用 PowerPoint と同様の収録内容になります。

■ 授業計画案 / 観点別評価規準案

教科書の年間計画と各 Lesson の指導計画案、観点別評価規準案。

■ Google Forms

教科書内容に準拠した Google Forms を収録。

■ 予習&授業ノート文字データ

本文内容をテキストデータで収録。

■ ワークブック文字データ (Advanced, Standard)

本文内容をテキストデータで収録。

■ ワークブック音声データ (Advanced, Standard)

ワークブックのリスニング音声を mp3 ファイル形式で収録。

■ 教科書紙面 PDF

教科書紙面をそのまま閲覧できる pdf データ。

■ 生徒用音声 CD データ

生徒用音声 CD のデータを mp3 ファイル形式で収録。

■ 文法書データ

各英文法の詳しい解説書の pdf データ。

確認テスト

確認テスト (A)
標準

Lesson 6 Thomas the Tank Engine and SDGs

Class : _____ Number : _____ Name : _____ / 100

1. 次の意味を表す語を下から選び、記号で答えなさい。 【2点×4=8点】

- (1) 製造, 生産 () (2) 昆虫 ()
(3) 責任 () (4) 気候 ()

[ア climate イ insect ウ production エ responsibility]

2. 次の英文の()内に入る語として正しい方を○で囲みなさい。 【3点×4=12点】

- (1) English is studied all (over / in) the world.
(2) My idea is different (from / with) yours.
(3) He will go with you instead (about / of) me.
(4) You must (make / take) good care of your dog.

確認テストには、標準(A)と発展(B)の2種類がございます。(A)の1ページ目では、標準レベルの語彙・表現・文法事項に関する問題に取り組みます。

3. 次の日本語に合うように、()に適切な語を入れなさい。

- (1) あなたが食べるものは、あなたの健康に重要です。

確認テスト (B)
発展

Lesson 6 Thomas the Tank Engine and SDGs

Class : _____ Number : _____ Name : _____ / 100

1. 次の意味を表す英単語を、()内の文字で始めて書きなさい。 【2点×4=8点】

- (1) 女性の (f) _____ (2) 平等 (e) _____
(3) 責任を伴う (r) _____ (4) ~を採択する (a) _____

2. 下線部が [] 内の意味になるよう、()に適切な語を入れなさい。 【3点×3=9点】

- (1) I met him yesterday () the first time. [初めて]
(2) The drama was a big hit all () the world. [世界中で]
(3) I decided to go there by bike () of by train. [~ではなく]

3. 次の日本語に合うように、()内の語を並べ替えなさい。

- (1) あなたに本当に必要なことは、十分に休養をとる (is / need / you / what / taking / really) a good r

(B)の1ページ目では、発展レベルの語彙・表現・文法事項に関する問題に取り組みます。

単語・連語小テスト

Lesson 6 Thomas the Tank Engine and SDGs Part 1(pp.98-99) 小テスト

Class : _____ Number : _____ Name : _____ Score : _____ /50

1. 教科書本文中の意味に即して、次の英語は日本語に、日本語は英語に直しなさい。 (2点×10=20点)

- (1) エンジン (2) steam
(3) アニメの (4) locomotive
(5) 創案者 (6) incorporate
(7) 開発 (8) sustainable
(9) 筋・プロット (10) include

2. 次の語を()内の指示にしたがって書きかえなさい。 (2点×4=8点)

- (1) female (反意語に) (2) appear (反意語に)
(3) read (過去形に) (4) many (比較級に)

3. 次の空所に当てはまるもっとも適切な語(句)を選択肢から選び、記号で答えなさい。 (3点×2=6点)

(1) あなたと同じ仕事をしている人は、「仕事仲間」と呼ばれる。
The person who has the same job as you is often called a () worker.

ア friend イ fall ウ follow エ fellow

(2) コマーシャルで有名な俳優を出演させるためには、多額を払わなければならない。

We have to spend a lot of money to () a famous actor in the commercial.

ア hire イ feather ウ feature エ future

4. 次の日本語に合うように適切な語を入れ、英文を完成させなさい。ただし最初の1文字が与えられているものはそれに従うこと。 (4点×4=16点)

(1) 私が彼に初めて会った時、私はカフェテリアにいました。

When I met him ...f...t...f...t..., I was in a cafeteria.

(2) 一緒に働くことで、お互いのことを知ることができるでしょう。

We can get to know with each other ...b...w... together.

(3) 彼はボウルに、卵を3つ加えた。

He ...a... three eggs ...

(4) TVクリエイターたちは一般人

TV creators ...i...

単語・連語の小テストを Part ごとにご用意しています。問題形式は英日和訳、英英定義選択、発音問題、空所補充など様々なパターンがあります。

観点別評価テスト

3. 次の英文を読んで、後の設問に答えなさい。

【各 10点×5=50点】

<1> Thomas the Tank Engine is a blue steam engine in a British children's book series. In the stories, Thomas has many adventures with his fellow locomotives. (①) It also appears in an animated television show. (②) In 2018, Thomas traveled to different countries and met new friends in India, China, Australia, and many other countries. (③) They incorporated some of the SDGs into the storylines. (④)

大問ごとに観点を設定しています。

Q1. Where do you put the following sentence in the passage? Choose the appropriate part from ①~④.

In that year, the UN decided to work with a US

Q2. According to the passage above, what did Thomas

- a. He made a British children's book series.
- b. He appeared in a television show for the first time.
- c. He met new friends in other countries.
- d. He made storylines for different television shows.

各 Lesson で学習される語彙や表現、文法などを扱う問題や、要約英文をもとにした内容理解問題など、「知識・技能」、「思考力・判断力・表現力」を測ります。各観点の点数を集計する Excel ファイルもございます。

○授業後：リテリング（要約）活動を終えて、以下の振り返りシートを記入しましょう。

語彙表現	新出単語・重要表現の意味を理解し、リテリングの際に活用することができる。
A	新出単語・重要表現の意味を理解し、リテリングの際に活用できた
B	本文中の新出単語・重要表現の意味を理解することができた
C	本文中の新出単語・重要表現の意味を全て理解することは難しかった

発音	音の弱化的仕組みを理解し、音読やリテリングの際に意識して発音することができる。
A	音の弱化的仕組みを理解し、リテリングの際に実践することができた
B	音の弱化的仕組みを理解し、本文中でそれが起きている箇所を把握できた
C	音の弱化的仕組みを理解することが難しかった

文法	関係代名詞の that と which の用法を理解し、リテリングの際に活用することができる。
A	関係代名詞の用法を理解し、リテリングの際に活用できた
B	関係代名詞の用法を理解し、英文を見れば意味が読めた
C	関係代名詞の用法の理解が難しく、本文中でも意味が読めなかった

技能	聞く：本文を聞いて正確にディクテーションできる 読む：本文を読んで、大意を理解できる。 話す（発）：本文の内容を自分の言葉でリテリングできる
A	「聞く」「読む」「話す（発）」のすべての目標を達成した
B	「聞く」「読む」「話す（発）」から1つまたは2つを達成した
C	「聞く」「読む」「話す（発）」の目標を達成できなかった

「主体的に学習に取り組む態度」については、学習のプロセスをこのワークシートに記録させることで、生徒自身の意識や、目標に向けての改善などを踏まえて評価につなげられるようにします。

Concept Mapping

FLEX ENGLISH COMMUNICATION I

Lesson 6 Thomas the Tank Engine and SDGs

<Part 1>

Thomas — blue steam (①) in a British children's book series

- first (②) in 1946
- about many (③) with his fellow locomotives on the Island of Sodor
- (④) by children in more than 160 countries

Thomas & Friends™ — an (⑤) television show

- 2018 : (⑥) Sodor → travels around the world → meets new engine friends
- show's creators → featured two (⑦) characters

United Nations

- decided to work with a US (⑧)
- ↓
- incorporate some of the SDGs into the (⑨) of Thomas & Friends™ episodes
- ↳ (=Sustainable (⑩) Goals)

Choose	adventures / animated / appeared / Development / engine female / leaves / read / storylines / toy maker
--------	--

FLEX ENGLISH COMMUNICATION I

Lesson 6 Thomas the Tank Engine and SDGs

<Part 1>

トーマス — イギリスの児童書のシリーズに出てくる青い蒸気 (①)

- 1946年に初めて (②)
- 仲間の機関車たちとソドー島でたくさんの (③) をする
- シリーズは 160 か国以上の子どもたちに (④)

『きかんしゃトーマス』 — (⑤) テレビ番組

- 第 22 作目 (2018 年) :
→ ソドー島を (⑥) → 世界中を旅する → 新しい (①) の友達に会う
- 番組のクリエイターたち → 2 台の (⑦) 機関車を登場させた

国際連合

- アメリカの (⑧) と協力
= トーマスのブランドを保有、アニメを制作
- ↓
- 『きかんしゃトーマス』の話の (⑨) に SDGs のいくつかを組み入れた
- ↳ = 持続可能な (⑩) 目標

各 Part の本文の内容を立体的に整理することができる書き込み式のワークシートを収録しました。

ディクテーションシート

FLEX ENGLISH COMMUNICATION I

Lesson 6 Thomas the Tank Engine and SDGs

Class: _____ Number: _____ Name: _____

○ 音声を聴いて空所に英語を書き取りましょう。

p. 99 Part 1

Thomas the Tank Engine is a (1. _____) in a British children's book series. He first appeared in 1946. In the stories, Thomas has many adventures with his (2. _____) on the Island of Sodor. This series is still read by children in more than 160 countries today.

Thomas also appears in an (3. _____) called *Thomas & Friends*TM. In the show's 22nd series in 2018, Thomas leaves Sodor for the first time. He travels around the world and meets new engine friends in India, China, Australia, and other countries. The show's creators worked to feature more (4. _____) in the show by adding two female engines to the Steam Teams, a group of steam engines including Thomas who are the main characters.

In that year, the United Nations (UN) decided to work with a US toy maker which has Thomas' brand and makes its animation. They (5. _____) some of its 17 Sustainable Development Goals (SDGs) into the storylines of (6. _____) from that series.

教科書本文の音声を聞き取って、空所に当てはまる英語を書き入れるワークシートです。

ワークシート (リテリング用)

FLEX ENGLISH COMMUNICATION I

Lesson 6 リテリング用ワークシート (スピーチの構想作り→ペアワーク→発表)

Part 1



- ① a blue steam engine
- ② a British children's book series



- ① is still read by children
- ② more than 160 countries



- ① leaves Sodor, travels, meets
- ② to feature more female characters



- ① the United Nations, a US toy maker
- ② 17 Sustainable Development Goals

●メモ

●原稿

教科書の写真とキーワードを参照しながら、本文の内容を自分の言葉でリテリングします。

ワークシート（補充問題集）

補充問題集

Lesson 6 Thomas the Tank Engine and SDGs

Class: _____ Number: _____ Name: _____

<Part 1>

●Comprehension Questions — 補充問題

① When did Thomas first appeared?

② What did Thomas do after he left Sodor for the first time?

③ What did the United Nations incorporate into the storylines of several episodes from Thomas' series?

<Part 2>

●Comprehension Questions — 補充問題

① What did the UN General Assembly adopt in 2015?

② Who is working now to achieve the 17 goals?

③ Why did the UN and the toy company choose the six of the 17 SDGs?

<Part 3>

●Comprehension Questions — 補充問題

① Why did Thomas say that more people should use public transportation instead of private cars?

指導書に掲載されている補充問題のためのワークシートです。教科書の設問に加えて、もう少し読解の問題に取り組ませたい時に活用できます。

フレーズリーディング用本文・訳例

Lesson 6

意味のまとまりごとにスラッシュを入れた、フレーズリーディングに取り組む際に活用できる本文のテキストデータです。

p. 99 Part 1

Thomas the Tank Engine / is a blue steam engine / in a British children's book series. // He first appeared / in 1946. // In the stories, / Thomas has many adventures / with his fellow locomotives / on the island of Sodor. // This series is still read / by children / in more than 160 countries today. //

Thomas also appears / in an animated television show / called *Thomas & Friends*TM. // In the show's 22nd series / in 2018, / Thomas leaves Sodor / for the first time. // He travels / around the world / and meets new engine friends / in India, China, Australia, / and other countries. // The show's creators worked / to feature more female characters / in the show / by adding two female engines / to the Steam Teams, / a group of steam engines / including Thomas / who are the main characters. //

In that year, / the United Nations (UN) decided to work / with a US toy maker / which has Thomas' brand / and makes its animation. // They incorporate / some of its 17 Sustainable Development Goals (SDGs) / into the storylines of several episodes / from that series. //

<訳例>

きかんしゃトーマスは / 青い蒸気機関車です / イギリスの子ども向けのシリーズ本に出てくる / トーマスは初めて登場しました / 1946年に / 物語の中で / トーマスはたくさんの冒険をします / 仲間の機関車たちと / ソドー島で / このシリーズはなお読まれています / 子どもたちに / 今日160か国以上の /

トーマスは登場してもいます / アニメのテレビ番組に / 『きかんしゃトーマス』と呼ばれる / 22作目の番組シリーズの中で / 2018年の / トーマスはソドー島を出ます / 初めて / 彼は旅します / 世界中を / そして新しい機関車の友達に出会います / インド、中国、オーストラリアで / そして他の国々で / 番組のクリエイターたちは力を尽くしました / より多くの女性キャラクターを登場させるよう / 番組に / 2台の女性機関車を加えることで / スチームチームに / 機関車グループ / トーマスを含む / 主人公たちである /

その年 / 国際連合は協力することを決めました / アメリカの玩具メーカーと / トーマスのブランドを保有している / そしてそのアニメを制作している / 彼らは組み入れました / 17の持続可能な開発目標 (SDGs) のいくつかを / 数話の筋に / そのシリーズの /

フレーズリーディング用本文・訳例（縦並び）

Lesson 6 Part 1

Thomas the Tank Engine	きかんしゃトーマスは
is a blue steam engine	青い蒸気機関車です
in a British children's book series.	イギリスの子ども向けのシリーズ本に出てくる
He first appeared	トーマスは初めて登場しました
in 1946.	1946年に
In the stories,	物語の中で
Thomas has many adventures	トーマスはたくさんの冒険をします
with his fellow locomotives	仲間の機関車たちと
on the island of Sodor.	ソドー島で
This series is still read	このシリーズはなお読まれています
by children	子どもたちに
in more than 160 countries today.	今日 160 か国以上の
Thomas also appears	
in an animated television show	
called <i>Thomas & Friends</i> TM .	
In the show's 22nd series	

フレーズリーディングの本文と訳例を縦に並べました。折りたたんで使うことも可能です。

Lesson 6 Part 1

Thomas the Tank Engine	きかんしゃトーマスは
is a blue steam engine	青い蒸気機関車です
in a British children's book series.	イギリスの子ども向けのシリーズ本に出てくる
He first appeared	トーマスは初めて登場しました
in 1946.	1946年に
In the stories,	物語の中で
Thomas has many adventures	トーマスはたくさんの冒険をします
with his fellow locomotives	仲間の機関車たちと
on the island of Sodor.	ソドー島で
This series is still read	このシリーズはなお読まれています
by children	子どもたちに
in more than 160 countries today.	今日160か国以上の
Thomas also appears	トーマスは登場してもいます
in an animated television show	アニメのテレビ番組に
called <i>Thomas & Friends</i> TM .	『きかんしゃトーマス』
In the show's 22nd series	22作
in 2018,	2018

Excel 版のデータも収録しています。

題材背景資料集

Lesson 6 Thomas the Tank Engine and SDGs

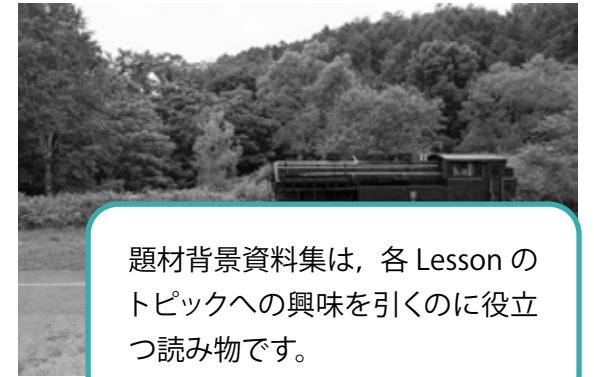
■『機関車トーマス』の進んだレール

皆さんも一度は目にしたことのある、親しみのある機関車のキャラクター、トーマス。彼が最初に登場したのは、第二次世界大戦が終わった 1945 年のイギリスでした。当時は絵本でしたが、やがて人形劇やアニメとしても人気を博し、現在では最新の 3DCG を駆使したアニメとなり、世界中の子どもたちを楽しませています。

元々はウィルバート・オードリーという牧師が描いた絵本が始まりでした。それが多くの人に知られるようになったのは 1979 年のこと。放送作家のブリット・オールクロフトとウィルバートが知り合ったことがきっかけとなります。

長い間シリーズを続けるために、様々な試行錯誤を行われました。またそれと同時に、実際の鉄道で起こったことや、実際の鉄道のディテールにこだわり抜いたこと、さらにその時々最新の技術を取り入れることで、トーマスと仲間たちは息の長い存在となったのです。

教科書で取り上げられた国際連合との連携は 2018 年に始まりました。このときに女性の機関車を導入して、またトーマスが世界各国を回るエピソードを設けるなどして、国際化社会に合わせた内容となったのです。



題材背景資料集は、各 Lesson のトピックへの興味を引くのに役立つ読み物です。

■世界に飛び立つトーマス

国際連合との共同制作となった作品では、全 17 の目標のうち 6 つ、つまり「質の高い教育をみんなに」「ジェンダー平等を実現しよう」「安全な水とトイレを世界中に」「住み続けられるまちづくりを」「つくる責任つかう責任」「陸の豊かさを守ろう」をストーリーの筋とする取り組みが始まりました。

第 22 シリーズとなった本作はトーマスが中国とインド、オーストラリアを旅する内容となり、そこで現地の文化や環境問題を学びます。さらに一年後の第 23 シリーズにはさらにブラジルやイタリア、そして第 24 シリーズでは日本、それも新幹線のケンジが登場します。

世界を旅してトーマスが多くのことを学び、子どもたちに伝えたいメッセージを国連が手掛けるアニメを通して届けます。教科書で紹介した Goal 11, 12, 15 の他に、Goal 4 では世界の国々を見たうえでトーマスが話す教育の重要性、Goal 5 では少年と少女が同等に機会や権利を与えられることの素晴らしさ、Goal 6 では地球上すべての生物にとっていかに水が大切なのかを、世界の実例や問題をからめて紹介しています。



今日も子どもたちに大切なメッセージを届けるために、トーマスは世界を走り回っているのです。

ショートリーディング用データ

Short Reading

Class : Number : Name :

<SDGs について(スピーチ)>

次の英文は、中学3年生の Mei が SDGs (Sustainable Development Goals 「持続可能な開発目標」) について調べて書いたスピーチ原稿である。①～⑥に答えなさい。

Do you know about SDGs? They are goals to make the earth sustainable. They are shared by many countries for the better future. Today we have a lot of problems on the earth. The problems are so that we must work together for the SDGs. One way to find an answer to the problems is to think about the clothes we wear every day. Many companies know they must do something, and they are doing some interesting things.

Some companies make organic clothes. They are usually more expensive, and organic cotton is often used for them. To grow organic cotton, the farmers may need more people and time. But when they grow it, they usually use almost no chemicals. Also, they don't need so much water then. So it is good for the earth. They can grow organic cotton almost without any and save some .

Some companies make clothes by hand, without machines. There are some good things about this. If machines are used, we will have more CO₂. If they are not used, we can reduce it. Also, when clothes are made by hand, the companies will need more workers. So more people will get jobs. I heard a story about a woman who lives in a small village in India. In that country, many people must leave their villages to find jobs in big cities because it is difficult to get jobs in their villages. But that woman doesn't have to ^{IV}do so. She is a good worker. Her job is to make clothes by hand. She doesn't use machines, and she can work at home. She is glad to have a job and live with her family in her village. I hope more people will be happy like her.

Other companies collect used clothes to reuse or recycle them. By doing so, they can reduce waste.

“Upcycling” is also useful. It means that we make better things by using old or unwanted things. I know about some upcycled things. Some shoes are made from plastic waste in the sea. That is useful for reducing the waste in the sea. I also think we will remember another important thing by wearing them. The sea color is used for them. So, when we wear them and see the color, we will not that we must make the sea clean.

Most of the things these companies are doing are good, but they are not new. Do you know people in the old days did the same kind of things? Traditional Japanese clothes, kimonos, are good examples. A long time ago, Japanese people wore kimonos every day. They were organic clothes and made by hand. People wore them for many years with love. People's lives were sustainable then.

At first, I thought that SDGs were only for companies. But now I've found that each of us has a thing we can do for these goals. We wear something every day. That means we can do something. I will think more about the clothes I wear every day. When I go shopping, I will try to . Then I will wear them with love. When they become old, I want to upcycle them. I believe our clothes can change the world and everyone will be happy.

Organic 有機栽培の cotton 綿 chemical
す waste ごみ unwanted 不必要な mak

各 Lesson のジャンルに関連した、語数の異なるやさしめの英文とその設問をご用意しました。音声データも指導書付属 ROM 内に収録されています。

パート別 Summary データ

Lesson 6 Thomas the Tank Engine and SDGs

Lesson 6 Part 1 Summary

Thomas is a blue steam engine in a British children's book series.

This series is still read by children in more than 160 countries today.

In the 22nd series of *Thomas & Friends*TM, Thomas leaves Sodor Island for the first time and travels around the world. The show's creators worked to feature more female characters in the show by adding two female engines to the Steam Teams.

The United Nations decided to work with a US toy maker. They incorporate some of its 17 Sustainable Development Goals into the storylines of several episodes from that series.

Lesson 6 Part 2 Summary

The 17 SDGs were adopted by the United Nations General Assembly in 2015. They are what the United Nations created to help achieve a better and more sustainable future for everyone.

The United Nations has a hope of achieving the goals by 2030. Their global challenges include improving education, achieving gender equality, and fighting climate change.

The United Nations and the toy company see great value in the goals.

They chose six of the SDGs that were a natural fit with the kind of stories that are often seen in *Thomas & Friends*TM.

Lesson 6 Part 3 Summary

The episode of Goal 11 is about living in cities. It says cities need good transport networks and more people should use public transport, instead of private cars, to help clean the air.

The episode of Goal 12 is about reusing and recycling. His friend, Reg, works at a scrap yard and knows if waste can be reused or recycled. Thomas said “Reg recycles it when something is broken and can't be repaired.”

The episode of Goal 15 is about forests. It is especially forests that we should take care of because nearly all the insects, plants, and animals on Earth live in forests.

Lesson 6 Part 4 Summary

The world today is quite different from when Thomas the Tank Engine was first created. People's values have greatly changed and there are new problems. The SDGs in *Thomas & Friends*TM are an important response to these changes.

The messages in the SDG episodes are easy to understand for children, and they give life lessons.

The episodes can help children learn in early age.

リテリング活動のモデルとしても活用できる Part ごとの要約文をご用意しました。Summary の音声も指導書付属 ROM に収録されています。

関連入試問題

Thomas the Tank Engine and SDGs 関連入試問題 同志社大学

Forestry is the science of developing and managing woodlands and the water resources that sustain them. The purpose of forestry is to develop fuelwood (for fuel), sawlogs (for lumber), and pulpwood (for paper production) that can be extracted through logging. The production of fuelwood sawlogs and pulpwood grew (a) steadily between 1960 and 2000, rising from 62 billion cubic feet* in 1960 to 84 billion cubic feet in 1980, and 110 billion cubic feet in 1995. Global population growth increased demand for wood by 77 million cubic meters per year in the early 2000s. By 2005, production was expected to reach 122 billion cubic feet. About half the wood harvested each year is used for fuel.

Since forestry directly affects the environmental quality of every nation and involves the use of enormous amounts of public and private land, it is a focus of intense public debate in many countries. In most nations, the forest industry — which cuts timber — is also responsible for regenerating and maintaining the land. While intense worldwide debate continued over the extent and location of timber harvests, the forest industries of most major industrial nations have, for the most part, become more responsible and careful in their management of forest resources.

In some developing nations, overcutting of land to create farmland, ranchland*, or fuel continued to degrade the environment. While Southeast Asian nations producing tropical timber moved to check overcutting through regulation, taxation, and export bans, overcutting was said to continue despite safeguards. The loss of tropical rain forests in South America is a major example of this problem. Another problem was the (b) massive damage done in Indonesia from 1997 through 2002, when fires — some (c) deliberately set — ravaged* lands where timber had been cut or where forests were being cleared for agriculture. The burnings were supposed to help prepare or clear the land for agricultural purposes, but once the fires were out of control, they created intense smog and haze that affected the entire region for months. Monetary damages from the fires and the haze they caused were estimated at US\$4.4 billion in a study from the Economy and Environment Program for South East Asia (EEPSEA)* and the World Wildlife Fund (WWF)*. (中略)

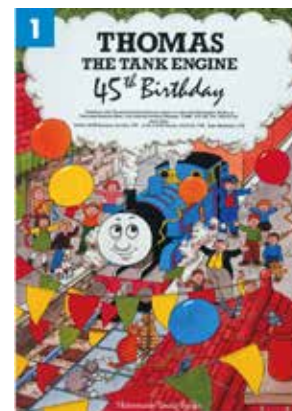
While forests exist in every nation on earth, the scientific management of forests tended to be concentrated in countries that produce large volumes of forest products although these countries did not necessarily have the most total forest area. For example, Finland and Sweden were leaders in forestry management and produced very high volumes of forest products yet did not rank among the top ten countries in terms of total forest area. Leading areas in terms of total forest cover were the Commonwealth of Independent States (former Soviet Union), North America, (中略) continental Europe, Southeast Asia, New Zealand, and Latin America. In Latin America several companies established highly productive plantation forests (artificially planted forests intended for harvest at a specific time), particularly in Brazil and Chile.

Forest policies around the world differed based on each country's political history. In the United States, the federal and state governments own forestland — especially in the West — but private companies own large woodland (d) tracts, particularly in the South. In other countries, forestlands were owned by the state, emerging (e) market economies had varying degrees. Mixed ownership of woodlands, like

各 Lesson のテーマに関連した大学入試問題をご用意しました。訳例・解答も収録しています。

教科書画像データ

教科書に掲載されている写真や図版などの画像データを jpg 形式で全て収録しています。



教科書関連 URL 資料

教科書のトピックに関連して、授業で活用できる動画資料への URL を一覧でまとめました。

レッスン	タイトル	リンクの概要	リンク先
Lesson6	Thomas the Tank Engine and SDGs	SDGsとは？【アニメでわかるSDGs】	https://www.youtube.com/watch?v=lnbFQ9zVwG8
		Sustainable Development Goals (SDGs): IIED and the new global agenda on sustainable development	https://www.iied.org/sustainable-development-goals-sdgs-iied-new-global-agenda-sustainable-development
		Thomas and Friends: Sustainable Development Goals	https://www.allaboardforglobalgoals.com/en-us?sf92336189=1
		トーマスとなかまたち：SDGs - 質の高い教育をみんなに（ゴール4）	https://www.youtube.com/watch?v=DP8IV-PUHmQ&t=0s
		トーマスとなかまたち：SDGs - ジェンダー平等を実現しよう（ゴール5）	https://www.youtube.com/watch?v=4Y36AORTRb4&t=0s
		トーマスとなかまたち：SDGs - 安全な水とトイレを世界中に（ゴール6）	https://www.youtube.com/watch?v=zuX6vTXXTo&t=0s
		トーマスとなかまたち：SDGs - 住み続けられるまちづくりを（ゴール11）	https://www.youtube.com/watch?v=h8sv08CimUE&t=0s
		トーマスとなかまたち：SDGs - つくる責任 つかう責任（ゴール12）	https://www.youtube.com/watch?v=hof7RJMPhII&t=0s
		トーマスとなかまたち：SDGs - 陸の豊かさも守ろう（ゴール15）	https://www.youtube.com/watch?v=smY4Lz7lyYU&t=0s
		SDGsをまとめた国連のサイト	https://sdgs.un.org/goals
		SDGs専門メディア【SDGsナビ】	https://sdgs-navi.com/
		まんがでよくわかる！「地球防衛隊SDGs」	https://kids.gakken.co.jp/kagaku/nandemo/edf_sdgs_01/

指導用 PowerPoint

本文（全文読み）

本文（一文読み）

本文（フレーズ読み）

指導用 PowerPoint

フラッシュカード

オーラルイントロダクション&リテリング

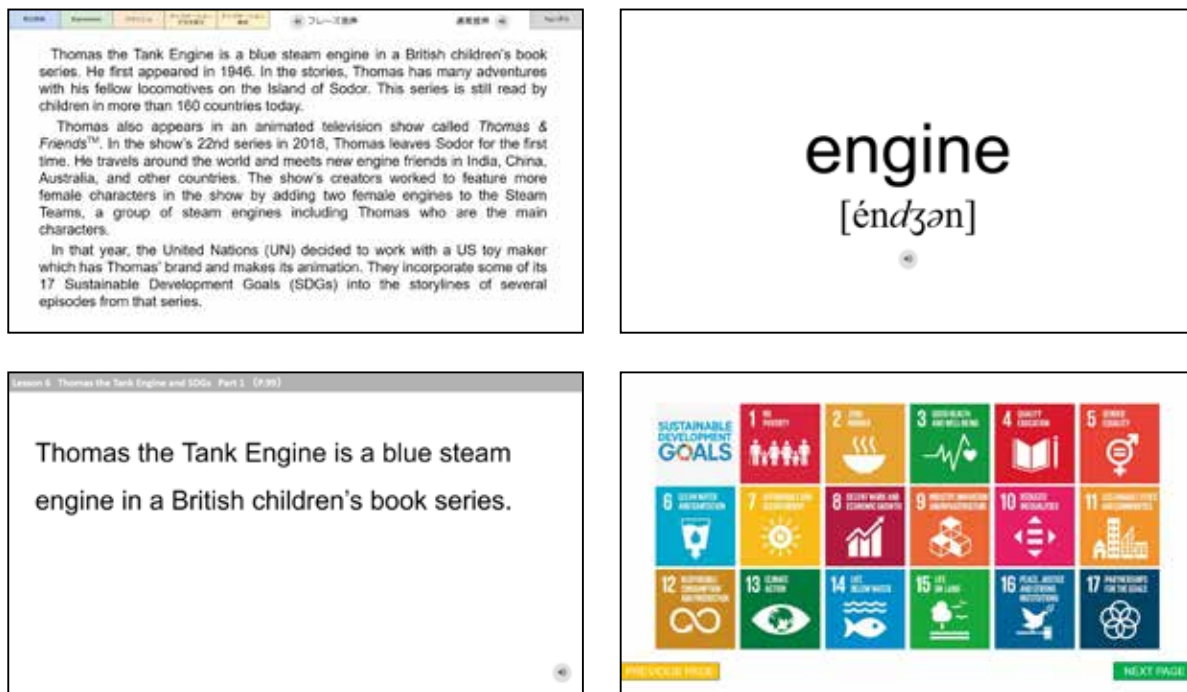
設問

Final Task

Who	gourmets (Akatsuka, Komazawa, Nogawa)	What	Komazawa got a bad result from the health checkup, stopped eating <i>tonkatsu</i> to be healthy, looks unhappy
When	modern times, nowadays	Why	being overweight may cause serious problems to human body
How	tsu shop	How	by changing his eating order and eating vegetables before oily foods

Google Slides

指導用 PowerPoint と同じコンテンツを Google Slides として使用できます。



True or False 音声データ

<Lesson 6 TF 音声スクリプト>

• Part 1

- ① Thomas the Tank Engine book series is not so popular among children in the 21st century.
- ② Thomas first appeared in an animated television show.
- ③ The United Nations and a US toy maker used some of the SDGs in several episodes of Thomas series.

• Part 2

- ① The UN General Assembly will adopt the 17 SDGs in 2030.
- ② The UN and the toy company chose the six SDGs though they were a little hard for little children to understand.

指導書に掲載されている True or False の音声データ (mp3) とその文字データを収録しました。

オススメ!

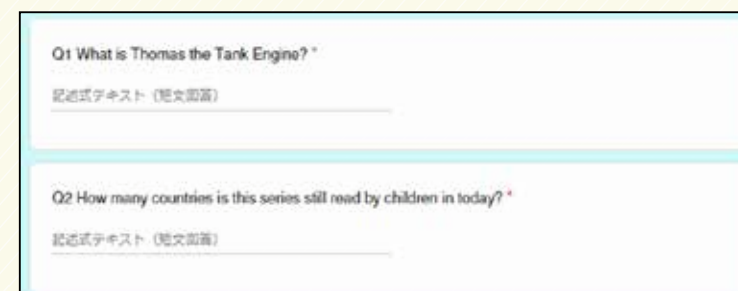
Google Forms

Google Forms で Part ごとに 3 種類の課題を取り揃えています。メールや URL で生徒に送信し、PC やタブレットなどの端末で課題に取り組むことができます。課題提出後は、解答が決まっているものは自動で、英作文や記述問題は添削して個々に採点することができます。

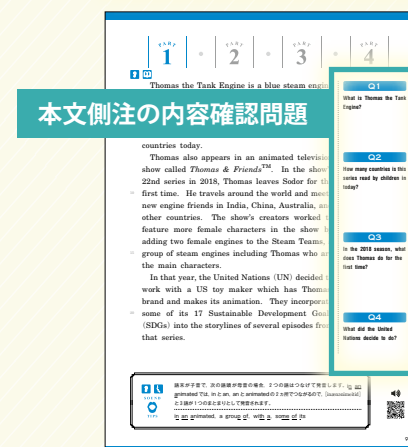
単語・連語小テスト



Comprehension Questions



TRUE OR FALSE



特長
内容紹介
授業展開例
紙面紹介
関連教材
指導用 Data
Digital

教科書リライト英文

<Lesson 4>

Part 1

Malala Yousafzai was born in 1997 in the Swat Valley in Pakistan. There, women could not do the same things that men could. Most girls could not go to school. Women could not have jobs outside the home. They had to stay home, do housework, and raise children.

Malala's father was a teacher. He believed that everyone should be able to get an education. He built a school in the Swat Valley. His school not only accepted boys, but girls too.

Her father's way of thinking has had a great influence on hers. As Malala grew up, she had a strong desire to break the tradition which treated women so badly. She came to believe that men and women should be treated equally.

Part 2

When Malala was ten years old, something terrible happened: a military group called the Taliban came from Afghanistan to the Swat Valley. This was because the United States had attacked Afghanistan several years earlier.

Soon the Taliban controlled much of the region, and they made new laws. Under these laws, girls could not go to school at all. When the people there did not obey the laws, the Taliban punished them. Sometimes, they were killed.

Malala had to choose between her safety and her education. However, she never gave up. She wanted to go back to school someday.

Part 3

In 2009, Malala began writing an online diary about her life in the Swat Valley. She wrote about her desire to attend school again. Later, she started appearing on TV and the radio. She spoke about women's right to get an education. She received a lot of attention from the mass media inside and outside Pakistan. The Taliban, however, became angry about her actions.

In spite of the Taliban's orders, Malala had started going to school again. On October 9, 2012, when she was walking home from school, a Taliban member shot her in the head. He wanted to silence her. She was badly injured and taken to a hospital in England. Luckily, she survived.

Part 4

Trying to silence Malala has... speech at the UN about the imp...

教科書の英文をリライトしたテキストデータになります。教科書本文よりも表現などを易しく変えているため、復習プリントや定期考査の英文素材としてご使用いただけます。

本文解析

Lesson

6

Thomas the Tank Engine and SDGs

■本文解析 Part 1 (教科書 p.99) ...主な記号: <副詞句(節)> [名詞句(節)] (形容詞句(節)) [並列されている要素]

きかんしゃトーマス

Thomas the Tank Engine is a blue steam engine (in a British children's book series).

↓ 具体的説明

He (first) appeared (in 1946). (In the stories), Thomas has many adventures (with his fellow = Thomas the Tank Engine

locomotives) (on the Island of Sodor). This series is (still) read (by children) (in more than 160 = トーマスのシリーズ

countries) (today).

アニメ版「きかんしゃトーマス」

Thomas (also) appears (in an animated television show (called Thomas & Friends™)).

新たな展開

(In the show's 22nd series (in 2018)), Thomas leaves Sodor (for the first time). He (travels (around the world)) (and) (meets new engine friends (in (India), (China), (Australia), (and) (other countries))). The

show's creators worked (to feature more female characters (in the show) (by adding two female engines to

the Steam Teams, a group of steam engines including Thomas (who are the main characters))).

「きかんしゃトーマス」とSDGs

(In that year), the United Nations (UN) decided (to work (with a US toy maker (which (has Thomas' brand) (and) (makes its animation))). They incorporate some of its 17 Sustainable Development Goals

(SDGs) (into the storylines (of several episodes (from that series))).

本文の文構造の解析とストーリー展開を示しました。pdf データで収録しています。

ワークブック文字データ (Advanced)

Lesson 6 Thomas the Tank Engine and SDGs

・ PART 1 →教科書 pp.98-99

1 Connect each word and phrase that have similar meanings with a line.

- | | | |
|----------------|---|--|
| (1) feature | • | • a railway engine |
| (2) fellow | • | • relating to women or girls |
| (3) locomotive | • | • to have or include someone or something as an important part |
| (4) female | • | • people who you work with, or study with |

2 Put the appropriate words into each sentence.

- (1) 自分の国を出たのはそのときが初めてだったので、サリーはわくわくしていた。
Sally was excited because she left her country () the first () then.
- (2) レベッカという名の女性機関車が、スチームチームに加わった。
A female engine () Rebecca joined the Steam Team.
- (3) きかんしゃトーマスは 70 年以上前に最初に登場した。
Thomas the Tank Engine was first appeared () () seventy years ago.

3 Choose the appropriate word(s) in each sentence. (You may choose more than one option.)

- (1) They worked with a development team (included / including / which included) a toy maker.
- (2) The writer made the animation more interesting by (added / adding / addition) a new storyline to it.
- (3) The creators decided (featured / featuring / to feature) more female characters in the show.

4 Read the following passage and answer the questions below.

Thomas the Tank Engine is a blue steam engine in a children's book series which is still very popular. Thomas also appears in a TV animation. In the series, Thomas travels around the world and meets new engine friends. The show's creators worked to feature more female characters in the show. The United Nations and a toy maker ①incorporated some of 17 Sustainable Development Goals into the storylines of several episodes from that series.

Q1. Choose the word which is closest in meaning to the word ①. (You may choose more than one option.)

- a. put b. left c. mixed d. studied

Q2. According to the passage, what did the creators work to do in the show?

- a. To make more friends.
b. To appear in the animation.
c. To make Thomas popular.
d. To feature more female characters

ワークブック (Advanced) の文字データです。
このまま活用することはもちろん、テスト作成の際にも役立ちます。

ワークブック文字データ (Standard)

Lesson 6 Thomas the Tank Engine and SDGs

Part 1

1 W 英文に合う最も適切な語を、それぞれ a. ~ d. の中から 1 つ選びなさい。

- (1) Thomas the Tank Engine first () in 1946.
a. appeared b. decided c. called d. made
- (2) The show () a popular idol group.
a. appeared b. featured c. read d. traveled
- (3) Susan became the first () student in her school to receive the prize.
a. children b. cultural c. female d. different
- (4) There have been amazing computer () during the last ten years.
a. adventure b. animations c. value d. developments

2 E 英文に合う最も適切な語を、それぞれ a. ~ d. の中から 1 つ選びなさい。

- (1) The character appeared in a British children's book in 1946 () the first time.
a. as b. at c. for d. in
- (2) I added milk () my shopping list.
a. to b. at c. from d. with

ワークブック (Standard) の文字データです。
このまま活用することはもちろん、テスト作成の際にも役立ちます。

文法書データ

高校で習う英文法の詳しい文法解説書 (450 ページ分) の pdf データを収録しています。



174 第 6 章 動詞

2 動名詞

動名詞は動詞の原形に ing をつたもので、動詞の働きだけでなく名詞の働きもする。次のようなことから、動名詞が動詞としての性格をとどめていることがわかる。

saving energy (エネルギーを節約すること)
動名詞 saving が目的語 energy を作っている。

being rich (金持ちであること)
動名詞 being が補語 rich を伴っている。

rising early (早く起きること)
動名詞 rising が副詞 early によって修飾されている。

動名詞の目的語や補語を伴ったり副詞によって修飾されたりするのは、動名詞が動詞としての働きをしていることを示している。

<1> 動名詞の用法

動名詞には名詞的用法と形容詞的用法がある。

152. 動名詞の名詞的用法

- Missing the bus means waiting for two hours.
- My hobby is taking pictures of trains.
- I'm sorry for being late.

- その(ス)に乗り遅れることが目的語となればはじけなくなる。(後のバスに乗り遅れることは、目的語として認識する。)
- 私の趣味は列車の写真を撮ることです。
- 遅れてすみません。

動名詞は「～すること、～であること」という意味で、文中で主語・目的語・補語・前置詞の目的語として用いられる。

(1) 文の主語として

例文 1. Missing は文の主語、the bus を目的語として伴っている。

注 動名詞の何れかの場合には後ろに置き、形動語法を用いる。

P was hard getting along with the neighbors.

(隣人たちとうまくやっていくのは難しくかった。)

[It]-setting along with the neighbors.

予習&授業ノート文字データ

Lesson 6 Thomas the Tank Engine and SDGs

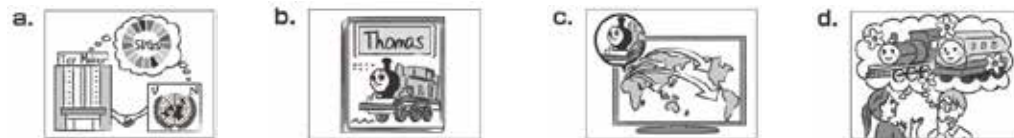
→教科書 p.98-99

Part 1

Reading Point

What are Thomas' stories about?

Guess & Check



- | | | | |
|----------------------|---------------------------|-------------------|---------------------|
| ① the United Nations | ① a blue steam engine | ① television show | ① show's creators |
| ② SDGs, storylines | ② British children's book | ② leaves Sodor | ② female characters |

Before () → () → () → () After () → () → () → ()

Content

Thomas the Tank **Engine** / is a blue **steam** engine / in a British children's book series. // He first appeared / in 1946. // In the stories, / Thomas has many adventures / with his **fellow locomotives** / on the Island of Sodor. // This series is still read / by children / in more than 160 countries today. //

① Thomas also appears / in an **animated** television show / called **Thomas & Friends**TM. // In the show's 22nd series / in 2018, / Thomas leaves Sodor / **for the first time**. // He travels / around the world / and meets new engine friends / in India, China, Australia, / and other countries. // The show's **creators** worked / to **feature** more **female** characters / in the show / by adding two female engines / to the Steam Teams, / a group of steam engines / including Thomas / who are the main characters. //

② In that year, / the United Nations (UN) decided to work / with a **US toy maker** / which has Thomas' brand / and **makes its animation**. // They **incorporate** / some of its 17 **Sustainable Development** Goals (SDGs) / into the **storylines** of several **episodes** / from that series. //

Words & Expressions

- | | |
|-------------------------------------|---------------------------------------|
| 1. engine [ɛndʒɪn] 名 _____ | 8. female [fi:meil] 形 _____ |
| 2. steam [sti:m] 名 _____ | 9. incorporate [ɪnkɔ:rpəreɪt] 動 _____ |
| 3. fellow [felou] 形 _____ | 10. sustainable [səsteɪnəbl] 形 _____ |
| 4. locomotive [ləʊkəməʊtɪv] 名 _____ | 11. development [dɪvələpmənt] 名 _____ |
| 5. animated [ænəmeɪtɪd] 名 _____ | 12. story [stɔ:ri] 名 _____ |
| 6. creator [kri:etə] 名 _____ | 13. episode [ɪpɪsəʊd] 名 _____ |
| 7. feature [fi:tʃə] 動 _____ | 14. for the first time 副 _____ |

予習&授業ノートのテキストデータを収録しました。テスト作成の際などにご活用ください。

本文・訳例

Part 1

Thomas the Tank Engine is a blue steam engine in a British children's book series. He first appeared in 1946. In the stories, Thomas has many adventures with his fellow locomotives on the Island of Sodor. This series is still read by children in more than 160 countries today.

Thomas also appears in an animated television show called *Thomas & Friends*TM. In the show's 22nd series in 2018, Thomas leaves Sodor for the first time. He travels around the world and meets new engine friends in India, China, Australia, and other countries. The show's creators worked to feature more female characters in the show by adding two female engines to the Steam Teams, a group of steam engines including Thomas who are the main characters.

In that year, the United Nations (UN) decided to work with a US toy maker which has Thomas' brand and makes its animation. They incorporate some of its 17 Sustainable Development Goals (SDGs) into the storylines of several episodes from that series.

<訳例>

きかんしゃトーマスは、イギリスの児童書のシリーズに出てくる青い蒸気機関車です。トーマスは 1946 年に初めて登場しました。物語の中で、トーマスは仲間の機関車たちとソドー島でたくさんの冒険をします。このシリーズは今日でもなお、160 か国以上の子どもたちに読まれています。

トーマスは『きかんしゃトーマス』というアニメのテレビ番組にも登場しています。2018 年の 22 作目の番組シリーズの中で、トーマスは初めてソドー島を出ます。彼は世界中を旅して、インド、中国、オーストラリア、そして他の国々で新しい機関車の友達に出会います。番組のクリエイターたちは、主人公であるトーマスを含む機関車グループ、スチームチームに 2 台の女性機関車を加えることで、番組により多くの女性キャラクターを登場させるようにしました。

その年、国際連合はトーマスのブランドを保有して、そのアニメを制作しているアメリカの玩具メーカーと協力することにしました。双方は、17 の持続可能な開発目標 (SDGs) のいくつかを、トーマスのシリーズの数話の筋に組み入れました。

Q1

What is Thomas the Tank Engine?

Q2

How many countries is this series still read by children in today?

Q3

In the 2018 season, what does Thomas do for the first time?

Q4

What did the United Nations decide to do?

教科書の本文とその訳例のテキストデータを収録しています。

リスニングスクリプト

※教科書に記載のある部分は「本文・訳例データ」を、スラッシュ入りのフレーズリーディングは「フレーズリーディング用本文・訳例」データを参照ください。

Lesson 6 Thomas the Tank Engine and SDGs

Listening

There are many famous children's shows all over the world. They often teach children important ideas about having friends, learning from mistakes, and always doing your best. Some of these shows are translated into different languages and become popular in many countries. People who watch these shows as young children remember their lessons when they are adults. It can be said that children's shows have the power to change the world very much.

全体 Oral Introduction

Many of today's popular children's shows were popular many years ago too. But as time passes, the world becomes a different place. These shows change too. In this lesson, we'll learn about Thomas the Tank Engine. This character is very old, and the ideas his show teaches have changed a lot. In modern times, he teaches new ideas to children.

Part 1 Oral Introduction

When children watch a TV show, they notice many things. They notice the characters' genders, home countries, and speaking styles. Thomas the Tank Engine now tries to show children many different kinds of characters. It teaches children that equality is very important. Everybody is different, but we should all be treated fairly.

Part 2 Oral Introduction

Protecting the environment is important for everyone. It is a big global challenge of the 21st century. We need to make a clean world so people in the future can live peacefully. The United Nations created the 17 SDGs to help protect the environment. And Thomas the Tank Engine is teaching children about them.

Part 3 Oral Introduction

We can learn a lot by traveling around the world. One important lesson is that the world is a great, big, and beautiful place. It makes us feel that we should protect nature. Thomas talks about some small things that we can do for the environment. They're all very simple but very important.

Part 4 Oral Introduction

Children's TV shows aren't only for entertainment. They're for education too. The messages these shows send can have a great effect on children. They can make them aware of many world problems and help give ideas to solve them. In the 21st century, we're going to see new problems around the world, and we'll need to find solutions to them. TV shows like Thomas the Tank Engine may help.

学校用音声 CD に収録されている音声のスクリプトを収録しました。

単語・連語リスト

Page	Lesson	Part	単語	発音記号	品詞	訳	英英定義
98	6	1	engine	[ɛndʒɪn]	名	(鉄道の)機関車, エンジン	a vehicle that pulls a train; the part of a vehicle that produces power to make the vehicle move
98	6	1	steam	[sti:m]	名	蒸気, 水蒸気, スチーム	the hot gas that water changes into when it boils
98	6	1	fellow	[feləu]	形	仲間, 同僚	someone who is travelling, working, studying with you
98	6	1	locomotive	[ləukəməʊtɪv]	名	機関車	a railway engine that pulls a train
98	6	1	animated	[ænimetɪd]	形	アニメの	produced through the process of animation
98	6	1	creator	[kri:etə]	名	創案【考案】者, 創造【創作, 創設】者	a person who makes something new
98	6	1	feature	[fi:ʃə]	動	～を出演させ(てい)る	to have or include someone or something as an important part
98	6	1	female	[fi:meɪl]	形	女性の	being a woman or a girl
98	6	1	incorporate	[ɪnkɔ:pə'reɪt]	動	～を組み入れる	to include something as part of a group, system, plan etc
98	6	1	sustainable	[səsteɪnəbəl]	形	持続可能な	able to last or continue for a long time
98	6	1	development	[dɪvələpmənt]	名	開発	the process of working on a new product, plan, idea etc to make it successful
98	6	1	storyline	[stɔ:ri:lai]	名	筋, プロット	the basic story in a novel, play, film, etc
98	6	1	episode	[epəsəʊd]	名	(連続番組などの)1回分の話	one part of a story that is broadcast on television or radio in several parts
100	6	2	adopt	[ə'dɔ:pt]	動	～を採択する	to accept or approve (something, such as a proposal) in a formal or official way
100	6	2	create	[kri:et]	動	～を生み出す, 創作する	to make something happen or exist
100	6	2	gender	[dʒɛndə]	名	性, ジェンダー: (集合的に)男性, 女性	the fact of being male or female; males or females, considered as a group
100	6	2	equality	[i'kwɔ:li]	名	平等, 対等	the fact of being equal in rights, status, advantages, etc
100	6	2	climate	[klaɪmət]	名	気候	the typical weather conditions in a particular area
100	6	2	quality	[kwɔ:li]	形	高品質の	very good or excellent
100	6	2	sanitation	[sænə'teɪʃən]	名	公衆衛生, 衛生設備, 下水設備	the equipment and systems that keep places clean, especially by removing human waste
100	6	2	responsible	[rɪspɔ:(n)səbəl]	形	責任を伴う: 責任がある	sensible and able to make good judgments, so that you can be trusted
100	6	2	consumption	[kɒnsəmptʃən]	名	消費, 購入	the act of using energy, food or materials
100	6	2	production	[prɒdʌkʃən]	名	製造, 生産	the process of making or growing things to be sold, especially in large quantities
102	6	3	transport	[trænzpɔ:t]	名	輸送機関	a system for carrying people or goods from one place to another using vehicles, roads, etc
102	6	3	network	[netwɜ:k]	名	網状のもの, 網状組織	a system of lines, tubes, wires, roads etc that cross each other and are connected to each other
102	6	3	private	[praɪvət]	形	私用の, 個人的な, 私有的	belonging to or for the use of a particular person or group; not for public use
102	6	3	scrap	[skræp]	名	スクラップ, 廃物	things that are not wanted or cannot be used for their original purpose, but which have some value for the material they are made of
102	6	3	yard	[jɑ:d]	名	～場, 工場, 作業場	an area of land used for a special purpose or business
102	6	3	insect	[ɪnsekt]	名	昆虫	a small creature such as a fly or ant, that has six legs, and sometimes wings
102	6	3	coconut	[kəʊkənʌt]	名	(ココ)ヤシの実	a large fruit that has a thick shell with white flesh and liquid inside it and that grows on a palm tree
104	6	4	response	[rɪspɔ:(n)s]	名	対応, 反応, 返答	something that is done as a reaction to something else
104	6	4	diversity	[dɪvə'sɪti]	名	多様性	the fact of including many different types of people or things
104	6	4	responsibility	[rɪspɔ:(n)səbɪləti]	名	責任	something that you ought to do because it is morally or socially right

新出単語の発音記号や訳, 英英定義などを一覧でまとめました。

Page	Lesson	Part	連語	訳	英英定義
98	6	1	for the first time	初めて	used to say that something has never happened or been done before
100	6	2	all over the world	世界中に〔で〕	in every part of the world — use this especially to say how much a particular idea, organization etc has spread
102	6	3	instead of ~	～の代わりに, ～ではなく	used to say what is not used, does not happen etc, when something else is used, happens etc
102	6	3	take care of ~	～の世話をする: ～に気を配る	to do the things that are needed to help or protect someone or to keep something in good condition
104	6	4	be different from ~	～と異なっている	not like something or someone else, or not like before
104	6	4	at an early age	若い時に, 幼い頃に	when you are very young, or starting when you were very young

本文で扱われている重要な連語表現も同様にまとめました。

授業計画案

Lesson 6 Thomas the Tank Engine and SDGs

●指導と評価の計画 (8 時間)

時間	ねらい・学習活動・指導上の留意点	単元の評価基準	評価方法
1 2 3 4	<p>Part 1 ~ 4 [ねらい] 『きかんしゃトーマス』とはどのようなアニメなのか、国連とどのように協力したのかを読み取らせる。 ・SDGs とは何か、どの目標が『きかんしゃトーマス』に組み込まれているのかを理解させる。 ・SDGs のどの目標をどのようにトーマスの物語に織り交ぜているのかを読み取らせる。 『きかんしゃトーマス』が最初に作られた頃からの時代の変化と子どもたちに与えている影響について読み取らせる。 [学習活動] ・新出語句の確認をする。 ・文法事項の確認をする [各パートで学習する文法事項] Part 2: 関係代名詞 what Part 3: 強調構文 It is ... that ~ ・本文の内容および背景知識を学習し、音読や内容理解の問題、Retelling 等の活動を通して理解を深める。 [指導上の留意点] ・イラストや写真、音声の効果的に活用する。 ・学習の形態(個人、ペア、全体)を工夫する。</p>	<p>知識・技能(L・R) 思考・判断・表現(L・R) 主体的に学習に取り組む態度(L・R)(I・P・W)</p>	<p>単語・連語小テスト リテリング用ワークシート</p>
5	<p>Comprehension [ねらい] ・空所補充の質問を解かせ、本文の内容を復習する。 ・本文全体の要約文を完成させる。 [学習活動] ・空所補充の問題に取り組みながら本文の内容を復習する。 ・要約文を完成させる。 [指導上の留意点] ・ペアで解答を確認させる時間を設ける。 ・Lesson 全体および各 Part の要点を押さえられているかを確認する。</p>	<p>思考・判断・表現(L・R) 主体的に学習に取り組む態度(L・R)</p>	確認テスト

FLEX ENGLISH COMMUNICATION I

6	<p>[ねらい] ・関係代名詞 what の使い方を理解させる。 ・強調構文 It is ... that ~ の使い方を理解させる。 [学習活動] ・例文を確認する。 ・文法事項を使った問題を解く。 ・文法事項を使って活動をする。 [指導上の留意点] ・例を実践して生徒がスムーズに活動できるようにする。</p>	<p>知識・技能(I・P・W) 思考・判断・表現(I・P・W)</p>	パフォーマンス
7 8	<p>Final Task, Rapid Reading [ねらい] ・グループで SDGs を取り入れた寸劇を作成し発表することで、身の回りの環境と SDGs との関係について理解させる。 ・速読してから True or False を解くことで全体の内容の理解を深める。 [学習活動] ・SDGs を一つ選びグループで寸劇の原稿を作り発表する。 ・Rapid Reading を行い、True or False の問題を解く。 [指導上の留意点] ・グループで選んだ SDGs について調べさせる時間を設ける。 ・各グループの発表の評価基準を明確にする。</p>	<p>思考・判断・表現(L・R)(I・P・W) 主体的に学習に取り組む態度(L・R)(I・P・W)</p>	<p>パフォーマンス ・予習&授業ノート</p>

授業計画案をテキストデータで収録しました。
指導手順や留意事項を端的にまとめています。

観点別評価規準案

観点別評価規準 (案)

観点	Part・Task	評価規準 (L: 聞く / R: 読む / I: 話す (やり取り) / P: 話す (発表) / W: 書く)
知識・技能	Part 1~4	<p>【知識】 関係代名詞 what・強調構文 It is ... that ~ の用法や決まりに関する事項を理解している。</p> <p>【技能】 (L) 教科書本文の音声を聞いて、本文中の関係代名詞 what・強調構文 It is ... that ~ が使われた英文の意味を把握する技能を身につけている。 (R) 教科書本文を読んで、本文中の関係代名詞 what・強調構文 It is ... that ~ が使われた英文の意味を把握する技能を身につけている。</p>
	G&E	<p>【技能】 (W・P) 関係代名詞 what を用いて「無人島に持っていくもの」について書き、それを発表する技能を身につけている。 (I・P) 強調構文 It is ... that ~ を用いて週末の過ごし方についての会話を即興で作り、それをペアで発表する技能を身につけている。</p>
思考・判断・表現	全体	<p>(L・R) 「国連の定めた SDGs」「トーマスの物語に人生の教訓を組み込む意義」の内容を理解できる。 (I・P・W) 理解した内容を自分の言葉で表現し、相手に伝えることができる。また、本文から学んだ「国連の定めた SDGs」「児童用の本やテレビ番組の物語に人生の教訓を組み込むこと」について自分なりに意見を持ち、それを表現することができる。</p>
	Part1	(L・R) トーマスの物語と SDGs が組み込まれた経緯を本文から理解できる。
	Part2	(L・R) SDGs の内容と意義を本文から理解できる。
	Part3	(L・R) SDGs を組み込んだトーマスのエピソードについて本文から理解できる。
	Part4	(L・R) 子どものテレビ番組に人生の教訓を盛り込む意義を理解できる。
	G&E	(I・P・W) 関係代名詞 what・It is ... that ~ を使って、指示に沿った適切な英文を書いたり、自分の考えを表現したり、相手に伝えたりすることができる。
主体的に学習に取り組む態度	Final Task	(I) 興味のある SDGs について自分の意見や考えを、学び得た語彙や表現、情報を基に表現し、即興で相手に伝えることができる。 (P・W) やり取りの内容を踏まえ、改めて自分の意見を発表したり、書いたりできる。
	全体	<p>(L・R) 国連が定めた SDGs の内容や、それを取り入れたトーマスの物語を自ら理解しようとしている。 (I・P・W) 本文から学んだ自分を取り巻く「社会」や「環境」の問題について自分なりに意見を持ち、積極的に発信しようとしている。</p>
	Part1	(L・R) トーマスの物語と SDGs が組み込まれた経緯を読み取ろうと努めている。 (I・P・W) 本文の内容を自分なりに理解して、リテリングしようとして努めている。
	Part2	(L・R) SDGs の内容と意義を理解しようとして努めている。 (I・P・W) 本文の内容を自分なりに理解して、リテリングしようとして努めている。
	Part3	(L・R) SDGs を組み込んだトーマスのエピソードについて理解しようとして努めている。 (I・P・W) 本文の内容を自分なりに理解して、リテリングしようとして努めている。
	Part4	(L・R) 子どものテレビ番組に人生の教訓を盛り込む意義を理解しようとして努めている。 (I・P・W) 本文の内容を自分なりに理解して、リテリングしようとして努めている。

観点別評価規準案をテキストデータで収録しました。
4技能5領域の学習目標を Part やタスクごとに、3つの観点でまとめました。

Can-do リスト

Lesson 6 Thomas the Tank Engine and SDGs

● : 全体に関わる内容 ①～④ : 各 Part 番号 GE : Grammar & Exercises FT : Final Task

読む	<ul style="list-style-type: none"> ●関係代名詞whatや強調構文 (It is... that ~) を的確に把握し、本文の内容を正確に理解できる。 ●本文中で用いられた熟語や表現を的確に把握し、その意味が理解できる。 ●子音と母音のつながりを示すリエゾン、強勢位置、破裂音とその語に続く子音での音の弱化、子音が連続で続くときに起きる脱落などに注意して音読することができる。 ①トーマスの概要とそのアニメシリーズにSDGsが取り入れられるに至った経緯を正確に読み取ることができる。 ②SDGsが国際連合でなぜ採択されたのかを理解することができる。 ③SDGsと紐づいたトーマスの各エピソードの内容を読み取り、理解することができる。 ④なぜ子ども向けのアニメーションにSDGsを取り入れることが効果的なのかを読み取ることができる。
聴く	<ul style="list-style-type: none"> ●本レッスンの英文本文を聴いて、大まかな概要を把握できる。 ●本レッスン内容についての英問や英文を聴いて、内容を正しく理解できる。 ●子音と母音のつながりを示すリエゾン、強勢位置、破裂音とその語に続く子音での音の弱化、子音が連続で続くときに起きる脱落などを聴き分けて理解できる。
話す(やり取り)	<ul style="list-style-type: none"> ●本文の内容についての英問英答や、知り得た情報の英語による説明ができる。 ①「きかんしゃトーマス」について知っていることや調べたことをペアやグループで伝え合うことができる。 ②SDGsがどういう経緯で採択されたのか、何を目標しているのかなどについて知っていることや調べたことをペアやグループで伝え合うことができる。 ③「きかんしゃトーマス」の3つのエピソードがそれぞれ子どもにどんな影響を与えるのかを考え、ペアやグループで話し合うことができる。 ④トーマスが作られた頃と現代ではどんな変化があったか、知っていることや調べたことを伝え合うことができる。 <p>GE: 強調構文 (It is... that ~) を用いて、週末の予定について会話することができる。 FT: 17のSDGsの中から興味があるものについて意見を交換することができる。また、ペアやグループで協働しながらSDGsに関連したスキットの作成を進めることができる。</p>
話す(発表)	<ul style="list-style-type: none"> ●写真や図、イラスト、またキーワードを用いて、ペアで考えを共有しながら本文内容をリテリングできる。 ①本文を読んで「きかんしゃトーマス」の概要やSDGsを取り入れることになった経緯を自分の言葉でリテリングすることができる。 ②SDGsがどういう経緯で採択されたのか、何を目標しているのかなどについて知っていることや調べたことを説明することができる。 ③SDGsに関連した「きかんしゃトーマス」の3つのエピソードのあらすじを自分の言葉でリテリングすることができる。 ④トーマスが作られた頃と現代ではどんな変化があったか、知っていることや調べたことを発表することができる。 <p>GE: 関係代名詞whatを用いて、『無人島で1年過ごすとしたら何を持っていくか』というテーマで自分の考えを発表することができる。 FT: SDGsと関連づけて作成したスキットをクラスの前で実際に演じることができる。</p>
書く	<ul style="list-style-type: none"> ●本レッスンの内容についての英問に対してに直して書くことができる。 ●関係代名詞what、強調構文 (It is... that ~) 示にそった適切な英文を書くことができる <p>FT: 17のSDGsから興味のあるゴールを選び、協働しながら書くことができる。</p>

4技能5領域に沿った「何ができるようになるか」を示したリストをLessonごとに収録しました。

教科書原典文字データ

Lesson 2 “Rocks, Pebbles, Sand: A Story-bite about the Important Things in Life”

Posted on August 7, 2013 by Jean Storlie —

<https://storlietelling.com/2013/08/07/rocks-pebbles-sand-important-things-in-life/>

教科書本文のベースになった英文のテキストデータを収録しました。(一部 Lesson のみ)

A teacher walks into a classroom and sets a glass jar on the table. He silently places 2-inch rocks in the jar until no more can fit. He asks the class if the jar is full and they agree it is. He says, “Really,” and pulls out a pile of small pebbles, adding them to the jar, shaking it slightly until they fill the spaces between the rocks. He asks again, “Is the jar full?” They agree. So next, he adds a scoop of sand to the jar, filling the space between the pebbles and asks the question again. This time, the class is divided, some feeling that the jar is obviously full, but others are wary of another trick. So he grabs a pitcher of water and fills the jar to the brim, saying, “If this jar is your life, what does this experiment show you?” A bold student replies, “No matter how busy you think you are, you can always take on more.” “That is one view,” he replies. Then he looks out at the class making eye contact with everyone, “The rocks represent the BIG things in your life – what you will value at the end of your life – your family, your partner, your health, fulfilling your hopes and dreams. The pebbles are the other things in

解答一覧

<Lesson 6 Thomas the Tank Engine and SDGs >

○Questions 解答例

Q1 : I loved Doraemon.

Q2 : They can teach the importance of friendship.

教科書の設問の解答のテキストデータです。Final Taskの解答例も収録しています。

<Part 1>

○Reading Point 解答例

They are about Thomas' adventures with his fellow locomotives on the Island of Sodor.

○Comprehension Questions 解答例

Q1 : It [He] is a blue steam engine in a British children's book series.

Q2 : (This series is (still) read by children) In more than 160 countries.

Q3 : He leaves Sodor.

Q4 : It decided to work with a US toy maker.



AIを使った4技能学習支援ツール festa!

festa! はデジタル・ナレッジのAIによる学習支援ツールトレパ®に教科書と連動したコンテンツを
搭載した、PCやタブレット、スマートフォンで利用できる英語の4技能学習サポート教材です。

festa! 6つのポイント

Point
1

教科書の内容に完全準拠!

増進堂の検定教科書「FLEX ENGLISH COMMUNICATION I・II」の内容に
準拠しているため、無理なく毎日の授業や家庭学習でお使いいただけます。

Point
2

お手本の音声を収録!

教科書本文のネイティブスピーカーによる音読音声を収録しています。お手本
の音声をインプットし、それに近づけるように音読練習をすることで英語の発
音の精度が向上します。

Point
3

文・単語単位で評価を表示!

ワンタッチで発音の精度を測定でき、その場ですぐに評価が表示されます。
AIによる発音の評価は、文単位や単語単位で表示されますので、
生徒は自分の発音の弱点をピンポイントで把握できます。



Point
4

リーズナブルな価格を実現!

1年間契約で生徒1人あたり年額1,320円(税込)という低価格でご利用い
ただけます。

Point
5

管理ツールで学習状況を把握!

生徒の学習成果(音声や発音の信頼度)を教師用管理アカウントから確認す
ることで、成績管理も行えます。
また、Excelの成績管理シートで生徒の取り組みを一覧で確認することもできます。



Point
6

オリジナル教材の作成も可能!

トレパ本来の機能である教材の作成・編集機能も、お使いいただけます。
生徒のレベルに合わせてオリジナルの4技能教材を作成することができます。



先生が普段使用
している教材で
も作成可能!

テキストをコピー&ペーストするだけで
リスニング教材やスピーキング教材を
作成できます!

(例)スピーチ練習用コンテンツ

オリジナル教材の作成例はこちらから!



サポート情報も充実

専用サイトにて、操作方法や実際の導入事例などのお役立ち
情報を発信しております。
また、導入・活用のお役に立てるセミナーを不定期に開催し
ています。

こちらのQRコード
からアクセス!



コンテンツ詳細は次のページへ! ➡

FLEX ENGLISH COMMUNICATION I・II版には、教科書と連動したタスクが豊富に収録されています。音読トレーニングとリテリング練習に特化した7種類の教材をパート毎に用意し、授業内でも家庭学習でもお使いいただけるようになっています。



7種類のコンテンツを体験できるサンプルに下記のQRコードからアクセスできます。

※サンプルは「FLEX I」Lesson 4 Part 1のものです。



- 本文音読 (スタンダード)
- 本文音読 (ハイレベル)
- キーセンテンス音読
- Comprehension Questions
- リテリング練習 easy
- リテリング練習 hard
- Grammar & Exercises

本文音読

本文音読は生徒がひとまとまりの英文を音読し、その発音についてAIが評価を算出するタスクとなっています。お手本として、ネイティブスピーカーが読み上げた音声を配置しておりますので、それを聞きながら、手本に近づけられるように発音を意識して音読します。また、新出単語、重要な文法表現に関連した単語などを穴抜きした状態で表示されたテキストを見ながら音読する「ハイレベル」をご用意し、生徒が自分のレベルにあった音読に取り組めるようにしています。



キーセンテンス音読

本文中の重要表現を含む英文、発音が難しい語を含む英文、読み方に注意が必要な英文を集中的にトレーニングすることができます。お手本の音声と自分の発音を比較しながら、英語らしい読み方ができるように、また重要な表現が自分の中にインテイクされていくように繰り返し音読します。



リテリング

本文の内容を自分の言葉で要約してアウトプットするリテリングの練習ができるタスクです。写真(イラスト)とリテリング用の穴抜きがあるモデル文を掲載しています。イラストや写真を見ながら、モデル文の空欄に適切な単語を当てはめ、音読します。

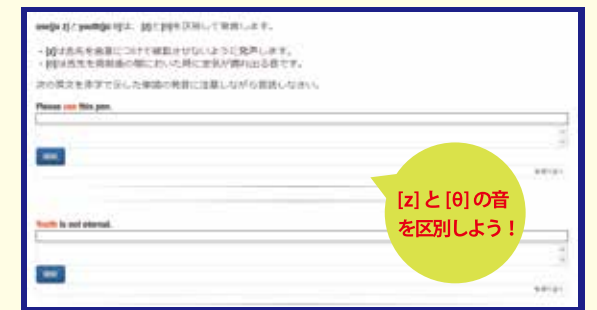
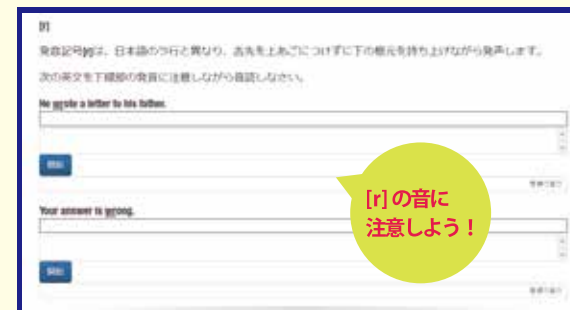


英語らしく発音するためのテクニックを学んだり、重要な文法事項や言語活動で役立つ表現を習得したりするための100を超えるタスクを収録したコンテンツです。(教科書には準拠していません) タスクは「単語の発話」「英文の発話」「文法表現」「機能表現」の4種類に分かれています。

Training 1

単語の発音

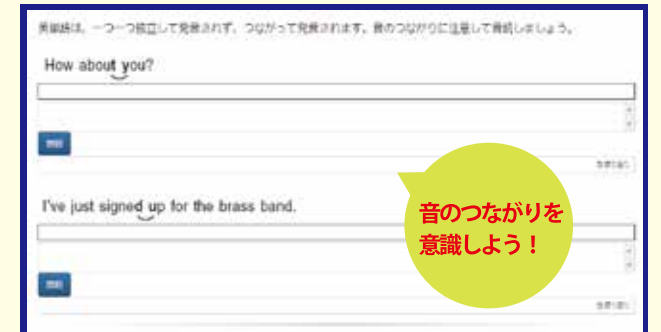
日本の英語学習者が特に間違えやすい発音や、カタカナ語と英語で発音の異なる語をピックアップしました。解説を読んで、例文を音読することで、発音をブラッシュアップすることができます。また、発音の似ている2語を区別して音読するトレーニングもご用意しました。



Training 2

英文の発話

音のつながりや音の弱化など、英文を英語らしく読むために必要なテクニックを、解説を読み、例文を音読する過程で身に付けることができます。



Training 3

文法表現

高校生で学習する英文法を、解説を読み、例文を音読しながら身に付けることができます。



Training 4

機能表現

クラスルームイングリッシュや言語活動で役立つ表現を、例文を音読しながら身に付けることができます。



festa! でこんなこともできる!

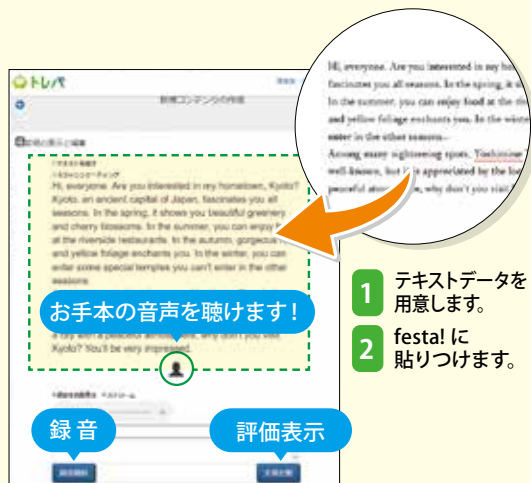
管理ツールで生徒の
学習履歴を確認できます!

festa! (トレパ) では生徒の学習履歴を管理者用アカウントから確認することができます。音読に取り組んだ回数はもちろん、発音の信頼度も確認できるほか、生徒の録音した音声を一部聴くことも可能なので、音読指導に役立てていただけます。



自作の音読教材を
作成することができます!

festa! (トレパ) は自由に教材作成ができるエディターの機能も兼ね備えています。システム上にテキストをペーストするだけで、AIによる読み上げ音声や、指定した英文の音読評価ができる教材を作成することができます。



ご契約・ご利用に際して

★ festa! はブラウザ上でお使いいただけるサービスとなります。端末によって一部機能が作動しないことがありますので、事前にご確認ください。また、下記の表の△では、音声認識が正常に作動しませんのでご注意ください。

動作環境	Windows10 Windows11	Mac Monterey Mac Big Sur	Android 12.0 ~	iOS 15 ~	ChromeOS
ブラウザ					
Chrome	○	○	○	△	○
Safari	—	○	—	○	—
Edge	○	—	—	—	—

※ iOS 15.4.1 では、読み上げの音声が途切れるなど正常に動作しない場合があります。その場合は最新版にアップデートをしてご利用ください。

★授業でのご使用など、周辺の音が大きい場所では、発話認識の精度が低下する可能性があります。その場合はイヤホンマイク等を使用いただくことを推奨します。

★日本語の固有名詞など一部の語についてはAIによる自動音声読み上げや発話認識に対応しておりません。予めご了承くださいませよう、よろしくお願いいたします。

★フィルタリングサービスなどが適用されている端末ではお使いいただけない場合がございます。予めご確認をお願いいたします。

★契約は30アカウントからで、契約期間は1年単位となります。
(契約開始が2024年4月1日であれば、2025年3月末日まで)

★トレパは英語4技能学習をサポートする株式会社デジタル・ナレッジの製品です。
トレパのシステムの詳細につきましてはこちらのサイト (torepa.jp) をご参照ください。

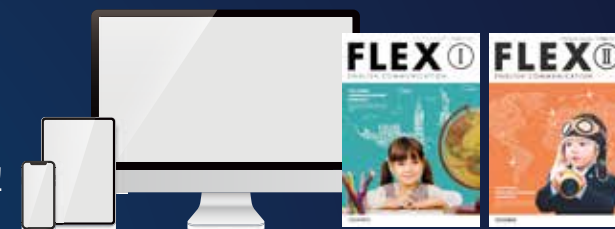
festa! 特設サイト



リピートク

RepeaTalk

コトバンク株式会社が開発した音読指導アプリです。増進堂の全教科書が対応しており、先生のご要望に応じたオリジナルの音読教材を作成します。



こんなコンテンツが作れます!

シャドーイングやオーバーラッピングなど様々な音読スタイルに対応した教材を作成します。



リテリング (サマリー) に特化した発話教材を作成することも可能です。



音読を「見える化」します!

音読学習を「見える化」し管理可能にするアプリです。教員が出した課題を、生徒が録音提出します。



Q&A

- Q1 アプリの教材ですか?
A はい。タブレットなどにアプリをインストールして、お使いいただけます。また、ブラウザ上で使用していただくことも可能となっています。
- Q2 何人から使用可能ですか?
A 特に利用人数に制限はございません。
- Q3 AIによる発音の判定があるようですが、どんなことをどれくらいの精度でできますか?
A 発話した内容をAIがテキスト化し、元の英文と比較します。精度はGoogleの音声認識と同程度です。
- Q4 実際に使用してから導入を決めたいのですが?
A 最大3カ月間の無料トライアルをご案内することが可能です。(無料期間を過ぎた後の解約は自由です)

動作環境

PC [OS] Windows 7以上, Mac OS X El Capitan 10.11以降, Google Chrome OS [ブラウザ] Google Chrome 最新版 [その他] マイク(PC付属も可)	iOS iPadアプリ, iPhoneアプリ (OSの最新バージョンに対応) Safari	Android Androidアプリ (OSの推奨バージョンは10.0.0以上) 端末推奨RAM(メモリ)は3GB以上 Google Chrome
---	---	--

お問い合わせ情報 ご利用料金やその他詳細につきましてはコトバンク株式会社までお気軽にご連絡ください。

URL <https://www.repeata-talk-info.net/single-form/campaign/> メール emura@repeata-talk.net 電話 050-3000-0576(担当者:江村)



指導者用デジタル教科書

インストール版 / Web 版

初めて利用される方でも容易に使える操作性を重視しました。Web ブラウザ対応なので、PC でも iPad でも使用可能です。ここでは、主な機能をご紹介します。

- I : 本体 60,000 円 (税別)
定価 66,000 円 (税込)
- II : 本体 60,000 円 (税別)
定価 66,000 円 (税込)
- ※インストール版 (フリーライセンス)
対応 OS : Windows10, 11
- ※ Web 版推奨ブラウザ : Google Chrome, Safari
Web 版使用時はインターネット環境が必要です。

教科書見開き画面

本文や単語などをクリックすると、それぞれの画面へ移ります。

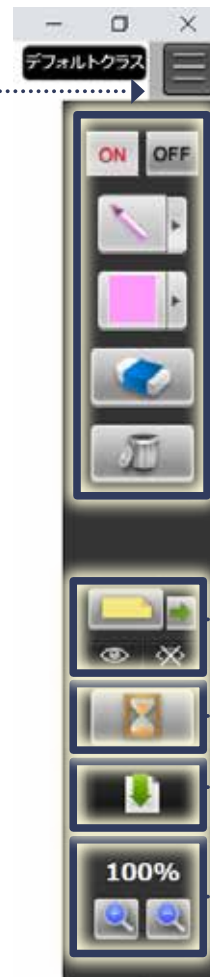
※画面は FLEX ENGLISH COMMUNICATION I のものになります。



移りたいパートが一目でわかります。

フラッシュカード

単語を効率よく学習するためのモードです。表示時間やランダム再生といった表示設定や、注釈語や Expressions, 発音記号といった表示内容等、生徒のレベルに合わせて様々なモードをご利用いただけます。



ペン機能

ONを選択することで、本文拡大画面のペン機能と同じように、教科書の見開き画面上でも文字を書くことができます。 ※機能の詳細は p.91

付箋機能

付箋を置いて文字を隠したり、付箋にテキストで文字入力したりすることができます。 ※機能の詳細は p.92

ストップウォッチ・タイマー機能

速読用の時間計測に使えるストップウォッチやタイマーを用意しました。



ファイル配置機能

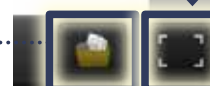
※ PC での使用にのみ。

指導書付属 ROM に収録されているファイルや、自作の Power Point ファイルなどのリンクを配置して、授業中にワンクリックで呼び出すことができます。

拡大縮小機能

お使いのコンピュータのモニターサイズや画面解像度に合わせて拡大縮小ができます。

全画面表示モードに切り替わります。 ※インストール版のみ



クリックするとフラッシュカード、リンク、英文法参照機能、単語クイズが選択できるようになります。



英文法参照機能

高校で習う英文法の詳しい解説が参照できます。 ※機能の詳細は p.95

リンク機能

※インターネット環境が必要です

あらかじめ URL を登録しておくことで、授業中にすぐさま参照したい Web サイトへアクセスすることができるようになります。



Flash Card

各 Lesson, Part の新出語を選択できたり、Excel データ (CSV ファイル) を用いて、自作のフラッシュカードを作ること可能です。

単語クイズ

各 Lesson, Part で学習される新出語をさまざまなクイズ形式で学習できます。 ※機能の詳細は p.94

読む・ペンモードは次へ▶

本文（読むモード）

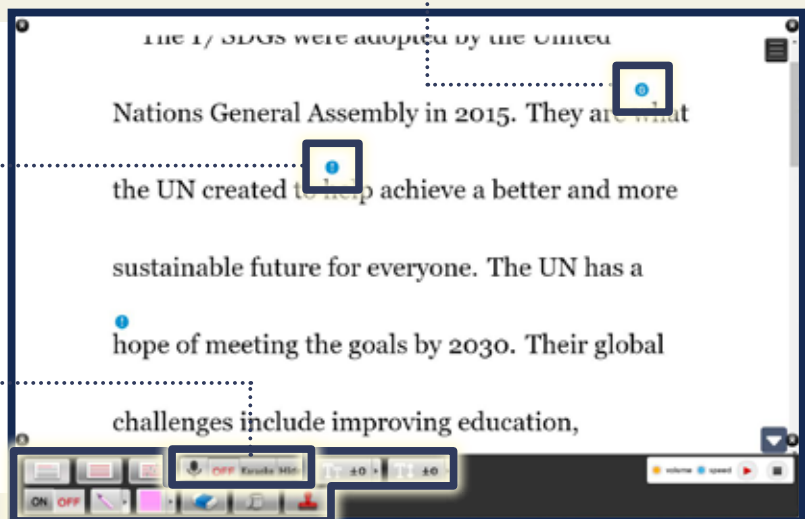
熟語

記号をクリックすると、和訳、例文、解説などが表示されます。例文の音声もあります。



Grammar

各 Lesson で学習する文法解説ページを表示します。

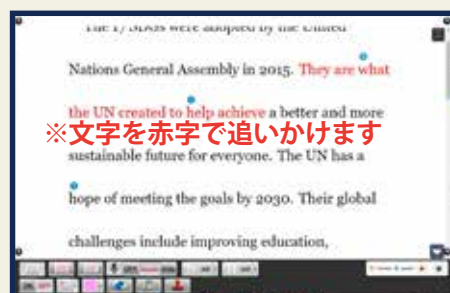


カラオケ/ハイド

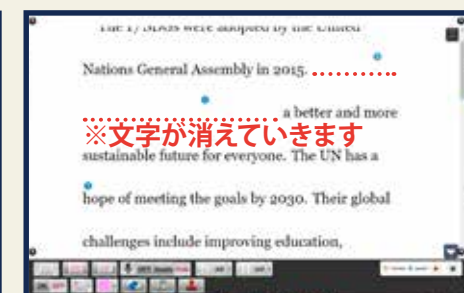
音声に合わせて本文の文字の色が変わります。生徒が文字を目で追いかけるようになるので、より英文と音声に集中させることができます。

- **Karaoke:**
読まれている文を赤字で追いかけて表示します。
- **Hide:**
読まれた単語を追いかけて消していきます。

●カラオケ 赤字



●ハイド 文字消し

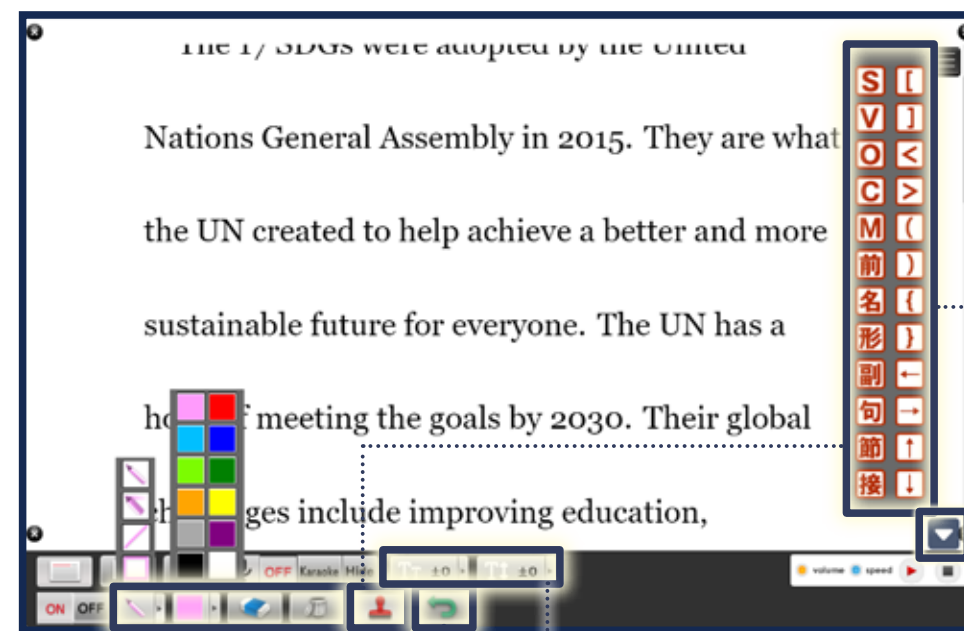


ツール

- 読むモードとペンモードの切り替えボタン
- 読み上げの設定
- ・一文ごとの再生（一文読み）
- ・全文再生（全文読み）
- ・文の間にポーズを入れての再生（ポーズ読み）
- ※音量とスピードも調節可能です。

本文（ペンモード）

ペンモードは、本文中に品詞や節といった文の構造の説明に使うことができる画面です。文中にはスタンプ機能を使いながら、構造の説明をすることができます。本文解説をする上で、大きな画面を用いて明示的に説明が行えます。



ペン・消しゴム機能

ふつうの黒板と同じような感覚で板書が可能です。ペンの太さや色も変更が可能です。強調箇所などを示すのに役立ちます。消しゴム機能も「部分的に消す」か「全てを消す」かを選択できます。

アンドゥ機能

クリックすると、1つ前の作業に戻ります。

文字サイズ・行間調整

文字サイズ・本文の行間をそれぞれ±5段階で調整することができます。

表示/非表示

メニューの表示/非表示が切り替えられます。

スタンプ機能

クリック1つで文法事項を示す便利なスタンプ機能もあります。スタンプでは、主語や動詞といった主要素、品詞、句や節を示すことができます。



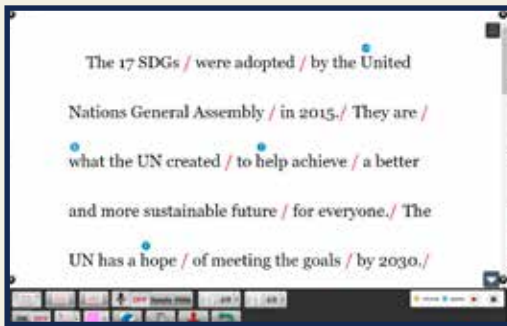
上記の機能を使えば…

1 / I am a brain surgeon. I am always thinking about

S V C S V

板書のように本文の構造を示すことができます！

機能一覧



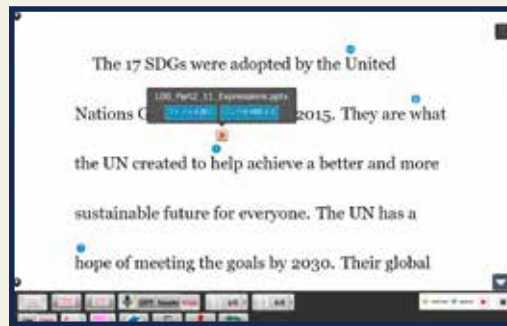
スラッシュ読み

ボタン1つで本文中にスラッシュが入り、区切りごとに読み上げが可能です。スラッシュ単位で**理解力を促進**させます。



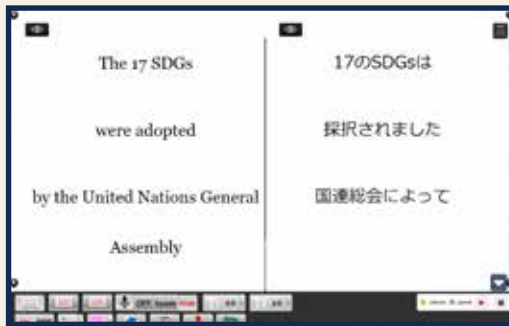
黒板機能

機能を ON にすることで、**黒板に英文が投影**されたような画面に切り替わります。プロジェクターを通すと実際の黒板に白い文字だけが投影されるので、英文を説明する際は、**黒板に直接書き込み**することも可能です。



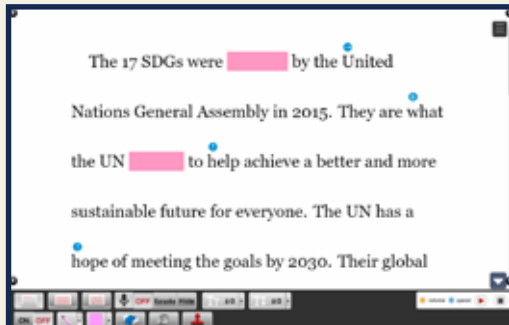
ファイル配置機能

本文中に関連する内容の**ファイルをリンク**付けることができます。ファイル配置機能を用いて、**授業準備を入念に行う**ことができます。



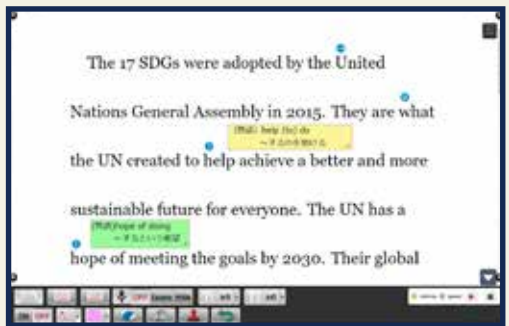
フレーズ縦並び読み

英文と日本語訳をフレーズごとに縦並び形式で表示できます。容易に英文の訳や意味を確認できます。縦並びでも**音声を読み上げ**、自動で画面がスクロールします。



新語・表現の表示 / 非表示切替機能

それぞれのレッスンで学習する新語や表現を非表示にすることができる機能です。この機能と音声の読み上げを同時に使用することで、**ディクテーション**を行うことができます。



付箋機能

授業準備で、生徒に**補足して示したい内容**や、英文上に付箋を置いて、**文字を隠して音読**の練習をさせるなど、さまざまな用途で使用できます。

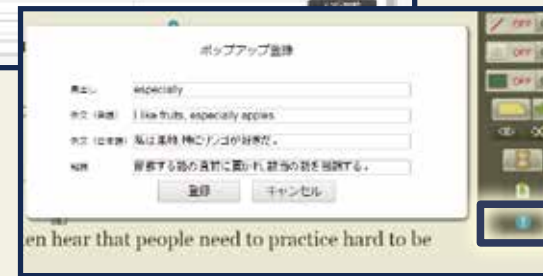
クラス別保存機能

クラスによって進度が異なることや、途中で終わることに対応し、**進捗ごとに保存できる機能**を設けました。トップ画面から、保存した任意のクラスで開始することで、**前回入力した内容やマーカーなどが保存された状態から再現**できます。



自作機能

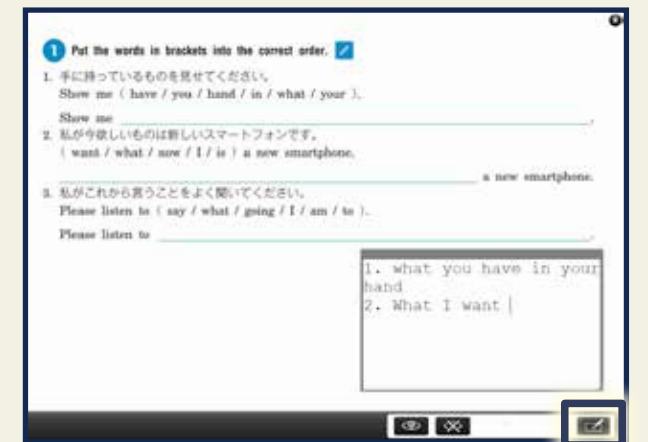
もともと入っているフラッシュカード、熟語のポップアップとは別に自作が可能です。



自作のフラッシュカードやポップアップを作成することで、**授業中に生徒へ復習として尋ねるなど、確認を行う**ことができます。

入力機能

画面右下のボタンをクリックすると、メモパッドが出現し、**文字を入力**することができます。生徒自身に**解答を入力**させたり、**入力した情報を共有**し合うこともできます。

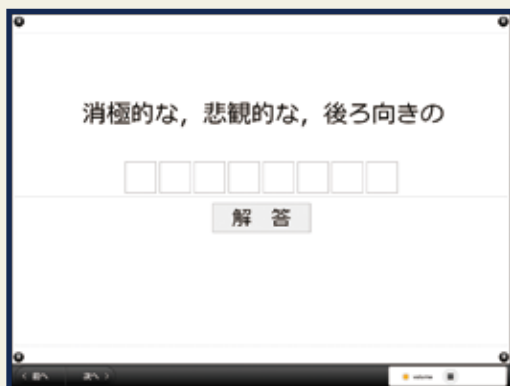


機能一覧 (単語クイズ / 英文法参照機能)



英語→日本語問題

各 Part に掲載されている**新出単語**を見て、**日本語の意味を当てる**問題です。新出単語の出題形式は掲載順ではなくランダムで出現されるため、**各単語の意味を十分に把握できているか**を試す問題にもなります。日本語の意味は4択で出題されます。



英単語スペリング問題

各新出単語の**スペリングを確認**する問題です。空欄に適切なスペリングを入れることで正しいかどうかを判定してくれます。正答した際は**該当の単語の音声も再生**されます。スペリングが苦手な生徒への練習にもなります。



日本語→英語問題

左記の英語→日本語問題形式の逆で、**日本語の意味を見て、適切な英単語を選ぶ**問題です。動詞、形容詞、名詞などの**品詞を意識して意味を理解できているか**を確認する問題にもなります。英単語は4択で出題されます。



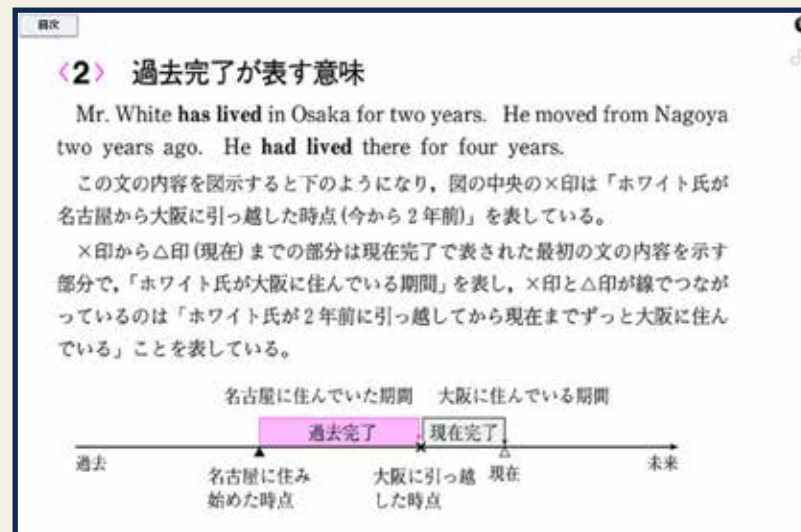
英英定義問題

本文中で使用されている**新出単語の意味に合った英英定義を選ぶ**問題です。使用している英英定義は指導書に掲載している内容と同様になります(出典先については指導書に掲載)。生徒のレベルに合わせて、英英定義問題にもぜひチャレンジしてみてください。

英文法参照機能



デジタル教科書から**英文法解説ページ**へアクセスできるようになっています。教科書で学習される英文法内容以外にも、**補足して学習させたい文法内容**など、授業内容に合わせてご利用いただけます。



解説ページ上では、該当の文法内容の解説に加えて、**例文や問題**も含まれております。文法項目も細かくセクションが分かれているため、個々の項目ごとに文法内容を把握できます。**画面の大きさによって拡大縮小**も可能です。

<文法項目一覧>

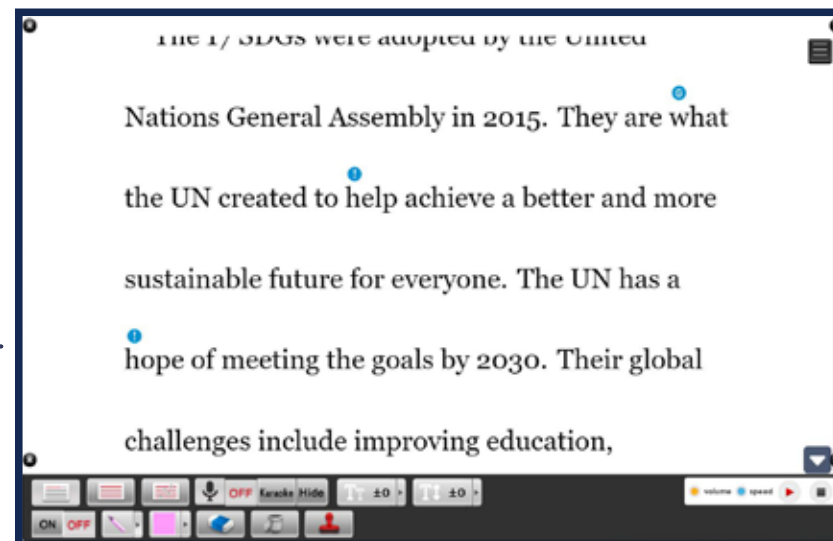
第1章	文の要素と文型	第11章	話法
第2章	文の種類	第12章	否定
第3章	時制(現在, 過去, 未来, 完了等)	第13章	名詞・冠詞・代名詞
第4章	助動詞	第14章	形容詞・副詞
第5章	態	第15章	前置詞
第6章	準動詞(不定詞, 動名詞, 分詞等)	第16章	数の一致
第7章	関係詞(関係代名詞, 関係副詞, 非制限用法等)	第17章	特殊構文(強調, 倒置, 同格, 無生物主語構文等)
第8章	比較	第18章	解答編
第9章	句と節・接続詞		
第10章	仮定法		



生徒用デジタル教科書 Web版

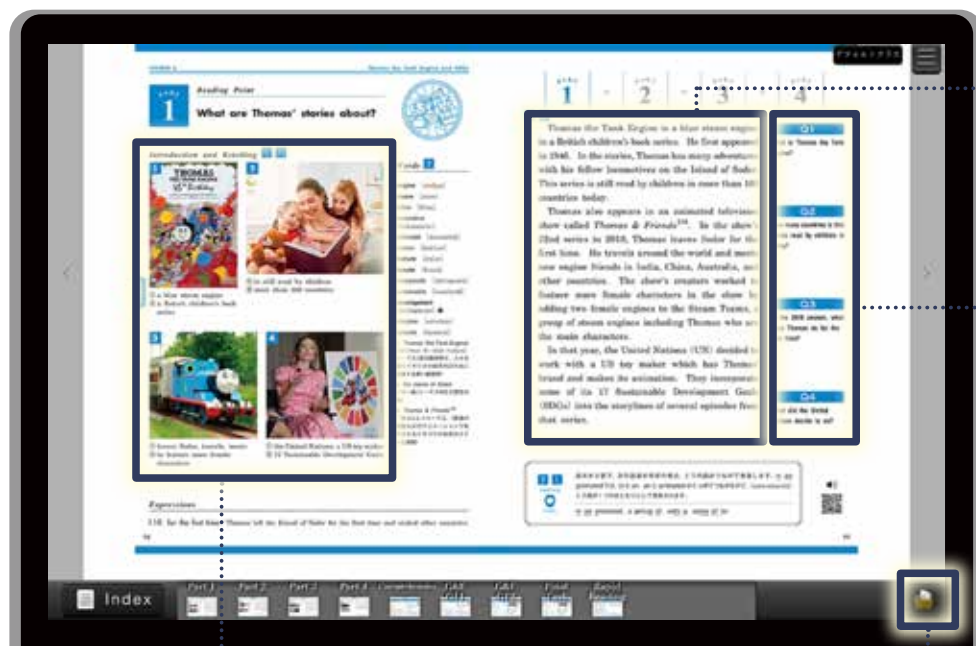
家庭学習を充実させるための多様な機能を盛り込みました。ここでは、その主なものをご紹介します。

- I : 本体 2,000 円 (税別)
定価 2,200 円 (税込)
 - II : 本体 2,000 円 (税別)
定価 2,200 円 (税込)
- ※推奨ブラウザ：Google Chrome, Safari
※使用時はインターネット環境が必要です。



教科書見開き画面

PCやタブレットなどのデバイスで教科書紙面を閲覧することができます。教科書本体がなくても、いつでもどこでも学習を進めることができます。



画像拡大機能

教科書内の画像や図版を拡大して、細かいところまで見ることができます。



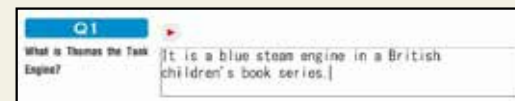
単語クイズ

教科書の新出単語に関連した単語のクイズに取り組むことができます。



解答をメモ

教科書の各設問に対する答えをテキスト入力でメモしておくことができます。予習・復習の際にお使いいただけます。



音読サポート機能

本文の「普通読み」と「フレーズ読み」の音声を聞くことができるだけでなく、その他にも様々な機能で、生徒の音読活動をサポートします。



文法書を収録

教科書の各単元で扱われている文法事項のより詳しい解説や豊富な例文を扱った文法書の紙面データにアクセスすることができます。家庭での文法学習が充実します。



※今後開発される端末やOSのバージョンにより、機能面やデザインなど変更になる可能性があります。

※生徒用デジタル教科書の使用には、インターネット環境が必要となります。

※アプリではなく、ブラウザ上で使用するサービスとなりますので、タブレット、PCなど各種デバイスでご使用いただけます。



FLEX I
ENGLISH COMMUNICATION

FLEX II
ENGLISH COMMUNICATION

教授用資料

- **Teacher's Manual**
Teacher's Book, 指導書付属 ROM
- **Teacher's Manual PDF ダウンロード版**

指導用音声

- **教科書内 QR コードコンテンツ**
- **学校用音声 CD [7枚組]**

指導用ソフト

- **指導者用デジタル教科書**
(インストール版 / Web 版)

生徒用補助教材

- **Workbook Standard / Advanced**
- **予習 & 授業ノート**
- **生徒用音声 CD [3枚組]**
- **festa!**
- **RepeaTalk**
- **生徒用デジタル教科書 Web 版**



since 1890

増進堂・受験研究社

〒550-0013 大阪市西区新町3-3-6

TEL (06)6532-1581(代表)…注文などについて
(06)6532-1586(編集)…内容について

FAX (06)6532-1588 [ホームページ](https://www.zoshindo.co.jp) <https://www.zoshindo.co.jp>

※自動音声ガイダンスに従って
お問い合わせください。